

米に関するマンスリーレポート (令和3年10月号)



「米に関するマンスリーレポート（マンレポ）」とは

⇒ 米に関する価格や需給の動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表しています。需要に応じた生産・円滑な米取引に役立てていただくことを目的としています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬公表。公表日の2営業日前までに入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあり得ます。

データはどう読み解けばいいの？

そんなときは、「ここが分からない！マンレポ」をチェック！

https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo_kaiset.html

目次（令和3年10月号）

特集

令和3年産の水田における作付状況（令和3年9月15日時点）
酒造好適米の全体需給の推計

特集1

特集2

1 作柄概況

令和3年産水稻の作付面積及び予想収穫量（9月25日現在）

作柄1-1

農林水産省（統計情報）HP

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#v3

2 米の契約・販売情報

産地別事前契約数量は、米の収穫が始まる前に、契約書や確認書等によりあらかじめ取引されることが決定している数量で、年間の玄米の仕入量が5,000トン以上の全国出荷団体等からの報告を産地別に取りまとめたものです。例えば、契約数量に占める事前契約数量の比率が高い産地では、取引数量の多くを収穫前に契約し、あらかじめ販路を確保しているものといえ、需要に応じた生産に向けた取組が進められていることがうかがえます。

1 事前契約の取組状況

農林水産省（農産）HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

(1) 近年の事前契約数量の推移（平成26年産～令和3年産）

契約2-1

(2) 令和3年産米の産地別事前契約の取組状況（令和3年8月末現在）（速報）

契約2-2

Excel

2 令和2年産米の産地別契約・販売状況

契約2-3

Excel

（累計、うるち米、令和3年8月末現在）（速報）

3 政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入札の結果（令和3年産）

契約2-6

3 米の民間在庫情報

各産地の米の民間在庫数量は、年間玄米仕入量500トン以上の出荷段階（全農、JA等の出荷業者）の在庫量と年間玄米仕入数量4,000トン以上の販売段階（米卸等の販売業者の在庫量）を対象に調査し、その合計（出荷段階＋販売段階）の数値も合わせて公表しています。

集荷数量が概ね確定する1月以降の在庫数量は、販売に伴って減少していくので、その変化を見ることにより、販売状況を読み取ることができます。

1 民間在庫の推移

農林水産省（農産）HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

(1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）

在庫3-1

Excel

(2) 産地別民間在庫の状況（前年同月対比）

在庫3-4

Excel

(3) 令和2・3年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

在庫3-5

Excel

4 米の価格情報

相対（あいたい）取引価格

米については、全農等の出荷業者と卸売業者等との間で、年間を通じて「相対取引」が行われています。このため、農林水産省では、年間の玄米仕入量5,000トン以上の全国出荷団体等を対象に、指標となる各産地の上位2～3銘柄（令和2年産米：118産地品種銘柄）について、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格・数量を毎月調査し、米の取引価格の代表となる指標の一つとして公表しています。

1 相対取引価格・数量

農林水産省（農産）HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

(1) 年産別の相対取引価格

価格4-1

(2) 相対取引契約数量の推移

価格4-2

(3) 相対取引価格・数量（令和2年産米、産地品種銘柄別、令和3年8月分）（速報）

価格4-3

Excel

(4) 相対取引価格（月別・年産平均価格）（令和元・2年産米、産地品種銘柄別）（速報）

価格4-5

Excel

2 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和3年9月分）

価格4-7

米穀安定供給確保支援機構HP

<https://www.komenet.jp/>

5 消費の動向

- | | |
|--|-------|
| 1 米の消費動向(米穀機構による調査) | 消費5-1 |
| 米穀安定供給確保支援機構HP https://www.komenet.jp/ | |
| 2 購入数量・支出金額の推移(家計調査) | 消費5-4 |
| 総務省統計局HP https://www.stat.go.jp/data/index.html | |
| 3 消費者物価指数の推移 | 消費5-6 |
| 4 小売物価統計の推移 | 消費5-7 |
| 5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向 | 消費5-8 |
| 6 小売価格の推移(POSデータ) | 消費5-9 |

6 輸出入の動向

- | | |
|---|--------|
| 1 コメ・コメ加工品の輸出実績 | |
| (1) コメ・コメ加工品の輸出実績の推移 | 輸出6-1 |
| (2) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移 | 輸出6-2 |
| (3) コメの輸出数量の2020年の主な増加要因 | 輸出6-3 |
| (4) 米菓の輸出数量及び金額の推移 | 輸出6-4 |
| (5) 日本酒(清酒)の輸出数量及び金額の推移 | 輸出6-5 |
| (6) 包装米飯(パックご飯)等の輸出数量及び金額の推移 | 輸出6-6 |
| (7) 米粉及び米粉麺等の輸出数量及び金額の推移 | 輸出6-7 |
| 2 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について | 輸出6-8 |
| 3 MA米の輸入数量(輸入先国別及び輸入方式別) | 輸入6-9 |
| 農林水産省(農産)HP https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html | |
| 4 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果(令和3年度) | 輸入6-10 |
| 5 SBS輸入米の見積合わせ結果(令和3年度) | 輸入6-11 |
| 6 CPTPP・国別枠の見積合わせ結果(令和3年度) | 輸入6-12 |

7 主食用米以外の情報

- | | |
|----------------------------------|-------|
| 1 加工用米及び新規需要米等の生産状況 | |
| (1) 加工用米の生産量 | 加工7-1 |
| (2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移 | 加工7-1 |
| (3) 令和2年産 都道府県別の生産状況 | 加工7-2 |
| 2 米加工品の状況 | |
| (1) 主な米加工品の生産状況 | 加工7-3 |
| (2) 令和元米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況(推計) | 加工7-4 |
| (3) 加工原材料用米穀の使用状況(推計)の推移 | 加工7-5 |
| 3 酒造好適米の需給状況 | |
| (1) 日本酒の出荷状況 | 酒造7-6 |
| (2) 日本酒原料米の使用状況 | 酒造7-6 |
| (3) 酒造好適米の生産量 | 酒造7-7 |
| (4) 酒造好適米の需要量 | 酒造7-7 |

「米に関するマンスリーレポート」とは、米に関する価格や需給の動向に係るデータ・情報をより多くの方に、かつ、より有効に活用していただけるよう、情報の整理方法、提供方法等を見直しました。

また、当省ホームページでの公表に際しては、本編・資料編に加え、カテゴリ別にも整理して掲載することにしました。さらに一部データ資料については、エクセルによる提供も開始しましたので、ぜひご利用願います。

令和3年産の水田における作付状況 (令和3年9月15日時点)

- ・ 全国の主食用米の作付面積については、前年実績（136.6万ha）から6.3万ha減少（▲4.6%）し、130.3万haとなった。
- ・ また、戦略作物等については、飼料用米、加工用米、米粉用米、麦等が前年より増加した。

【主食用米及び戦略作物等の作付状況】

	主食用米	戦略作物等									備蓄米
		加工用米	新規需要米				麦	大豆	その他	戦略作物等合計面積	
			飼料用米	WCS (稲発酵粗飼料用米)	米粉用米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)					
H27年産	140.6	4.7	8.0	3.8	0.4	0.2	9.9	8.7	10.0	45.7	4.5
H28年産	138.1	5.1	9.1	4.1	0.3	0.1	9.9	8.9	10.2	47.7	4.0
H29年産	137.0	5.2	9.2	4.3	0.5	0.1	9.8	9.0	10.2	48.3	3.5
H30年産	138.6	5.1	8.0	4.3	0.5	0.4	9.7	8.8	10.2	47.0	2.2
R元年産	137.9	4.7	7.3	4.2	0.5	0.4	9.7	8.6	10.2	45.6	3.3
R2年産	136.6	4.5	7.1	4.3	0.6	0.6	9.8	8.5	10.2	45.6	3.7
R3年産	130.3	4.8	11.6	4.4	0.8	0.7	10.2	8.5	10.2	51.2	3.6

注1：加工用米及び新規需要米（米粉用米、飼料用米、WCS、新市場開拓用米）は取組計画の認定面積。

注2：備蓄米は、地域農業再生協議会が把握した面積。

注3：その他は、飼料作物、そば、なたねの面積。

注4：麦、大豆、その他（基幹作のみ）は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積。

令和3年産の水田における都道府県別の作付状況 (令和3年9月15日時点)

(ha)

都道府県	主食用米		戦略作物等												備蓄米
	①	【参考】		加工用米	新規需要米					麦	大豆	飼料作物	そば	なたね	
		前年産(2年産) ②	増減 ①-②		飼料用米	WCS (稲発酵粗飼料用米)	米粉用米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)	その他						
全国計	130.3万	136.6万	▲6.3万	47,641	115,744	44,248	7,632	6,748	124	101,760	85,484	72,917	28,210	752	36,435
北海道	88,400	95,300	▲6,900	6,178	6,513	620	72	1,066	-	35,215	18,599	25,867	8,603	543	387
青森	34,200	38,300	▲4,100	853	7,701	660	16	283	-	578	4,414	4,883	1,227	10	6,360
岩手	46,200	48,200	▲2,000	1,196	4,683	1,939	71	343	1	3,310	3,764	7,794	625	15	656
宮城	61,000	64,500	▲3,500	581	8,076	2,244	150	748	1	1,892	9,175	5,363	447	1	2,130
秋田	71,400	75,300	▲3,900	8,855	3,903	1,106	425	296	2	170	8,139	2,150	3,181	12	3,723
山形	54,900	56,500	▲1,600	3,876	4,628	966	112	285	3	73	4,413	2,784	4,591	5	3,728
福島	54,700	59,200	▲4,500	397	10,038	1,031	7	38	1	273	711	1,692	1,794	51	5,335
茨城	61,400	65,500	▲4,100	1,135	11,760	571	43	441	3	4,298	423	491	339	4	453
栃木	50,600	54,900	▲4,300	1,512	12,482	1,769	1,099	93	4	6,866	343	2,927	1,077	1	1,485
群馬	13,000	13,600	▲600	1,350	1,321	539	369	4	-	1,913	102	185	34	2	152
埼玉	28,800	30,600	▲1,800	118	2,910	116	912	41	-	1,856	341	121	44	3	94
千葉	48,100	52,500	▲4,400	1,499	8,190	995	84	13	-	477	281	350	7	1	922
東京	120	124	▲4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	2,920	2,990	▲70	-	10	0	-	-	-	4	6	6	1	-	-
新潟	101,800	106,700	▲4,900	7,097	3,768	400	2,145	1,497	0	139	3,745	297	776	-	4,529
富山	32,200	33,200	▲1,000	1,215	1,952	453	178	416	-	2,999	3,446	273	229	15	2,271
石川	21,400	22,600	▲1,200	386	1,389	99	350	81	-	927	896	26	144	0	1,486
福井	22,500	23,300	▲800	348	1,490	97	196	156	-	4,732	114	44	485	-	1,251
山梨	4,760	4,800	▲40	76	18	15	12	-	-	57	98	26	110	0	-
長野	30,400	30,700	▲300	615	362	215	18	158	-	2,385	534	531	2,263	0	233
岐阜	20,700	21,400	▲700	616	3,009	208	48	73	-	3,445	378	611	268	-	92
静岡	15,200	15,400	▲200	140	1,075	297	2	1	-	256	45	40	32	-	4
愛知	25,800	26,400	▲600	421	2,086	156	53	37	0	5,317	95	129	5	9	166
三重	25,900	26,700	▲800	197	2,043	268	91	37	-	6,693	316	119	12	16	53
滋賀	28,900	29,700	▲800	644	1,681	277	58	203	-	7,462	468	159	114	20	268
京都	13,600	13,800	▲200	562	101	120	9	15	-	256	241	56	110	-	-
大阪	4,620	4,700	▲80	0	6	-	5	-	0	3	6	1	0	-	-
兵庫	34,100	34,800	▲700	726	554	866	34	163	5	1,751	1,833	794	152	13	-
奈良	8,400	8,430	▲30	19	34	40	30	0	-	62	25	4	0	0	-
和歌山	6,100	6,250	▲150	-	2	2	1	-	-	3	13	4	2	-	-
鳥取	12,400	12,800	▲400	24	707	338	1	5	0	23	599	784	308	2	79
島根	16,500	16,800	▲300	303	779	569	9	2	1	263	575	436	315	3	25
岡山	27,900	28,900	▲1,000	316	1,730	346	124	126	-	1,260	1,102	877	112	0	181
広島	21,700	22,000	▲300	320	424	585	124	21	0	309	232	934	257	-	4
山口	17,400	17,800	▲400	971	978	313	38	2	1	740	750	897	49	0	-
徳島	9,980	10,700	▲720	20	881	217	11	41	-	56	9	93	2	-	244
香川	11,300	11,600	▲300	38	139	142	7	1	-	1,138	54	123	15	1	-
愛媛	13,200	13,300	▲100	43	271	159	2	-	-	514	315	220	3	-	-
高知	11,000	11,200	▲200	68	991	263	17	-	-	4	59	125	1	-	2
福岡	34,100	34,400	▲300	228	2,192	1,657	327	8	-	1,583	7,830	407	46	3	16
佐賀	22,800	23,400	▲600	383	730	1,700	29	4	0	948	6,929	367	14	2	44
長崎	10,800	11,000	▲200	10	112	1,307	5	3	-	70	295	1,891	42	2	-
熊本	31,200	32,300	▲1,100	757	1,295	7,994	300	21	71	775	2,051	2,150	183	9	45
大分	19,400	20,000	▲600	136	1,565	2,432	15	-	-	579	1,242	974	83	5	19
宮崎	13,900	14,300	▲400	1,926	486	6,700	16	26	28	18	204	2,788	41	0	-
鹿児島	17,100	17,800	▲700	1,451	679	3,451	11	1	2	67	272	2,102	67	2	-
沖縄	623	630	▲7	37	-	5	7	-	-	-	-	20	-	-	-

※1 主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米面積。

※2 加工用米及び新規需要米は取組計画の認定面積で、備蓄米は地域農業再生協議会が把握した面積。

※3 麦、大豆、飼料作物、そば、なたねは地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。

【酒造好適米の全体需給の推計】

農林水産省が本年7月に行った「酒造好適米等の需要量調査」の結果をまとめました。概要は次ページ以下でご紹介しています。より詳細な調査結果の内容は、下記URLよりご参照ください。

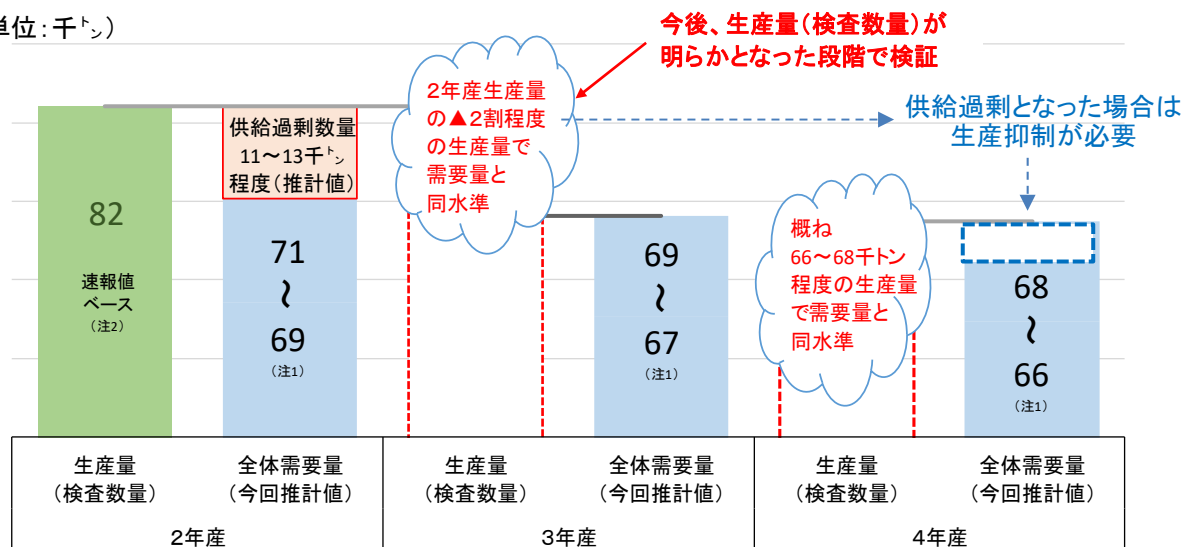
また、令和3年9月28日に「日本酒原料米の安定取引に向けた情報交換会」を開催したところであり、その概要については、同URLに追って掲載します。

https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

- ・ **令和2年産**については、全体需要量（推計値）と生産量（検査数量）を比較すると、**11～13千ト**程度供給過剰となっていると推計されます。
- ・ **令和3年産**については、令和2年産の全体需要量から**さらに2千ト**程度減少しています。
- ・ **令和4年産**については、**全体需要量と同水準の生産量**とするためには、**66～68千ト**程度の生産量に生産抑制する必要があります。また、令和3年産において供給過剰となった場合には、**さらに生産抑制が必要**と考えられます。
- ・ なお、**令和3年産の需給**については、酒造好適米の検査数量（生産量）が概ね明らかとなる**来年1月に検証し、2月号のマンスリーレポートでお知らせ**します。

酒造好適米(醸造用玄米)の全体需給の状況

(単位:千ト)



注1: 各年産の全体需要量(今回推計値)は、今回の需要量調査の数量ベース回収率が、令和元年産酒造好適米の全体需要量(82～84千ト)と今回調査の令和元年産の需要量(約67千ト)から約81～82%と推計されるため、各年産の今回調査結果の需要量を当該割合で除することにより算出。
注2: 生産量は、農産物検査数量(醸造用玄米)の値。ただし、令和2年産は、令和3年3月31日現在の速報値。

酒造好適米の需要に応じた生産に向けて

- ・ 今後とも**日本酒の国内外での円滑な出荷・販売**のためには、原料となる酒造好適米についても**需給均衡を図り、産地と実需者間で安定取引を図っていくことが重要**です。
- ・ 令和4年産の酒造好適米の作付けにあたっては、今後のコロナ禍の影響や産地品種銘柄ごとの需要動向を踏まえ、**需要に応じた生産・販売**を行うほか、**日本酒輸出の拡大といった新たな需要動向を踏まえ生産に取り組むことも重要**です。このため、**今後もさらなる生産者と実需者の相互協力、連携が求められます**。

令和3年度酒造好適米等の需要量調査結果の概要

- ・ 昨年に引き続き、酒造好適米の需要量を把握するため、日本酒の酒造メーカーを対象として本年7月に需要量調査を実施。

調査の概要

	令和2年度	令和3年度
調査期間	令和2年7月	令和3年7月
調査対象メーカー数	1,421社	1,396社
回答酒造メーカー数	730社	717社
回答率(数量ベース)	79~80%	81~82%

酒造好適米の需要量調査結果

- ・ 今年度の酒造好適米等の需要量調査で回答のあった酒造メーカーの令和4年産酒造好適米の需要見込みは、合計で55千トと令和3年産に比べてやや減少するという結果になりました。
- ・ 昨年度の需要量調査においては、令和4年産米の需要量は、令和3年産に比べて2%の増加を見込んでいましたが、長引く新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、国内出荷量の改善が見込めなかったのではないかと考えられます。
- ・ 令和4年産の生産にあっては、コロナ禍の影響や輸出拡大等を踏まえ、産地においては生産者と実需者が連携し、4年産の作付計画に反映する必要があります。

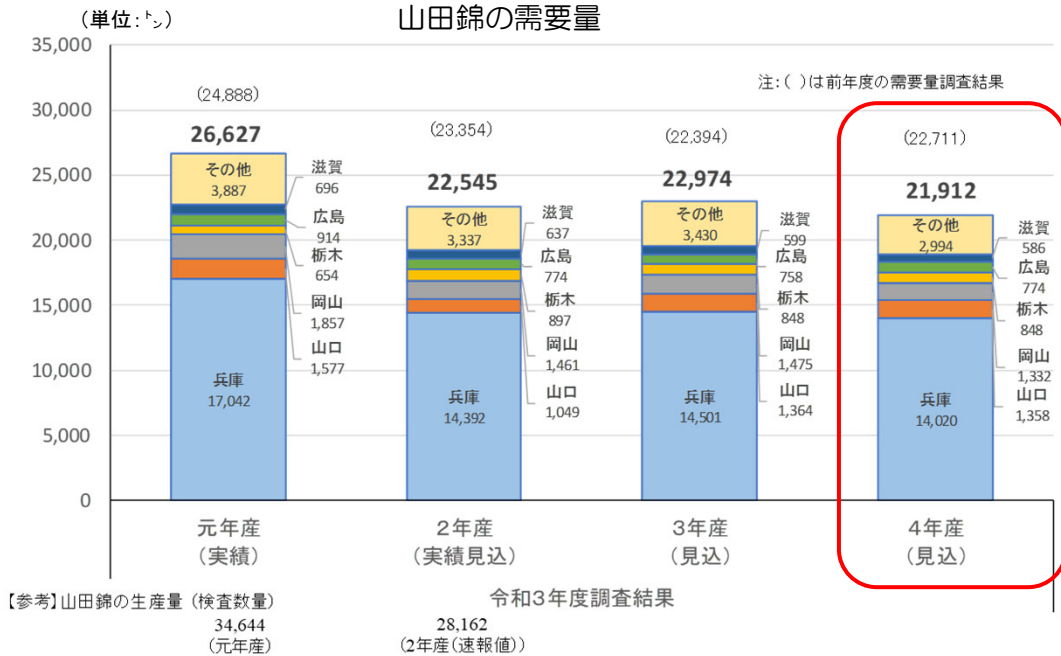
酒造好適米の需要量調査結果



主な酒造好適米の需要量(酒造メーカーからの回答分)

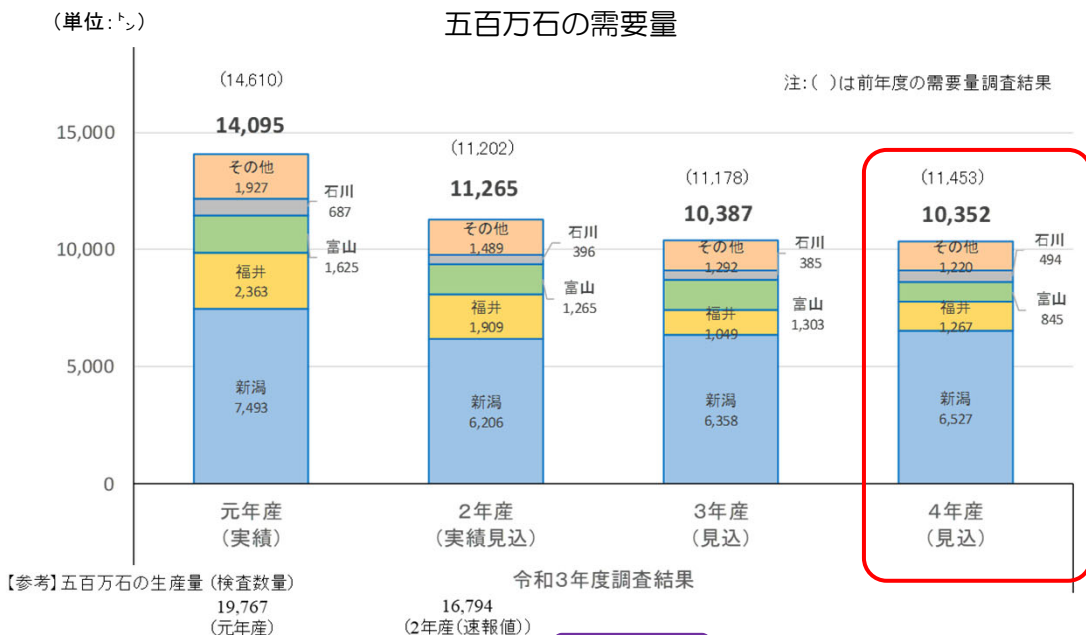
山田錦

- 令和4年産の山田錦の需要量は、令和3年産に比べて▲5%減少しています。
- 昨年度の需要量調査においては、令和4年産の山田錦の需要量は、令和3年産に比べて+1%でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、昨年の調査時から改善が見込めなかったものと考えられます。



五百万石

- 令和4年産の五百万石の需要量は、令和3年産に比べて±0%と同程度となっています。
- 昨年度の需要量調査においては、令和4年産の五百万石の需要量は、令和3年産に比べて+2%でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、昨年の調査時から改善が見込めなかったものと考えられます。



日本酒の国内出荷状況

- 日本酒の国内出荷量については、近年、減少傾向で推移しているところですが、平成30年以降は減少幅が大きくなり、これまで堅調に推移していた特定名称酒についても減少に転じたところです。
- また、令和2年以降については、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、業務用の日本酒を中心に国内出荷量が減少しており、特に酒造好適米を多く使用する特定名称酒が大幅に減少しています。

日本酒の国内出荷量の推移

(千kl)

	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	
												(1~7月)	対前年同期比
日本酒国内出荷量	1,133	871	659	580	566	555	540	533	495	467	419	206	97%
特定名称酒	291	221	174	164	167	173	178	179	171	165	142	67	97%
吟醸酒	34	30	20	21	24	25	24	24	23	22	20	9	102%
純米吟醸酒	25	26	24	29	32	37	42	45	45	45	40	21	104%
純米酒	62	54	57	58	59	62	65	67	64	62	55	26	95%
本醸造酒	169	111	73	56	52	49	46	43	38	35	27	11	84%
一般酒	842	650	485	416	399	382	362	353	324	302	276	139	97%

資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年。

注1：清酒は、一般酒のほか、原料米及び製造方法等の違いによって吟醸酒、純米酒等8種類に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。一般酒は日本酒国内出荷量から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

注2：国内出荷量には輸出量は含まれていない。

日本酒の輸出状況

- 日本酒の国内出荷量が減少傾向にある中、新型コロナウイルス感染症の世界的なまん延等の影響により、令和2年の輸出数量は減少（対前年比▲13%）しました。
- 令和3年1月～7月については、新型コロナウイルス感染症の世界的なまん延等の影響はあるものの、**海外での日本食ブーム等を背景に増加傾向**（対前年同期比+69%、対一昨年同期比+14%）にあります。

日本酒の輸出量の推移

(千kl)

	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	
												(1~7月)	対前年同期比
日本酒輸出量	8	8	12	16	16	18	20	23	26	25	22	17.6	169%
アメリカ合衆国	1	2	4	4	4	5	5	6	6	6	5	4.6	167%
中華人民共和国	0	0	0	1	1	2	2	3	4	5	5	4.1	191%
香港	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	3	1.8	129%
台湾	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1.5	143%
大韓民国	0	0	2	4	3	3	4	5	5	3	2	1.4	239%
その他	2	2	3	4	4	5	5	6	6	6	5	4.2	168%

資料：「貿易統計」（財務省）。年は暦年。

以上のほか、詳細な情報は、以下URLにより「日本酒をめぐる状況及び酒造好適米の需要量調査結果」を参照ください。

URL：https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

1 作柄概況

令和3年10月12日公表

作物統計調査

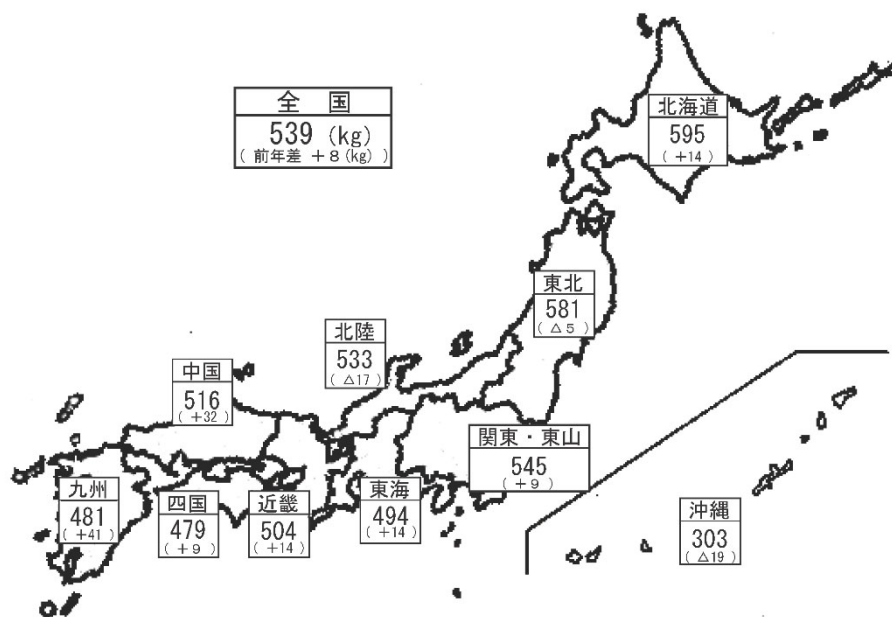
令和3年産水稻の作付面積及び予想収穫量（9月25日現在）

— 全国の10a当たり予想収量は539kgの見込み —

【調査結果の概要】

- 1 令和3年産水稻の作付面積(青刈り面積を含む。)は156万4,000haで、前年産に比べ1万1,000haの減少が見込まれる。うち主食用作付見込面積は130万3,000haで、前年産に比べ6万3,000haの減少が見込まれる。
- 2 9月25日現在における水稻の作柄は、6月下旬から7月上旬の日照不足、8月中旬からの低温、日照不足等の影響がみられる地域がある一方で、北海道及び東北においては、全もみ数が平年以上に確保され、登熟も順調に推移していることから、全国の10a当たり予想収量は539kgとなった。また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は100が見込まれる。
- 3 主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量(主食用)は700万2,000tで、前年産に比べ22万4,000tの減少が見込まれる。

図1 全国農業地域別10a当たり予想収量(9月25日現在)



- 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積(青刈り面積を含む。)から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積(9月15日現在)を除いた面積(見込み)である。
- 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 本調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。

○ 令和3年産水稻の作付面積及び予想収穫量(9月25日現在)の本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y3 】

表 令和3年産水稻の作付面積及び9月25日現在の10a当たり予想収量(全国農業地域別)

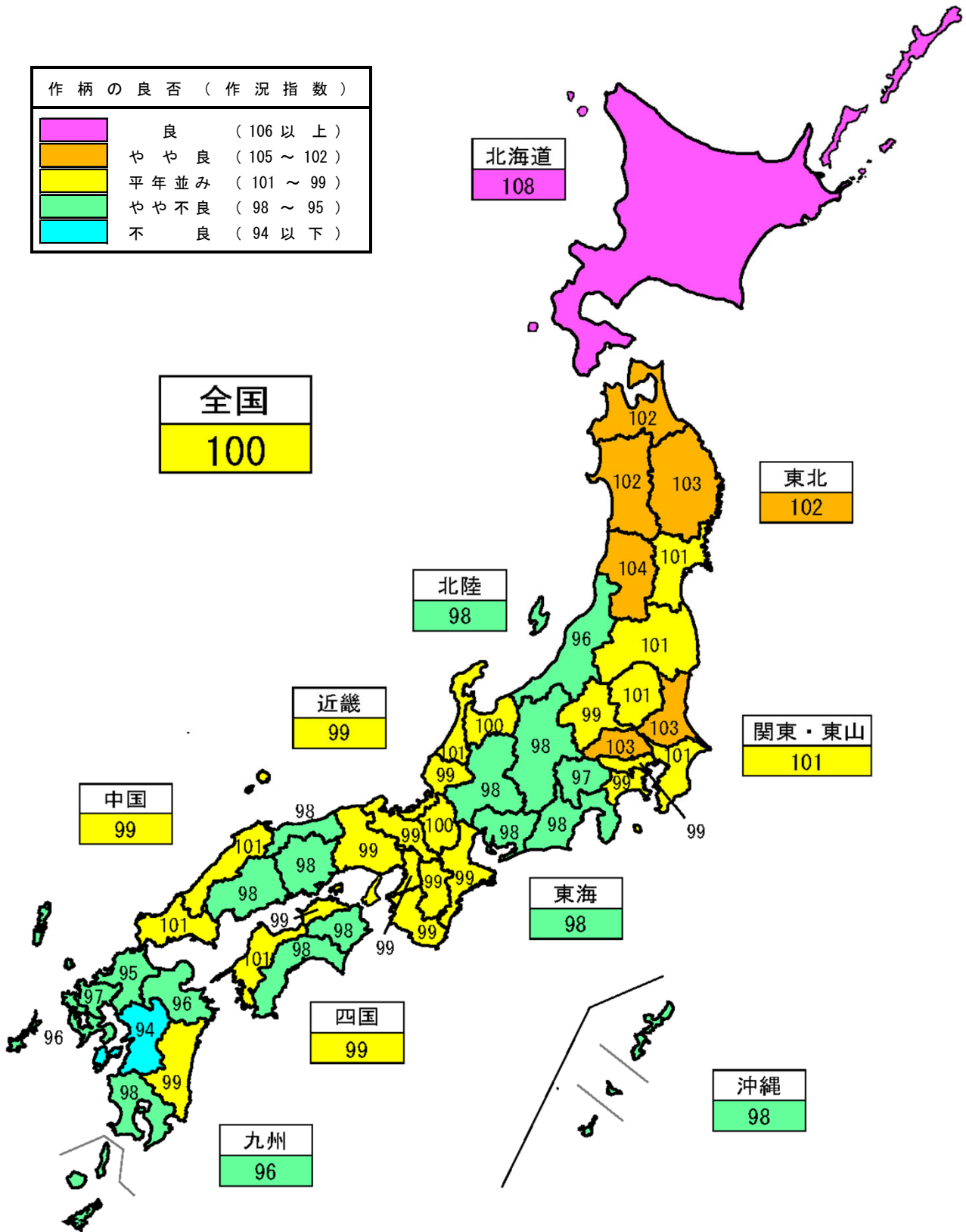
全国農業地域	作付面積（青刈り面積を含む。）			10 a 当たり予想収量		主食用作付 見込面積 ②	予想収穫量 （主食用） ③=①×②
	実 数	前年産との比較		実 数 ①	前年産との比較		
		対 差	対 比			対 差	
	ha	ha	%	kg	kg	ha	t
全 国	1,564,000	△ 11,000	99	539	8	1,303,000	7,002,000
北 海 道	103,300	△ 1,400	99	595	14	88,400	526,000
東 北	409,900	△ 1,700	100	581	△ 5	322,400	1,870,000
北 陸	211,500	△ 800	100	533	△ 17	177,900	947,700
関 東・東 山	294,400	△ 1,700	99	545	9	240,100	1,310,000
東 海	98,800	△ 800	99	494	14	87,600	432,900
近 畿	103,000	△ 1,100	99	504	14	95,700	482,200
中 国	105,600	△ 1,300	99	516	32	95,900	494,900
四 国	49,000	△ 900	98	479	9	45,400	218,400
九 州	187,500	△ 2,200	99	481	41	149,300	717,900
沖 縄	671	18	103	303	△ 19	623	1,890

注: 1 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

2 主食用作付見込面積及び予想収穫量(主食用)については都道府県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

3 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量(主食用)の算出は、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平均収量の加重平均を用いた。

図2 全国農業地域・都道府県別作況指数(9月25日現在)



注: 1 作況指数は、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
 2 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通期栽培を合算したものである。また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の作況指数の算出は、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

1 令和3年産水稻の作付面積、10a当たり予想収量及び予想収穫量(9月25日現在)

全 国 都道府県	作付面積（青刈り面積を含む。）			10a 当たり 予想収量 ①	農家等が使用している ふるい目幅で選別				
	実 数	前年産との比較			最も多い 使用割合 の目幅 ②	10a 当たり 予想収量 ③	10a 当たり 平年収量 ④	作 況 指 数 ⑤=③/④	
		対 差	対 比						
		ha	ha						%
全 国 (1)	1,564,000	△ 11,000	99	539	mm	514	512	100	
北 海 道 (2)	103,300	△ 1,400	99	595	1.90	568	526	108	
青 森 (3)	50,100	△ 200	100	617	1.90	588	574	102	
岩 手 (4)	55,100	△ 600	99	555	1.90	528	514	103	
宮 城 (5)	74,900	△ 400	99	545	1.90	518	514	101	
秋 田 (6)	89,800	△ 500	99	591	1.90	556	543	102	
山 形 (7)	68,500	△ 300	100	628	1.90	592	568	104	
福 島 (8)	71,600	400	101	555	1.85	536	533	101	
茨 城 (9)	75,800	△ 400	99	544	1.85	522	505	103	
栃 木 (10)	69,100	0	100	549	1.85	522	516	101	
群 馬 (11)	16,700	△ 300	98	493	1.80	477	482	99	
埼 玉 (12)	33,000	△ 200	99	505	1.80	490	477	103	
千 葉 (13)	59,800	△ 400	99	550	1.80	540	534	101	
東 京 (14)	120	△ 4	97	411	1.80	400	403	99	
神 奈 川 (15)	2,930	△ 70	98	489	1.80	472	477	99	
新 潟 (16)	121,400	△ 400	100	531	1.85	509	529	96	
富 山 (17)	38,700	△ 200	99	554	1.90	521	520	100	
石 川 (18)	25,200	△ 200	99	527	1.85	513	509	101	
福 井 (19)	26,100	△ 100	100	515	1.90	478	485	99	
山 梨 (20)	4,880	△ 30	99	533	1.80	518	532	97	
長 野 (21)	32,000	△ 200	99	605	1.85	585	598	98	
岐 阜 (22)	24,800	△ 200	99	477	1.80	467	475	98	
静 岡 (23)	16,700	△ 100	99	512	1.80	503	511	98	
愛 知 (24)	28,700	△ 200	99	497	1.85	481	491	98	
三 重 (25)	28,600	△ 300	99	495	1.85	473	479	99	
滋 賀 (26)	32,100	△ 300	99	520	1.90	485	483	100	
京 都 (27)	14,400	△ 100	99	503	1.85	486	493	99	
大 阪 (28)	4,630	△ 80	98	488	1.80	472	479	99	
兵 庫 (29)	37,200	△ 400	99	493	1.85	470	477	99	
奈 良 (30)	8,520	△ 20	100	509	1.80	496	500	99	
和 歌 山 (31)	6,100	△ 150	98	494	1.80	483	486	99	
鳥 取 (32)	13,600	△ 100	99	504	1.85	485	495	98	
島 根 (33)	18,200	△ 200	99	523	1.90	488	483	101	
岡 山 (34)	30,900	△ 300	99	520	1.85	493	501	98	
広 島 (35)	23,200	△ 200	99	518	1.85	499	509	98	
山 口 (36)	19,700	△ 400	98	509	1.85	484	480	101	
徳 島 (37)	11,400	△ 300	97	465	1.80	452	462	98	
早期栽培 (38)	4,480	△ 200	96	455	1.80	443	453	98	
普通栽培 (39)	6,940	△ 110	98	472	1.80	459	467	98	
香 川 (40)	11,600	△ 300	97	495	1.80	474	478	99	
愛 媛 (41)	13,700	△ 100	99	503	1.85	475	469	101	
高 知 (42)	12,300	△ 100	99	452	1.80	439	446	98	
早期栽培 (43)	7,090	△ 90	99	475	1.80	463	471	98	
普通栽培 (44)	5,200	△ 50	99	420	1.80	407	414	98	
福 岡 (45)	38,500	200	101	473	1.85	435	457	95	
佐 賀 (46)	25,700	△ 300	99	501	1.85	470	487	97	
長 崎 (47)	12,200	△ 200	98	462	1.80	444	463	96	
熊 本 (48)	41,700	△ 600	99	482	1.85	450	479	94	
大 分 (49)	23,600	△ 500	98	479	1.80	457	476	96	
宮 崎 (50)	23,100	0	100	489	1.80	477	482	99	
早期栽培 (51)	8,100	△ 440	95	481	1.80	476	470	101	
普通栽培 (52)	15,000	400	103	494	1.80	477	490	97	
鹿 児 島 (53)	22,700	△ 800	97	475	1.80	460	470	98	
早期栽培 (54)	6,580	△ 10	100	461	1.80	451	446	101	
普通栽培 (55)	16,100	△ 800	96	479	1.80	463	477	97	
沖 縄 (56)	671	18	103	303	1.80	293	300	98	
第一期稲 (57)	481	2	100	355	1.80	349	354	99	
第二期稲 (58)	190	16	109	...	1.80	...	149	...	

注:1 ①10a当たり予想収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

2 ③10a当たり予想収量、④10a当たり平年収量及び⑤作況指数については、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

3 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示しており、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量(主食用)の算出は、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

主食用作付見込面積 ⑥	予想収穫量（主食用） ⑦=①×⑥	作柄概況（平年比較）				登熟の良否	
		穂数の多少	1穂当たりの もみ数の少	全もみ数の 多	少		
1,303,000	7,002,000	(1)	
88,400	526,000	やや多い	平年並み	やや多い	やや良	(2)	
34,200	211,000	やや多い	やや少ない	平年並み	やや良	(3)	
46,200	256,400	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	(4)	
61,000	332,500	やや少ない	やや多い	やや多い	平年並み	(5)	
71,400	422,000	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	(6)	
54,900	344,800	やや多い	平年並み	やや多い	やや良	(7)	
54,700	303,600	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良	(8)	
61,400	334,000	平年並み	やや多い	やや多い	やや良	(9)	
50,600	277,800	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良	(10)	
13,000	64,100	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	(11)	
28,800	145,400	やや多い	平年並み	やや多い	やや不良	(12)	
48,100	264,600	平年並み	平年並み	やや多い	平年並み	(13)	
120	493	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み	(14)	
2,920	14,300	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	(15)	
101,800	540,600	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良	(16)	
32,200	178,400	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良	(17)	
21,400	112,800	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良	(18)	
22,500	115,900	平年並み	やや多い	平年並み	やや不良	(19)	
4,760	25,400	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	(20)	
30,400	183,900	やや少ない	多い	やや多い	やや不良	(21)	
20,700	98,700	やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み	(22)	
15,200	77,800	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良	(23)	
25,800	128,200	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良	(24)	
25,900	128,200	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	(25)	
28,900	150,300	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや良	(26)	
13,600	68,400	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	(27)	
4,620	22,500	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	(28)	
34,100	168,100	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良	(29)	
8,400	42,800	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	(30)	
6,100	30,100	少ない	多い	平年並み	平年並み	(31)	
12,400	62,500	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良	(32)	
16,500	86,300	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良	(33)	
27,900	145,100	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良	(34)	
21,700	112,400	平年並み	平年並み	平年並み	やや不良	(35)	
17,400	88,600	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良	(36)	
9,980	46,400	(37)	
...	...	少ない	多い	平年並み	やや不良	(38)	
...	...	平年並み	多い	やや多い	不良	(39)	
11,300	55,900	やや少ない	やや多い	やや多い	やや不良	(40)	
13,200	66,400	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	(41)	
11,000	49,700	(42)	
...	...	やや少ない	多い	やや多い	やや不良	(43)	
...	...	平年並み	平年並み	平年並み	やや不良	(44)	
34,100	161,300	やや少ない	やや少ない	少ない	平年並み	(45)	
22,800	114,200	少ない	平年並み	少ない	やや良	(46)	
10,800	49,900	少ない	やや少ない	少ない	やや良	(47)	
31,200	150,400	やや少ない	やや少ない	少ない	平年並み	(48)	
19,400	92,900	少ない	やや多い	やや少ない	平年並み	(49)	
13,900	68,000	(50)	
...	...	少ない	多い	平年並み	やや良	(51)	
...	...	少ない	平年並み	やや少ない	やや良	(52)	
17,100	81,200	(53)	
...	...	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	(54)	
...	...	平年並み	やや少ない	少ない	やや良	(55)	
623	1,890	(56)	
...	...	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	(57)	
...	(58)	

4 主食用作付見込面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日現在）を除いた面積（見込み）である。

5 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県における早期・普通期別等の主食用作付見込面積は、作期別に備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

6 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県における県平均の「穂数の多少」以降の指標は、調査を早期・普通期別等に行っており県平均を取りまとめていないため、「…」で示している。

2 令和3年産水稻の出穂期及び刈取済面積割合(9月25日現在)

都道府県	出穂期								刈取済面積割合
	始期	最盛期	終期	最盛期の比較					
				対平年差	対前年差				
	月 日	月 日	月 日	%
全 国	53
北海道	7. 20	7. 25	7. 31	7日早	6日早	...	76
青森	7. 27	7. 30	8. 4	6日早	6日早	...	34
岩手	7. 28	7. 31	8. 5	5日早	6日早	...	28
宮城	7. 26	7. 30	8. 7	4日早	7日早	...	28
秋田	7. 25	7. 31	8. 5	4日早	3日早	...	46
山形	7. 29	8. 2	8. 12	4日早	4日早	...	37
福島	8. 1	8. 7	8. 15	2日早	2日早	...	4
茨城	7. 17	7. 28	8. 11	2日早	5日早	...	94
栃木	7. 24	7. 30	8. 17	1日早	5日早	...	60
群馬	8. 4	8. 21	9. 2	1日遅	並み	...	7
埼玉	7. 23	8. 9	8. 31	1日早	3日早	...	45
千葉	7. 10	7. 20	8. 3	3日早	1日早	...	98
東京都	8. 3	8. 12	8. 23	2日早	2日早	...	26
神奈川県	7. 30	8. 10	8. 20	2日早	1日早	...	40
新潟	7. 24	8. 4	8. 13	1日早	2日早	...	80
富山	7. 13	8. 2	8. 11	並み	3日早	...	85
石川	7. 18	7. 28	8. 6	1日早	2日早	...	93
福井	7. 14	8. 1	8. 13	並み	3日早	...	93
山梨	8. 3	8. 8	8. 30	1日早	3日早	...	30
長野	7. 29	8. 6	8. 15	1日早	3日早	...	34
岐阜	7. 21	8. 21	9. 4	1日遅	並み	...	40
静岡県	7. 20	8. 6	8. 30	1日早	1日早	...	62
愛知県	7. 23	8. 19	9. 7	1日遅	1日早	...	37
三重	7. 14	7. 22	8. 10	1日早	並み	...	96
滋賀	7. 23	7. 30	8. 16	1日早	3日早	...	88
京都	7. 22	7. 31	8. 17	2日早	2日早	...	54
大阪	8. 1	8. 24	8. 31	1日遅	2日遅	...	20
兵庫県	7. 26	8. 9	8. 31	2日早	4日早	...	49
奈良	7. 31	8. 24	8. 29	並み	1日遅	...	24
和歌山	7. 17	8. 5	8. 24	2日早	1日早	...	75
鳥取	7. 28	8. 8	8. 25	2日遅	1日早	...	46
島根	7. 19	7. 30	8. 18	並み	4日早	...	56
岡山	7. 30	8. 23	9. 8	3日遅	2日遅	...	33
広島	7. 22	8. 6	8. 26	1日早	3日早	...	49
山口	7. 27	8. 11	8. 30	2日遅	1日早	...	59
徳島	7. 6	7. 16	7. 25	2日遅	3日遅	...	100
香川	7. 20	8. 24	9. 3	3日遅	4日遅	...	40
愛媛	7. 18	8. 15	9. 4	2日遅	2日遅	...	55
高知	6. 22	7. 1	7. 18	1日早	1日早	...	100
福岡	8. 1	8. 20	9. 4	2日早	3日早	...	33
佐賀	7. 21	8. 27	9. 11	1日早	3日早	...	26
長崎	7. 15	8. 24	9. 2	2日早	2日早	...	19
熊本	7. 15	8. 22	9. 6	並み	並み	...	10
大分	7. 29	8. 27	9. 5	2日遅	3日遅	...	12
宮崎	6. 20	6. 25	7. 2	1日遅	1日遅	...	100
鹿児島	8. 17	8. 26	9. 4	2日遅	3日遅	...	3
鹿兒島	6. 17	6. 24	7. 15	1日早	2日早	...	100
沖縄	8. 20	8. 28	9. 7	3日遅	4日遅	...	0
沖縄	4. 25	5. 20	6. 4	2日早	1日早	...	100

注: 出穂期の始期、最盛期、終期とは、出穂済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日である。

2 米の契約・販売情報

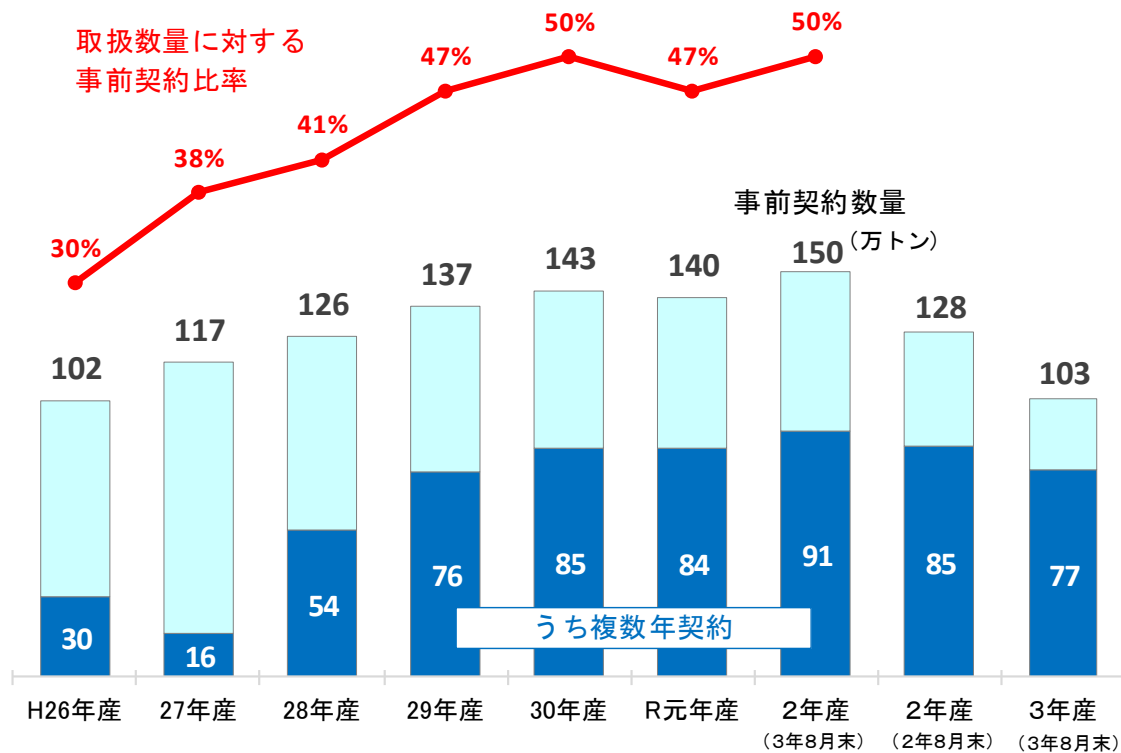
1 事前契約の取組状況

契約・販売状況の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」で御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

(1) 近年の事前契約数量の推移（平成26年産～令和3年産）

- 事前契約数量は、農水省が一定規模以上の集出荷業者を対象に、「収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量」について調査。
- 近年、主食用米の事前契約（複数年契約）の取組は、年々増加。

【近年の事前契約数量の推移】



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間取扱量5,000トン以上の出荷事業者。

注2：「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量。

注3：「複数年契約」の契約期間は3年間が大宗である。

注4：「単年契約」とは、は種前・収穫前契約による数量。

注5：元年産以前は確定値、2・3年産は3年8月末時点の速報値。

注6：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 令和3年産米の産地別事前契約の取組状況（令和3年8月末現在）（速報）

- 令和3年産の令和3年8月末現在の事前契約数量は前年差▲24.5万トンの103.1万トンとなっている。

単位：千玄米トン

	2年産（2年8月末現在）		3年産（3年8月末現在）			
	事前契約数量 ①	うち複数年契約 ②	事前契約数量 ③	前年同月差 ④=③-①	うち複数年契約 ⑤	前年同月差 ⑥=⑤-②
北海道	191.6	183.4	179.3	▲ 12.3	178.6	▲ 4.9
青森	65.3	28.3	25.5	▲ 39.7	25.5	▲ 2.8
岩手	88.0	85.3	11.6	▲ 76.4	11.6	▲ 73.8
宮城	129.1	117.3	125.6	▲ 3.5	125.6	8.2
秋田	191.8	142.0	174.0	▲ 17.8	140.1	▲ 1.9
山形	13.9	13.9	51.1	37.2	48.5	34.6
福島	48.4	43.1	21.6	▲ 26.8	21.6	▲ 21.5
茨城	26.9	-	15.7	▲ 11.2	-	-
栃木	65.1	65.1	63.1	▲ 2.0	63.1	▲ 2.0
群馬	-	-	-	-	-	-
埼玉	5.1	0.9	6.0	0.9	0.9	0.0
千葉	0.1	0.1	3.9	3.8	3.9	3.8
東京	-	-	-	-	-	-
神奈川	-	-	-	-	-	-
山梨	-	-	-	-	-	-
長野	33.2	31.1	27.5	▲ 5.7	26.9	▲ 4.2
静岡	1.6	-	1.7	0.0	-	-
新潟	147.9	102.4	123.6	▲ 24.3	87.5	▲ 14.9
富山	47.2	7.5	17.6	▲ 29.6	0.5	▲ 7.0
石川	20.4	1.5	11.7	▲ 8.7	0.2	▲ 1.3
福井	1.9	1.9	8.2	6.4	8.2	6.4
岐阜	8.5	2.4	8.3	▲ 0.1	2.4	0.0
愛知	13.1	1.7	14.6	1.5	1.7	0.0
三重	22.4	-	21.0	▲ 1.3	-	-
滋賀	35.4	20.2	43.7	8.2	19.3	▲ 0.9
京都	-	-	-	-	-	-
大阪	-	-	-	-	-	-
兵庫	13.0	-	-	-	-	-
奈良	-	-	-	-	-	-
和歌山	-	-	-	-	-	-
鳥取	-	-	-	-	-	-
島根	2.7	-	-	-	-	-
岡山	-	-	-	-	-	-
広島	26.3	-	26.3	0.0	-	-
山口	18.6	0.6	-	-	-	-
徳島	2.2	-	2.2	0.0	-	-
香川	6.0	6.0	-	-	-	-
愛媛	3.5	-	-	-	-	-
高知	1.8	-	1.6	▲ 0.2	-	-
福岡	33.3	0.2	34.3	1.0	0.2	0.0
佐賀	-	-	-	-	-	-
長崎	7.2	-	7.3	0.0	-	-
熊本	-	-	-	-	-	-
大分	3.9	-	4.0	0.1	-	-
宮崎	-	-	-	-	-	-
鹿児島	-	-	-	-	-	-
沖縄	-	-	-	-	-	-
全 国	1,276	855	1,031	▲ 245	766	▲ 89

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」「米の農産物検査結果」

注1：報告対象業者は、年間取扱量5,000トン以上の出荷事業者。

注2：「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量。

注3：「複数年契約」の契約期間は3年間が大宗である。

4：「単年契約」とは、は種前・収穫前契約による数量。

5：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

契約2-2

2 令和2年産米の産地別契約・販売状況

(累計、うるち米、令和3年8月末現在) (速報)

集荷・契約・販売数量(北海道から静岡まで)

単位: (千玄米ト)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量 ③	販売 比率 ③/①	参考:前年同月比 (元年産の同時期との比較)		
							集荷数量	契約数量	販売数量
北海道	106	369.9	337.7	91%	275.9	75%	107%	98%	95%
ななつぼし		178.6	165.8	93%	138.9	78%	108%	101%	99%
ゆめぴりか		82.2	79.5	97%	69.0	84%	103%	99%	95%
きらら397		47.2	38.3	81%	22.7	48%	124%	102%	91%
青森	105	147.5	141.8	96%	97.3	66%	94%	97%	81%
まっしぐら		111.6	106.8	96%	67.4	60%	100%	105%	81%
つがるロマン		24.8	24.1	97%	20.1	81%	69%	72%	73%
岩手	103	139.2	137.6	99%	96.0	69%	101%	101%	93%
ひとめぼれ		105.7	104.1	99%	74.7	71%	100%	99%	95%
あきたこまち		16.5	16.5	100%	9.2	56%	104%	104%	80%
銀河のしずく		7.1	7.1	100%	5.0	70%	106%	106%	92%
宮城	102	192.8	189.1	98%	110.1	57%	111%	111%	89%
ひとめぼれ		148.6	147.1	99%	81.7	55%	110%	111%	86%
つや姫		14.2	14.2	100%	11.2	79%	118%	119%	109%
ササニシキ		9.7	9.6	99%	6.4	66%	115%	115%	103%
秋田	105	281.8	274.2	97%	227.8	81%	102%	101%	96%
あきたこまち		229.2	226.1	99%	196.3	86%	102%	103%	98%
めんこいな		14.2	12.4	87%	8.6	61%	105%	91%	84%
ひとめぼれ		22.3	21.5	96%	13.1	59%	104%	101%	88%
山形	104	224.5	226.0	101%	171.7	77%	102%	103%	101%
はえぬき		128.0	131.1	102%	89.2	70%	98%	101%	94%
つや姫		45.8	46.1	101%	42.1	92%	106%	107%	108%
ひとめぼれ		15.8	15.5	98%	14.6	93%	97%	98%	102%
福島	102	150.9	135.3	90%	97.5	65%	82%	78%	82%
コシヒカリ中通り		44.0	37.9	86%	32.1	73%	88%	77%	99%
コシヒカリ会津		35.1	34.8	99%	17.9	51%	73%	73%	61%
コシヒカリ浜通り		5.9	5.8	98%	4.8	81%	72%	73%	120%
ひとめぼれ		29.8	26.0	87%	17.6	59%	90%	83%	78%
天のつぶ		22.9	19.1	83%	14.3	63%	82%	79%	75%
茨城	103	84.0	83.9	100%	67.2	80%	118%	113%	108%
コシヒカリ		60.7	60.6	100%	45.2	75%	114%	110%	101%
あきたこまち		12.7	12.8	101%	12.3	97%	129%	130%	125%
あさひの夢		1.0	1.0	100%	1.0	100%	87%	61%	111%
栃木	101	132.8	128.1	96%	76.0	57%	106%	106%	82%
コシヒカリ		95.8	92.3	96%	55.3	58%	102%	102%	81%
あさひの夢		11.4	11.2	98%	6.2	54%	128%	129%	92%
とちぎの星		16.4	15.5	94%	8.2	50%	127%	128%	83%
群馬	100	23.1	23.1	100%	15.7	68%	105%	105%	91%
あさひの夢		17.2	17.2	100%	11.2	65%	106%	106%	91%
ゆめまつり		3.9	3.9	99%	3.5	91%	102%	102%	104%
埼玉	102	24.1	20.6	85%	14.0	58%	137%	127%	102%
彩のかがやき		10.1	8.0	79%	6.1	60%	131%	118%	102%
彩のきずな		6.9	6.4	93%	3.5	51%	156%	153%	99%
コシヒカリ		4.8	3.8	80%	2.6	55%	120%	103%	93%
千葉	99	85.4	85.5	100%	72.0	84%	111%	109%	94%
コシヒカリ		40.0	40.6	101%	32.9	82%	110%	112%	91%
ふさこがね		21.8	21.7	99%	17.5	80%	116%	114%	93%
ふさおとめ		17.0	16.9	100%	15.7	93%	99%	99%	92%
東京	98	0.0	0.0	100%	0.0	100%	200%	200%	200%
神奈川	97	1.9	1.7	89%	1.7	89%	107%	128%	128%
山梨	97	5.4	4.3	80%	4.3	80%	90%	90%	90%
コシヒカリ		4.6	3.7	80%	3.7	80%	89%	89%	89%
長野	99	66.4	65.4	99%	49.2	74%	95%	94%	88%
コシヒカリ		53.5	52.5	98%	39.7	74%	97%	95%	90%
あきたこまち		6.3	6.3	100%	4.9	78%	82%	82%	77%
静岡	92	5.7	5.7	100%	5.7	100%	92%	92%	92%
コシヒカリ		3.9	3.9	100%	3.9	100%	96%	96%	96%
きぬむすめ		0.7	0.7	100%	0.7	100%	91%	91%	91%
あいちのかおり		0.6	0.6	100%	0.6	100%	78%	78%	78%

注: 本表の注意点は次々頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量(新潟から広島まで)

単位: (千玄米トン)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量		参考:前年同月比 (元年産の同時期との比較)		
					③	販売 比率 ③/①	集荷数量	契約数量	販売数量
新潟	103	280.9	277.9	99%	242.3	86%	99%	99%	97%
コシヒカリ一般		134.0	133.2	99%	112.1	84%	100%	100%	96%
コシヒカリ魚沼		34.1	33.4	98%	32.7	96%	101%	101%	103%
コシヒカリ佐渡		14.2	14.2	100%	12.9	90%	98%	98%	96%
コシヒカリ岩船		11.9	11.8	99%	9.8	82%	93%	92%	86%
こしいぶき		44.6	44.3	99%	39.0	88%	92%	93%	93%
富山	103	96.4	85.0	88%	72.9	76%	106%	94%	91%
コシヒカリ		69.1	60.3	87%	53.5	77%	105%	92%	88%
てんたかく		8.6	8.5	99%	7.3	85%	91%	90%	95%
石川	101	33.2	27.8	84%	23.3	70%	129%	108%	113%
コシヒカリ		18.8	14.3	76%	14.1	75%	133%	100%	123%
ゆめみづほ		5.1	5.1	100%	2.5	48%	118%	118%	71%
福井	99	59.9	54.8	92%	47.9	80%	85%	81%	77%
コシヒカリ		24.3	23.4	96%	21.0	86%	85%	86%	82%
ハナエチゼン		16.4	16.1	98%	13.5	82%	76%	75%	65%
あきさかり		5.8	5.4	93%	4.3	75%	75%	77%	67%
岐阜	96	19.5	19.1	98%	16.7	86%	86%	88%	89%
ハツシモ		7.8	7.8	101%	6.8	87%	76%	80%	82%
コシヒカリ		5.9	5.6	95%	4.7	81%	88%	88%	89%
あさひの夢		0.6	0.6	97%	0.3	60%	71%	68%	54%
愛知	96	34.1	34.1	100%	28.1	82%	110%	114%	114%
あいちのかおり		18.6	18.6	100%	15.0	81%	111%	113%	126%
コシヒカリ		10.5	10.5	100%	9.3	89%	109%	114%	105%
大地の風		1.2	1.2	100%	0.8	67%	95%	95%	86%
三重	96	26.9	27.2	101%	22.5	84%	104%	105%	95%
コシヒカリ一般		13.7	13.7	100%	11.7	86%	100%	100%	92%
コシヒカリ伊賀		5.8	5.8	100%	4.8	83%	102%	102%	90%
キヌヒカリ		2.1	2.1	100%	1.8	85%	113%	113%	125%
滋賀	98	67.1	66.8	99%	57.2	85%	127%	124%	123%
コシヒカリ		24.1	24.1	100%	21.5	90%	134%	130%	133%
キヌヒカリ		11.9	11.9	100%	9.5	79%	122%	119%	110%
みずかがみ		11.9	12.0	100%	11.4	95%	119%	118%	122%
京都	98	9.5	11.0	115%	7.3	77%	113%	111%	103%
コシヒカリ		5.9	6.6	112%	4.9	84%	121%	114%	109%
キヌヒカリ		1.8	2.4	132%	1.3	72%	97%	107%	101%
ヒノヒカリ		0.9	1.1	117%	0.6	63%	98%	114%	80%
大阪	94	-	-	-	-	-	---	---	---
兵庫	95	37.9	37.8	100%	28.2	75%	91%	91%	95%
コシヒカリ		11.7	11.7	100%	11.0	94%	111%	111%	106%
ヒノヒカリ		3.5	3.5	100%	3.1	87%	86%	86%	92%
キヌヒカリ		3.3	3.2	99%	2.9	89%	101%	100%	105%
奈良	94	7.1	5.6	79%	5.6	79%	84%	82%	82%
ヒノヒカリ		5.6	4.5	80%	4.5	80%	83%	82%	82%
和歌山	92	0.5	0.5	100%	0.5	100%	57%	57%	57%
鳥取	100	23.4	21.2	91%	17.9	76%	105%	98%	93%
きぬむすめ		7.5	6.4	85%	5.0	67%	96%	83%	74%
コシヒカリ		6.8	6.3	93%	5.9	88%	94%	91%	94%
ひとめぼれ		4.8	4.6	97%	3.8	80%	92%	87%	83%
島根	99	33.5	33.5	100%	28.4	85%	96%	96%	89%
コシヒカリ		13.3	13.3	100%	12.2	92%	95%	95%	93%
きぬむすめ		13.2	13.2	100%	10.4	79%	95%	95%	83%
つや姫		4.4	4.4	100%	3.8	87%	102%	102%	91%
岡山	95	39.3	36.1	92%	28.7	73%	86%	79%	81%
アケボノ		8.0	7.7	96%	4.7	59%	93%	89%	88%
きぬむすめ		6.0	5.3	89%	4.4	73%
あきたこまち		5.6	4.8	87%	4.3	77%	89%	77%	72%
広島	94	29.5	29.1	99%	23.9	81%	100%	89%	96%
コシヒカリ		12.4	12.5	100%	11.1	89%	102%	91%	98%
あきさかり		6.9	6.7	96%	5.4	78%	109%	92%	109%
あきろまん		2.3	2.2	96%	1.8	78%	89%	70%	88%

注: 本表の注意点は次頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量(山口から沖縄まで、全国計)

単位：(千玄米トン)

	作況指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約比率 ②/①	販売数量 ③	販売比率 ③/①	参考：前年同月比 (元年産の同時期との比較)		
							集荷数量	契約数量	販売数量
山口	73	21.1	19.8	94%	17.6	83%	65%	60%	67%
コシヒカリ		7.9	7.7	98%	7.4	94%	82%	76%	89%
ひとめぼれ		5.7	4.9	87%	4.1	72%	73%	60%	58%
ヒノヒカリ		2.9	2.7	93%	2.4	83%	43%	40%	46%
徳島	100	6.2	6.2	100%	5.4	87%	111%	111%	101%
コシヒカリ		1.8	1.8	100%	1.8	100%	70%	70%	70%
あきさかり		3.4	3.4	100%	2.6	76%
香川	100	20.2	18.2	90%	15.4	76%	102%	92%	98%
コシヒカリ		6.5	5.8	89%	5.5	85%	98%	87%	87%
ヒノヒカリ		5.8	5.2	89%	4.6	78%	98%	87%	111%
おいでまい		3.7	3.3	89%	2.9	79%	92%	81%	87%
愛媛	91	8.8	8.0	91%	7.6	86%	106%	101%	103%
コシヒカリ		3.7	3.5	96%	3.5	96%	111%	107%	110%
ヒノヒカリ		1.3	1.1	82%	1.0	79%	94%	87%	92%
あきたこまち		1.1	1.0	90%	1.0	90%	120%	114%	123%
高知	93	9.0	8.8	98%	8.8	98%	93%	92%	92%
コシヒカリ		5.8	5.8	100%	5.8	100%	92%	92%	92%
ヒノヒカリ		0.9	0.9	100%	0.9	100%	68%	69%	69%
福岡	80	39.7	39.3	99%	34.2	86%	92%	93%	89%
夢つくし		12.9	12.9	100%	12.7	98%	93%	94%	93%
ヒノヒカリ		9.6	9.6	100%	7.6	79%	85%	86%	77%
元気つくし		12.9	12.6	98%	11.2	87%	89%	90%	90%
佐賀	82	29.3	33.1	113%	23.8	81%	104%	117%	109%
夢しずく		9.8	11.7	119%	9.4	95%	93%	110%	103%
さがびより		10.1	11.2	111%	6.7	66%	133%	147%	130%
ヒノヒカリ		6.1	7.1	117%	4.8	79%	98%	114%	111%
長崎	86	7.8	9.0	115%	6.6	84%	85%	96%	86%
ヒノヒカリ		1.5	2.0	134%	1.2	80%	62%	83%	57%
にこまる		3.2	3.7	116%	2.7	86%	84%	95%	92%
コシヒカリ		1.0	1.0	100%	1.0	95%	89%	83%	89%
熊本	89	29.5	23.1	78%	23.1	78%	91%	83%	83%
ヒノヒカリ		11.6	8.9	77%	8.9	77%	90%	80%	80%
森のくまさん		5.1	4.1	79%	4.1	79%	82%	76%	76%
コシヒカリ		5.5	4.8	86%	4.8	86%	94%	84%	84%
大分	77	8.4	9.7	116%	6.8	81%	92%	107%	89%
ヒノヒカリ		4.2	5.4	127%	3.4	80%	73%	93%	71%
ひとめぼれ		1.1	1.1	102%	0.7	68%	140%	142%	110%
つや姫		1.8	2.0	112%	1.7	95%	105%	118%	106%
宮崎	95	11.7	11.1	95%	11.1	95%	98%	93%	94%
コシヒカリ		6.1	6.1	100%	6.1	100%	93%	93%	93%
ヒノヒカリ		4.8	4.3	89%	4.3	89%	103%	92%	95%
鹿児島	94	11.9	11.9	100%	11.3	95%	94%	94%	96%
ヒノヒカリ		4.7	4.7	100%	4.1	89%	95%	95%	97%
あきほなみ		2.3	2.3	100%	2.2	98%	108%	108%	114%
コシヒカリ		3.2	3.2	100%	3.2	100%	91%	91%	91%
沖縄	101	1.3	1.3	100%	1.3	100%	95%	95%	96%
全国①	99	2,993	2,880	96%	2,260	76%	101%	99%	93%
参考	前年同月(元年産)②	2,964	2,916	98%	2,421	82%			
	前年同月差(①-②)	+ 29	▲ 36	▲ 2%	▲ 161	▲ 6%			

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上)である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちのみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米を含む。)である。

3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結(確認書等により数量のみが決定した契約を含む。)した数量である。

5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。

6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。

7 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

8 「-」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないものである。

9 「参考：前年同月比」で、令和元年産又は令和2年産の同時期に数量がなかった場合は、「…」としている。

3 政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入入札の結果（令和3年産）

令和3年産

（単位：トン）

買入対象米穀 の産地	都道府県別 優先枠	買入入札の結果				落札合計数量
		第1回 令和3年1月26日実施	第2回 令和3年2月16日実施	第3回 令和3年3月9日実施	第4回 令和3年3月25日実施	
北海道	2,162	2,162				2,162
青森	27,259	27,259				27,259
岩手	3,488	3,488				3,488
宮城	11,600	11,600				11,600
秋田	21,572	21,572				21,572
山形	21,291	21,291				21,291
福島	27,050	27,050				27,050
茨城	1,103	1,103				1,103
栃木	7,602	7,602				7,602
群馬	555	555				555
埼玉	463	463				463
千葉	3,985	3,985				3,985
東京						
神奈川						
新潟	25,149	25,149				25,149
富山	12,197	12,197				12,197
石川	7,849	7,849				7,849
福井	4,076	4,076				4,076
山梨						
長野	1,446	1,446				1,446
岐阜	435	100	335			435
静岡	20	0	0	20		20
愛知	846	846				846
三重	270	270				270
滋賀	1,342	1,283	59			1,342
京都						
大阪						
兵庫						
奈良						
和歌山						
鳥取	400	100	300			400
島根	130	130				130
岡山	977	552	425			977
広島	20	0	20			20
山口						
徳島	1,182	1,182				1,182
香川						
愛媛						
高知	10	0	10			10
福岡	264	0	0	76		264
佐賀	220	0	220			220
長崎	10	0	0	0		10
熊本	247	133	114			247
大分	94	94				94
宮崎						
鹿児島						
沖縄						
都道府県別枠計	185,314	183,537	1,483	96		185,116
指定なし	21,686	21,686			198	21,884
合計	185,314	205,223	1,483	96	198	207,000
うちCPTPP分						7,000

	買入予定数量 ①	合計落札数量 ②	落札比率 ②/①	落札残 ①-②
備蓄米入札 落札結果	207,000	270,000	100.0%	0

3 米の民間在庫情報

1 民間在庫の推移

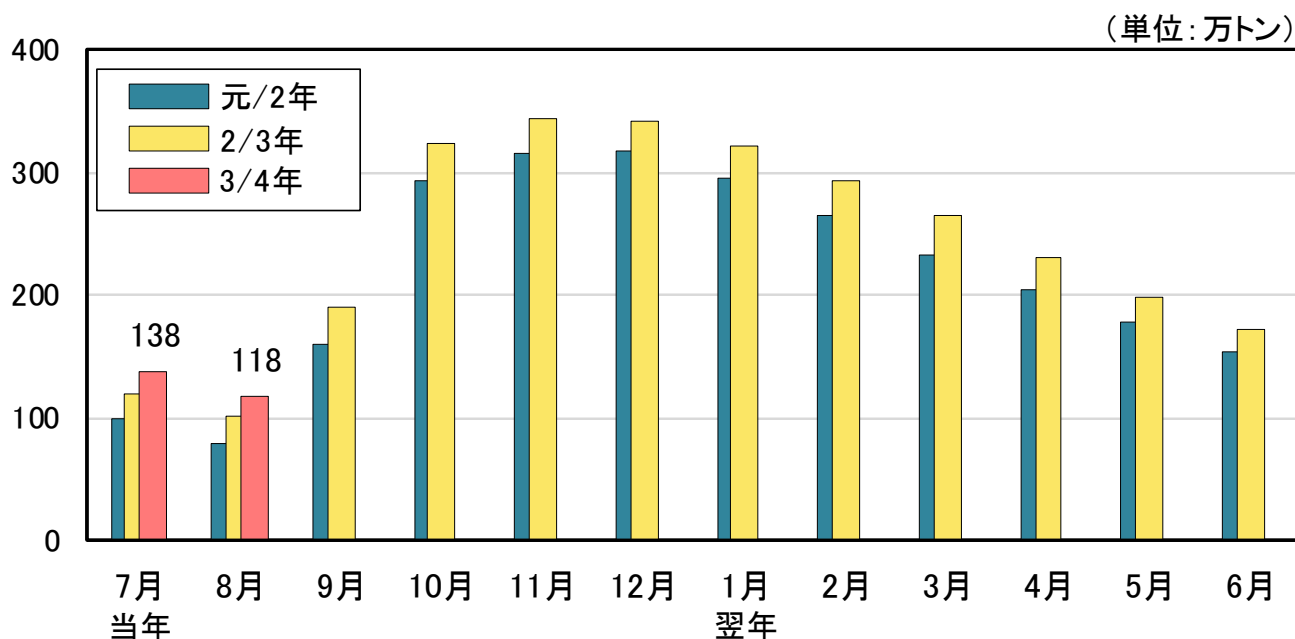
(1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）

民間在庫の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

- 令和3年8月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、対前年同月差+17万トンの118万トンとなっている。また、流通段階別でみると出荷段階で対前年同月差+20万トン、販売段階で▲2万トンとなっている。

※ 産地別の在庫量は、「在庫3-5」以降を参照。



【全国段階の民間在庫の推移(うるち米)】

【出荷＋販売段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
27/28年	130	112	184	321	341	337	314	287	254	218	183	147
対前年差	+11	+9	▲13	▲23	▲27	▲28	▲29	▲26	▲26	▲26	▲24	▲21
27年産米	0	13	112	261	289	297	282	262	233	201	168	135
1年古米(26年産)	119	90	66	52	43	32	25	19	15	12	11	8
28/29年	114	93	177	314	338	329	306	282	248	212	177	141
対前年差	▲16	▲19	▲7	▲7	▲3	▲8	▲8	▲6	▲6	▲5	▲7	▲7
28年産米	1	14	122	267	299	299	284	264	233	201	167	135
1年古米(27年産)	104	72	48	38	30	22	16	12	9	7	5	4
29/30年	108	88	155	283	315	311	288	263	234	201	167	134
対前年差	▲6	▲5	▲22	▲30	▲22	▲18	▲18	▲18	▲13	▲11	▲10	▲6
29年産米	1	15	104	241	282	287	270	249	223	192	160	129
1年古米(28年産)	103	71	48	38	29	20	14	11	8	6	5	4
30/元年	102	87	151	288	305	301	282	258	227	192	161	131
対前年差	▲6	▲1	▲4	+5	▲10	▲10	▲6	▲5	▲7	▲9	▲5	▲3
30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126
1年古米(29年産)	97	67	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4
元/2年	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
対前年差	▲3	▲9	+10	+6	+10	+17	+13	+7	+6	+11	+16	+23
元年産米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
2/3年	119	101	190	324	344	342	321	293	265	230	199	173
対前年差	+20	+21	+29	+30	+29	+24	+26	+27	+31	+27	+21	+19
2年産米	0	12	124	266	297	304	291	269	245	214	185	162
1年古米(元年産)	112	84	61	51	40	31	23	17	13	11	9	7
3/4年	138	118										
対前年差	+19	+17										
3年産米	0	10										
1年古米(2年産)	129	100										

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、

出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

4 期間については、3/4年であれば、令和3年7月～4年6月である。

5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。

【出荷段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
27/28年	105	89	157	278	296	292	273	249	210	178	149	117
対前年差	+12	+11	▲8	▲15	▲20	▲21	▲22	▲22	▲24	▲21	▲22	▲21
27年産米	0	11	100	237	262	267	254	234	202	171	143	112
1年古米(26年産)	101	76	55	39	32	23	18	14	8	6	5	4
28/29年	89	70	145	261	284	276	260	236	201	170	142	112
対前年差	▲16	▲20	▲12	▲17	▲11	▲16	▲13	▲12	▲9	▲7	▲7	▲5
28年産米	1	11	108	239	268	265	252	230	197	167	139	111
1年古米(27年産)	84	56	35	19	14	9	6	5	3	2	2	1
29/30年	84	66	124	231	262	257	240	218	186	158	130	103
対前年差	▲4	▲4	▲21	▲30	▲23	▲19	▲20	▲18	▲14	▲13	▲12	▲9
29年産米	0	11	89	211	247	248	233	213	183	155	128	102
1年古米(28年産)	83	54	34	19	13	9	6	4	3	2	2	1
30/元年	76	63	120	236	252	249	235	215	183	150	127	101
対前年差	▲8	▲3	▲4	+5	▲10	▲8	▲5	▲3	▲4	▲7	▲4	▲2
30年産米	1	14	90	219	240	240	228	211	180	148	125	100
1年古米(29年産)	74	48	30	15	11	7	5	4	3	2	2	1
元/2年	74	55	128	238	257	261	244	219	184	157	138	109
対前年差	▲2	▲8	+8	+2	+5	+13	+9	+4	+1	+7	+11	+8
元年産米	0	7	99	222	246	254	238	214	181	155	136	108
1年古米(30年産)	73	47	28	14	9	6	4	3	2	2	1	1
2/3年	84	70	151	265	285	284	269	245	217	186	162	132
対前年差	+10	+15	+23	+27	+27	+22	+26	+27	+33	+29	+24	+23
2年産米	0	9	108	236	263	268	258	237	211	182	158	129
1年古米(元年産)	82	60	42	28	20	14	10	7	5	4	3	3
3/4年	106	89										
対前年差	+22	+20										
3年産米	0	8										
1年古米(2年産)	103	80										

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

【販売段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
27/28年	25	23	27	43	45	45	41	39	44	40	35	30
対前年差	▲2	▲2	▲5	▲8	▲7	▲7	▲7	▲5	▲2	▲4	▲3	±0
27年産米	0	2	11	24	27	29	27	28	32	30	25	23
1年古米(26年産)	17	14	10	13	12	9	7	5	7	6	6	4
28/29年	25	24	32	53	53	53	46	45	47	42	35	29
対前年差	+1	+1	+5	+10	+8	+8	+5	+7	+3	+2	±0	▲2
28年産米	0	3	14	28	31	35	31	33	37	34	28	25
1年古米(27年産)	19	16	13	20	17	13	9	7	6	4	3	3
29/30年	23	22	31	52	54	54	48	45	48	44	37	31
対前年差	▲2	▲1	▲1	±0	+1	+1	+3	±0	+1	+2	+2	+2
29年産米	0	4	15	30	35	39	37	36	40	37	32	28
1年古米(28年産)	20	16	13	20	16	12	8	7	5	4	3	2
30/元年	26	25	31	53	53	53	47	43	44	42	35	30
対前年差	+3	+2	±0	±0	±0	▲1	▲1	▲2	▲4	▲2	▲2	▲1
30年産米	0	4	13	29	33	37	34	33	36	36	30	27
1年古米(29年産)	23	19	16	21	17	13	10	8	6	5	4	3
元/2年	26	24	33	56	58	57	51	47	49	46	40	45
対前年差	±0	▲1	+2	+3	+4	+4	+4	+4	+5	+4	+5	+14
元年産米	0	3	16	32	37	40	38	36	40	38	33	38
1年古米(30年産)	22	18	15	20	15	10	8	6	5	4	3	2
2/3年	35	31	39	59	60	58	52	48	48	44	37	41
対前年差	+10	+7	+6	+3	+2	+1	+1	+1	▲2	▲2	▲3	▲4
2年産米	0	3	15	30	34	36	33	32	34	33	27	33
1年古米(元年産)	30	24	19	23	20	16	13	10	9	7	6	4
3/4年	32	28										
対前年差	▲3	▲2										
3年産米	0	3										
1年古米(2年産)	25	20										

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

(2) 産地別民間在庫の状況（前年同月対比）

単位：千玄米トン

	2年	2年	3年	対前年	対前年	3年	対前年	対前年
	7月	8月	7月	同月差	同月比	8月	同月差	同月比
	①	②	③	④=③-①	⑤=③/①	⑥	⑦=⑥-②	⑧=⑥/②
	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(%)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(%)
北海道	113.9	84.6	160.3	+46.4	+40.7%	125.1	+40.5	+47.9%
青森	76.0	61.1	83.4	+7.4	+9.7%	68.1	+7.0	+11.4%
岩手	67.9	49.6	69.9	+2.1	+3.0%	54.5	+4.9	+9.9%
宮城	89.1	68.9	116.6	+27.5	+30.8%	97.4	+28.6	+41.5%
秋田	83.6	57.2	100.2	+16.6	+19.9%	73.3	+16.2	+28.3%
山形	85.4	69.0	89.1	+3.7	+4.3%	71.4	+2.4	+3.5%
福島	103.7	87.1	96.1	▲7.6	▲7.3%	77.2	▲9.9	▲11.4%
茨城	36.0	46.1	43.7	+7.7	+21.4%	51.2	+5.1	+11.0%
栃木	65.3	52.5	96.8	+31.5	+48.3%	80.5	+28.0	+53.2%
群馬	8.1	6.7	10.7	+2.5	+31.3%	9.4	+2.7	+39.8%
埼玉	10.4	7.7	17.5	+7.1	+68.0%	14.5	+6.8	+87.3%
千葉	15.4	49.2	35.8	+20.5	+133.2%	66.6	+17.4	+35.3%
東京	0.0	0.0	0.0	+0.0	-	0.0	+0.0	-
神奈川	0.6	0.5	0.6	▲0.1	▲12.1%	0.4	▲0.2	▲32.2%
山梨	2.0	1.4	1.8	▲0.3	▲13.0%	1.3	▲0.1	▲9.7%
長野	29.6	20.8	32.0	+2.5	+8.3%	23.8	+3.0	+14.5%
静岡	3.5	5.3	2.9	▲0.6	▲16.9%	3.7	▲1.6	▲30.9%
新潟	84.7	53.6	88.9	+4.2	+5.0%	58.2	+4.5	+8.5%
富山	25.8	19.9	37.5	+11.7	+45.2%	29.7	+9.8	+49.5%
石川	16.6	11.6	23.1	+6.5	+39.1%	20.1	+8.4	+72.4%
福井	22.3	19.2	21.8	▲0.4	▲2.0%	22.3	+3.1	+16.1%
岐阜	14.3	12.4	12.1	▲2.2	▲15.3%	10.3	▲2.1	▲17.1%
愛知	12.3	11.1	12.2	▲0.0	▲0.3%	10.4	▲0.7	▲6.3%
三重	7.6	15.1	9.4	+1.8	+24.0%	14.1	▲1.0	▲6.6%
滋賀	19.1	16.3	22.6	+3.5	+18.3%	18.1	+1.7	+10.6%
京都	4.5	3.4	5.6	+1.1	+24.8%	4.4	+1.0	+29.8%
大阪	0.5	0.4	0.2	▲0.3	▲55.5%	0.2	▲0.2	▲54.6%
兵庫	18.9	15.3	18.8	▲0.1	▲0.7%	14.7	▲0.5	▲3.6%
奈良	3.4	2.5	2.9	▲0.5	▲14.2%	2.2	▲0.3	▲11.8%
和歌山	0.6	0.6	0.5	▲0.2	▲23.2%	0.4	▲0.1	▲25.6%
鳥取	9.3	6.1	12.5	+3.2	+34.2%	9.2	+3.1	+51.2%
島根	6.7	4.5	9.8	+3.1	+46.4%	7.1	+2.6	+57.0%
岡山	23.1	18.3	19.5	▲3.5	▲15.4%	13.9	▲4.4	▲24.1%
広島	11.2	8.4	13.3	+2.1	+19.1%	10.4	+2.0	+24.3%
山口	11.0	8.6	5.7	▲5.3	▲48.2%	4.2	▲4.4	▲51.3%
徳島	3.0	10.8	3.9	+0.8	+27.6%	9.2	▲1.6	▲14.6%
香川	6.6	5.7	7.7	+1.1	+16.2%	5.9	+0.2	+2.7%
愛媛	2.7	3.7	2.7	+0.1	+3.1%	2.5	▲1.2	▲32.4%
高知	2.0	8.0	2.5	+0.5	+23.5%	8.0	▲0.0	▲0.2%
福岡	13.8	9.6	13.8	▲0.0	▲0.1%	9.7	+0.1	+1.3%
佐賀	10.6	9.7	9.1	▲1.5	▲14.2%	6.9	▲2.7	▲28.3%
長崎	2.4	2.3	2.3	▲0.1	▲3.8%	1.9	▲0.5	▲19.4%
熊本	14.1	11.4	16.3	+2.2	+15.7%	14.5	+3.1	+27.0%
大分	4.1	3.3	4.3	+0.1	+3.4%	3.5	+0.2	+5.8%
宮崎	3.6	6.7	5.3	+1.7	+47.5%	8.3	+1.6	+24.5%
鹿児島	6.9	8.5	8.4	+1.5	+22.0%	8.8	+0.3	+3.4%
沖縄	0.6	0.4	0.6	+0.1	+11.5%	0.5	+0.1	+20.7%
全国	119万ト	101万ト	138万ト	+19万ト	+16.0%	118万ト	+17万ト	+16.8%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」「米の農産物検査結果」

注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

(3) 令和2・3年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

（北海道から秋田）

		3年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	出荷+販売段階	160.3	125.1				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	153.7	119.5				
	出荷段階	135.1	103.6				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	132.2	101.1				
青森	販売段階	25.2	21.5				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	21.5	18.4				
	出荷+販売段階	83.4	68.1				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	80.4	65.6				
岩手	出荷段階	64.9	52.5				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	64.6	52.3				
	販売段階	18.4	15.5				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	15.8	13.3				
宮城	出荷+販売段階	69.9	54.5				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	68.2	53.2				
	出荷段階	56.9	45.4				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	56.2	44.9				
秋田	販売段階	13.1	9.1				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	12.0	8.3				
	出荷+販売段階	116.6	97.4				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	114.1	95.4				
山形	出荷段階	99.3	84.9				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	98.6	84.4				
	販売段階	17.4	12.5				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	15.6	11.0				
福島	出荷+販売段階	100.2	73.3				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	96.9	70.7				
	出荷段階	81.8	60.0				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	80.4	59.0				
茨城	販売段階	18.5	13.3				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	16.5	11.7				
	出荷+販売段階	43.7	51.2				
	3年産米		18.6				
	1年古米(2年産)	41.6	30.8				
栃木	出荷段階	26.8	32.6				
	3年産米		12.5				
	1年古米(2年産)	26.4	19.8				
	販売段階	16.8	18.6				
	3年産米		6.2				
	1年古米(2年産)	15.2	11.0				
群馬	出荷+販売段階	96.8	80.5				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	93.5	77.7				
	出荷段階	74.5	64.1				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	74.4	64.0				
埼玉	販売段階	22.3	16.4				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	19.1	13.7				
	出荷+販売段階	10.7	9.4				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	10.1	9.0				
山形	出荷段階	8.3	7.7				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	8.3	7.7				
	販売段階	2.4	1.7				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	1.9	1.3				
山形	出荷+販売段階	17.5	14.5				
	3年産米		0.4				
	1年古米(2年産)	17.4	14.0				
	出荷段階	13.6	11.0				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	13.6	10.9				
山形	販売段階	3.9	3.5				
	3年産米		0.4				
	1年古米(2年産)	3.8	3.0				

（山形から埼玉）

（単位：千玄米トン）

		3年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
山形	出荷+販売段階	89.1	71.4				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	83.6	66.9				
	出荷段階	75.8	60.1				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	73.5	58.3				
山形	販売段階	13.4	11.3				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	10.1	8.6				
	出荷+販売段階	95.8	77.2				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	88.8	71.4				
山形	出荷段階	72.3	58.4				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	68.3	54.9				
	販売段階	23.5	18.9				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	20.4	16.5				
山形	出荷+販売段階	43.7	51.2				
	3年産米		18.6				
	1年古米(2年産)	41.6	30.8				
	出荷段階	26.8	32.6				
	3年産米		12.5				
	1年古米(2年産)	26.4	19.8				
山形	販売段階	16.8	18.6				
	3年産米		6.2				
	1年古米(2年産)	15.2	11.0				
	出荷+販売段階	96.8	80.5				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	93.5	77.7				
山形	出荷段階	74.5	64.1				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	74.4	64.0				
	販売段階	22.3	16.4				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	19.1	13.7				
山形	出荷+販売段階	10.7	9.4				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	10.1	9.0				
	出荷段階	8.3	7.7				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	8.3	7.7				
山形	販売段階	2.4	1.7				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	1.9	1.3				
	出荷+販売段階	17.5	14.5				
	3年産米		0.4				
	1年古米(2年産)	17.4	14.0				
山形	出荷段階	13.6	11.0				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	13.6	10.9				
	販売段階	3.9	3.5				
	3年産米		0.4				
	1年古米(2年産)	3.8	3.0				

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

(千葉から静岡)

(新潟から愛知)

(単位:千玄米トン)

		3年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉	出荷+販売段階	35.8	66.6				
	3年産米		38.2				
	1年古米(2年産)	35.1	27.9				
	出荷段階	26.1	51.9				
	3年産米		35.4				
	1年古米(2年産)	26.0	16.4				
	販売段階	9.8	14.7				
	3年産米		2.8				
	1年古米(2年産)	9.0	11.4				
東京	出荷+販売段階	0.0	0.0				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	0.0	0.0				
	出荷段階						
	3年産米						
	1年古米(2年産)						
	販売段階	0.0	0.0				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	0.0	0.0				
神奈川	出荷+販売段階	0.6	0.4				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	0.5	0.3				
	出荷段階	0.5	0.3				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	0.5	0.3				
	販売段階	0.1	0.1				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	0.1	0.1				
山梨	出荷+販売段階	1.8	1.3				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	1.8	1.3				
	出荷段階	1.5	1.1				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	1.5	1.1				
	販売段階	0.2	0.2				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	0.2	0.2				
長野	出荷+販売段階	32.0	23.8				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	29.8	22.0				
	出荷段階	24.8	18.6				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	23.8	17.7				
	販売段階	7.3	5.2				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	6.0	4.3				
静岡	出荷+販売段階	2.9	3.7				
	3年産米		2.0				
	1年古米(2年産)	2.9	1.7				
	出荷段階	0.6	1.3				
	3年産米		1.0				
	1年古米(2年産)	0.6	0.3				
	販売段階	2.3	2.4				
	3年産米		0.9				
	1年古米(2年産)	2.3	1.4				

		3年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
新潟	出荷+販売段階	88.3	58.2				
	3年産米		0.6				
	1年古米(2年産)	84.0	53.8				
	出荷段階	67.6	42.6				
	3年産米		0.5				
	1年古米(2年産)	66.3	40.9				
	販売段階	20.7	15.6				
	3年産米		0.1				
	1年古米(2年産)	17.7	12.9				
富山	出荷+販売段階	37.5	29.7				
	3年産米		0.7				
	1年古米(2年産)	36.2	28.0				
	出荷段階	30.1	24.7				
	3年産米		0.4				
	1年古米(2年産)	30.1	24.2				
	販売段階	7.4	5.1				
	3年産米		0.3				
	1年古米(2年産)	6.2	3.8				
石川	出荷+販売段階	23.1	20.1				
	3年産米		2.7				
	1年古米(2年産)	21.4	16.2				
	出荷段階	16.1	14.7				
	3年産米		1.6				
	1年古米(2年産)	15.3	12.4				
	販売段階	7.0	5.4				
	3年産米		1.1				
	1年古米(2年産)	6.1	3.8				
福井	出荷+販売段階	21.8	22.3				
	3年産米		4.8				
	1年古米(2年産)	20.4	16.4				
	出荷段階	15.9	14.3				
	3年産米		2.1				
	1年古米(2年産)	15.7	12.0				
	販売段階	5.9	8.0				
	3年産米		2.7				
	1年古米(2年産)	4.7	4.4				
岐阜	出荷+販売段階	12.1	10.3				
	3年産米		0.5				
	1年古米(2年産)	10.4	8.6				
	出荷段階	5.7	4.0				
	3年産米		0.3				
	1年古米(2年産)	5.4	3.5				
	販売段階	6.4	6.3				
	3年産米		0.2				
	1年古米(2年産)	5.0	5.1				
愛知	出荷+販売段階	12.2	10.4				
	3年産米		1.5				
	1年古米(2年産)	11.8	8.6				
	出荷段階	9.3	7.7				
	3年産米		1.1				
	1年古米(2年産)	9.3	6.6				
	販売段階	2.9	2.7				
	3年産米		0.4				
	1年古米(2年産)	2.5	2.0				

※本表の注意点は「在庫3-5」の脚注を参照。

(三重から奈良)

(和歌山から山口)

(単位:千玄米トン)

		3年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
三重	出荷+販売段階	9.4	14.1				
	3年産米		6.9				
	1年古米(2年産)	8.5	6.3				
	出荷段階	6.9	11.2				
	3年産米		5.9				
	1年古米(2年産)	6.1	4.6				
	販売段階	2.5	2.9				
	3年産米		1.1				
	1年古米(2年産)	2.4	1.7				
滋賀	出荷+販売段階	22.6	18.1				
	3年産米		1.4				
	1年古米(2年産)	21.7	15.9				
	出荷段階	17.5	13.4				
	3年産米		1.2				
	1年古米(2年産)	17.2	12.0				
	販売段階	5.1	4.7				
	3年産米		0.2				
	1年古米(2年産)	4.5	3.9				
京都	出荷+販売段階	5.6	4.4				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	5.5	4.3				
	出荷段階	4.5	3.6				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	4.5	3.6				
	販売段階	1.1	0.8				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	1.0	0.7				
大阪	出荷+販売段階	0.2	0.2				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	0.2	0.2				
	出荷段階	0.2	0.2				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	0.2	0.2				
	販売段階	0.0	0.0				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	0.0	0.0				
兵庫	出荷+販売段階	18.8	14.7				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	17.6	13.5				
	出荷段階	15.8	12.4				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	14.9	11.5				
	販売段階	3.0	2.3				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	2.6	2.0				
奈良	出荷+販売段階	2.9	2.2				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	2.8	2.1				
	出荷段階	2.2	1.5				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	2.2	1.5				
	販売段階	0.7	0.7				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	0.6	0.5				

		3年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
和歌山	出荷+販売段階	0.5	0.4				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	0.3	0.2				
	出荷段階		0.0				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)						
	販売段階	0.5	0.4				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	0.3	0.2				
鳥取	出荷+販売段階	12.5	9.2				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	12.4	9.1				
	出荷段階	10.3	7.4				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	10.3	7.4				
	販売段階	2.2	1.8				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	2.2	1.7				
島根	出荷+販売段階	9.8	7.1				
	3年産米		0.1				
	1年古米(2年産)	9.5	6.7				
	出荷段階	7.5	5.2				
	3年産米		0.1				
	1年古米(2年産)	7.4	5.1				
	販売段階	2.3	1.9				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	2.1	1.6				
岡山	出荷+販売段階	19.5	13.9				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	19.2	13.5				
	出荷段階	16.4	11.2				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	16.2	11.0				
	販売段階	3.1	2.7				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	3.0	2.6				
広島	出荷+販売段階	13.3	10.4				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	12.5	9.7				
	出荷段階	8.5	6.1				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	8.5	6.1				
	販売段階	4.8	4.3				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	4.0	3.6				
山口	出荷+販売段階	5.7	4.2				
	3年産米		0.3				
	1年古米(2年産)	5.6	3.8				
	出荷段階	4.4	3.1				
	3年産米		0.2				
	1年古米(2年産)	4.4	2.9				
	販売段階	1.3	1.1				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	1.1	0.9				

※本表の注意点は「在庫3-5」の脚注を参照。

(徳島から佐賀)

(長崎から沖縄)

(単位:千玄米トン)

		3年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
徳島	出荷+販売段階	3.9	9.2				
	3年産米		6.1				
	1年古米(2年産)	3.6	2.9				
	出荷段階	1.6	6.8				
	3年産米		5.4				
	1年古米(2年産)	1.5	1.3				
	販売段階	2.3	2.5				
	3年産米		0.7				
	1年古米(2年産)	2.1	1.6				
香川	出荷+販売段階	7.7	5.9				
	3年産米		0.2				
	1年古米(2年産)	7.5	5.5				
	出荷段階	6.6	4.8				
	3年産米						
	1年古米(2年産)	6.6	4.8				
	販売段階	1.1	1.0				
	3年産米		0.2				
	1年古米(2年産)	0.8	0.7				
愛媛	出荷+販売段階	2.7	2.5				
	3年産米		0.6				
	1年古米(2年産)	2.6	1.9				
	出荷段階	2.3	2.1				
	3年産米		0.5				
	1年古米(2年産)	2.3	1.6				
	販売段階	0.4	0.4				
	3年産米		0.1				
	1年古米(2年産)	0.3	0.3				
高知	出荷+販売段階	2.5	8.0				
	3年産米	0.2	5.8				
	1年古米(2年産)	1.8	1.7				
	出荷段階	0.3	4.1				
	3年産米	0.1	3.6				
	1年古米(2年産)	0.3	0.5				
	販売段階	2.2	3.9				
	3年産米	0.2	2.2				
	1年古米(2年産)	1.6	1.3				
福岡	出荷+販売段階	13.8	9.7				
	3年産米		0.6				
	1年古米(2年産)	13.7	9.0				
	出荷段階	11.7	7.7				
	3年産米		0.4				
	1年古米(2年産)	11.7	7.3				
	販売段階	2.1	2.0				
	3年産米		0.2				
	1年古米(2年産)	2.0	1.7				
佐賀	出荷+販売段階	9.1	6.9				
	3年産米		0.3				
	1年古米(2年産)	8.9	6.5				
	出荷段階	7.3	5.8				
	3年産米		0.2				
	1年古米(2年産)	7.3	5.6				
	販売段階	1.8	1.2				
	3年産米		0.1				
	1年古米(2年産)	1.6	0.9				

		3年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
長崎	出荷+販売段階	2.3	1.9				
	3年産米		0.3				
	1年古米(2年産)	2.3	1.6				
	出荷段階	2.0	1.6				
	3年産米		0.2				
	1年古米(2年産)	2.0	1.4				
	販売段階	0.3	0.3				
	3年産米		0.0				
	1年古米(2年産)	0.3	0.2				
熊本	出荷+販売段階	16.3	14.5				
	3年産米		2.3				
	1年古米(2年産)	15.6	11.5				
	出荷段階	11.7	9.6				
	3年産米		1.2				
	1年古米(2年産)	11.6	8.3				
	販売段階	4.6	4.9				
	3年産米		1.1				
	1年古米(2年産)	3.9	3.2				
大分	出荷+販売段階	4.3	3.5				
	3年産米		0.2				
	1年古米(2年産)	4.3	3.3				
	出荷段階	2.2	1.9				
	3年産米		0.1				
	1年古米(2年産)	2.2	1.7				
	販売段階	2.0	1.7				
	3年産米		0.1				
	1年古米(2年産)	2.0	1.6				
宮崎	出荷+販売段階	5.3	8.3				
	3年産米	2.7	6.2				
	1年古米(2年産)	2.5	2.0				
	出荷段階	3.0	4.0				
	3年産米	1.6	3.0				
	1年古米(2年産)	1.4	1.0				
	販売段階	2.3	4.3				
	3年産米	1.0	3.2				
	1年古米(2年産)	1.2	1.0				
鹿児島	出荷+販売段階	8.4	8.8				
	3年産米	0.6	2.6				
	1年古米(2年産)	6.3	4.8				
	出荷段階	5.8	5.0				
	3年産米	0.1	0.8				
	1年古米(2年産)	4.4	3.0				
	販売段階	2.6	3.8				
	3年産米	0.4	1.8				
	1年古米(2年産)	1.9	1.8				
沖縄	出荷+販売段階	0.6	0.5				
	3年産米	0.6	0.5				
	1年古米(2年産)	0.0	0.0				
	出荷段階	0.3	0.2				
	3年産米	0.3	0.2				
	1年古米(2年産)						
	販売段階	0.3	0.3				
	3年産米	0.3	0.3				
	1年古米(2年産)	0.0	0.0				

※本表の注意点は「在庫3-5」の脚注を参照。

4 米の価格情報

1 相対取引価格・数量

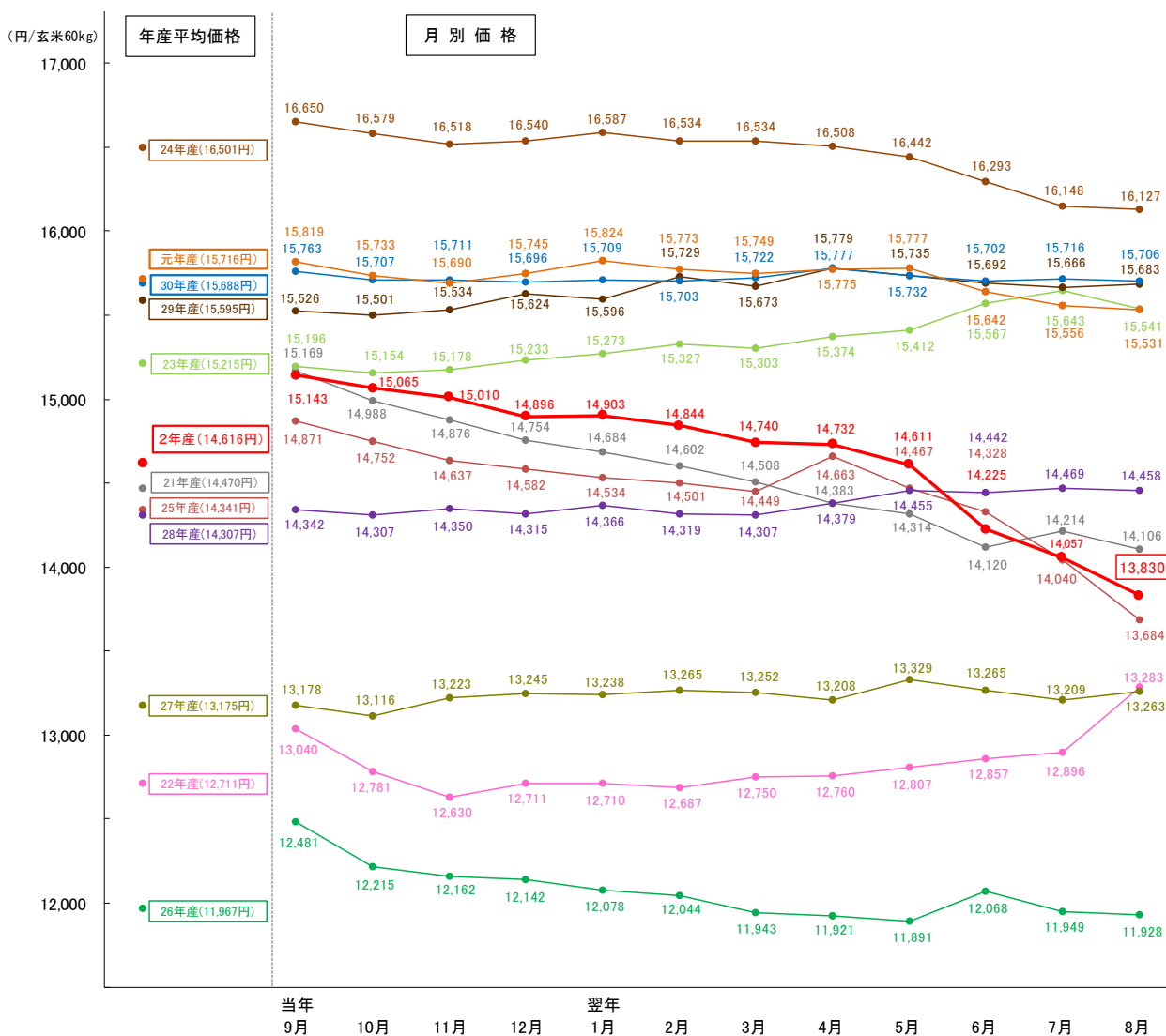
相対取引価格の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。
 【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

(1) 年産別の相対取引価格

・令和2年産米の令和3年8月の相対取引価格は、全銘柄平均で13,830円/60kgとなり、前年同月より▲1,701円、出回りからの年産平均価格は前年産▲1,100円の14,616円となったところ。

※ 産地銘柄ごとの価格は、「価格4-3」以降を参照。

相対取引価格の推移 (税込)
 (全銘柄平均価格)



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

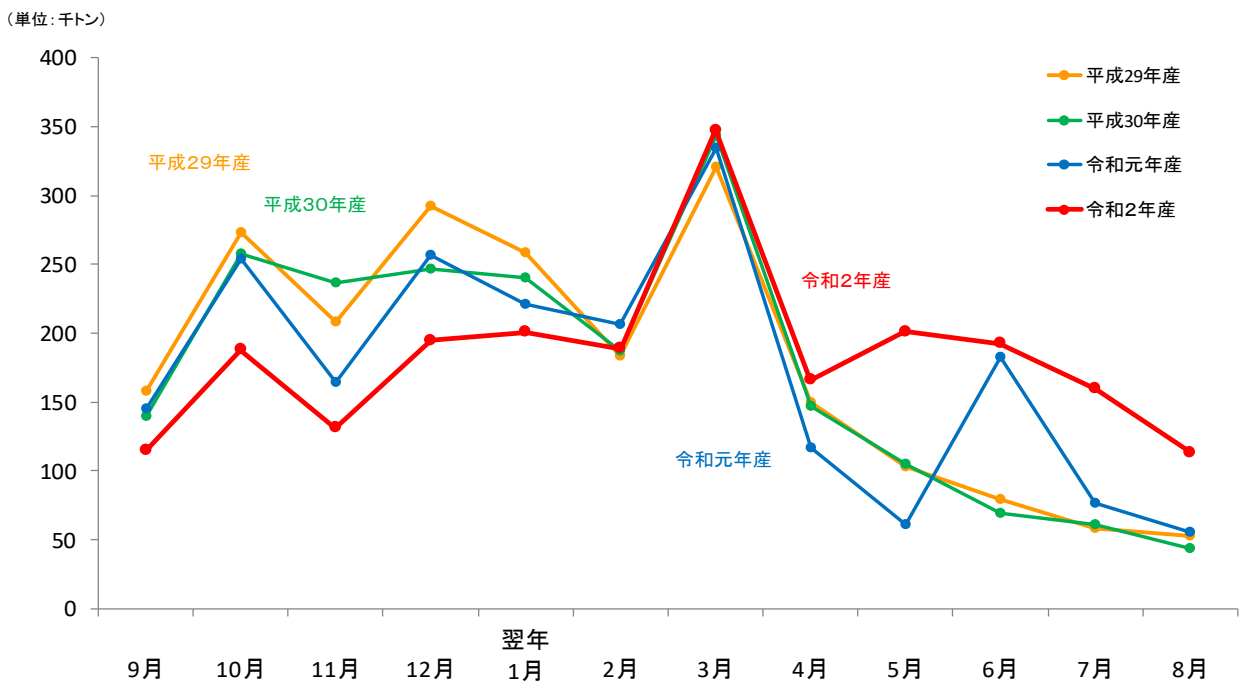
2 価格には、運賃、包装代、消費税が含まれている。なお、消費税は、令和元年9月以前は8%、10月以降は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。

3 グラフの左側は年産別の平均価格（注4）、グラフの右側は月別の価格である。

4 平均価格とは、当該年産の出回りから翌年10月（2年産は令和3年8月）までの通年平均価格（元年産以前は確定値、2年産は速報値。確定値は月毎の速報値公表後の修正を反映させたものである）。

(2) 相対取引契約数量の推移

・令和2年産米の相対取引契約数量は、出来秋以降、令和3年1月まで低調に推移。しかし、その後回復基調にあり、特に5月以降は、3年産の主食用米からの作付転換の進展が見込まれることなどから、近年で最も多い契約数量となっている。



年産	9月	10月	11月	12月	翌年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
平成29年産	158	273	209	293	258	183	320	150	103	79	59	53	2,241
平成30年産	140	258	236	247	240	187	343	147	105	70	61	44	2,193
令和元年産	145	254	164	257	221	207	334	117	61	183	76	55	2,191
令和2年産	115	188	131	195	201	189	347	166	201	193	159	113	2,230

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 相対取引数量は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の数量の合計である（2年産は速報値）。

3 相対取引数量の合計欄は、出回りから生産年の翌年10月までの数量であるため、各月の合計と一致しない。

2 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和3年9月分）

調査結果は、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。

【 <https://www.komenet.jp/> 】

- 米穀機構の米取引関係者の判断に関する調査(令和3年9月分)によると、主食用米の需給動向の現状判断は対前回調査比▲5ポイントの「減少」、見通し(向こう3ヶ月)判断は▲2ポイントの「やや減少」。
- 米価水準の現状判断は対前回調査比▲10ポイントの「大幅に減少」、見通し(向こう3ヶ月)判断は+4ポイントの「やや増加」。

1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

① 主食用米の需給動向

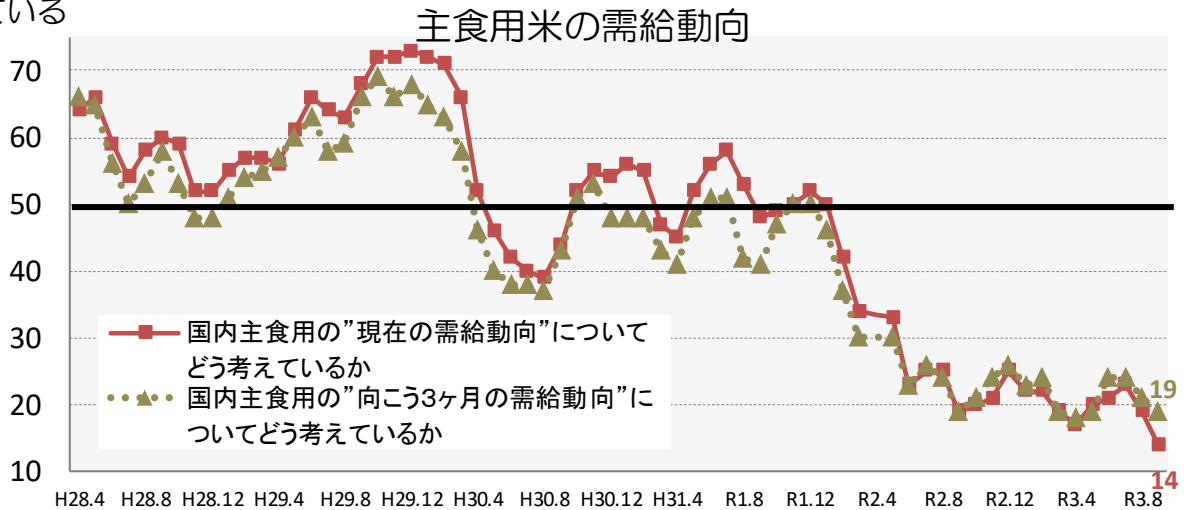
(ア) 現状判断D I

前回からの増減 ▲5 (今月の数値 14)

(イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月)

前回からの増減 ▲2 (今月の数値 19)

↑
締まっている



↓
緩んでいる

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

② 主食用米の米価水準

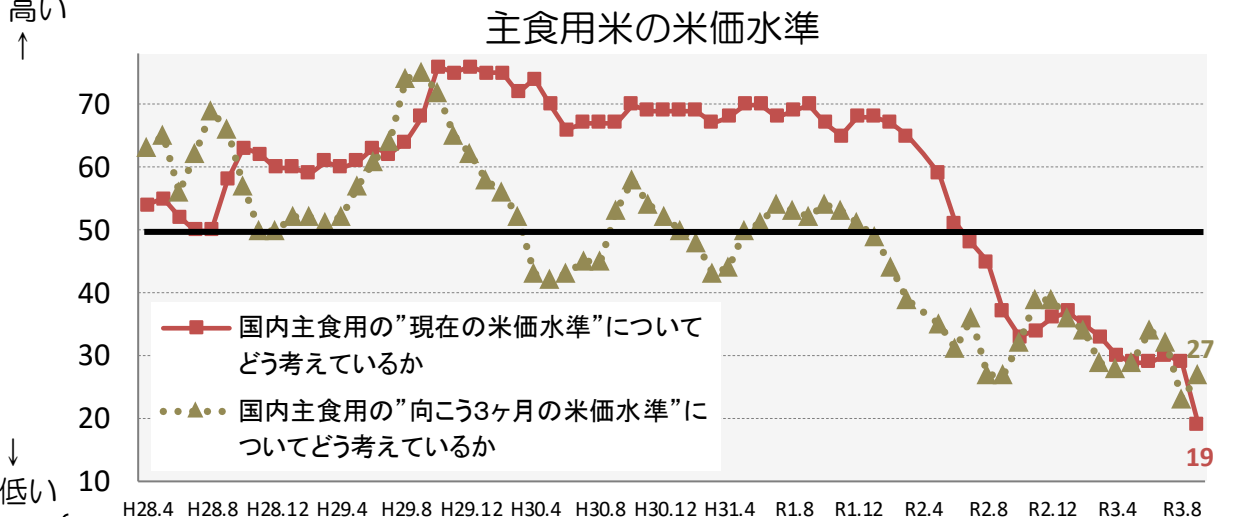
(ア) 現状判断D I

前回からの増減 ▲10 (今月の数値 19)

(イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月)

前回からの増減 +4 (今月の数値 27)

↑
高い



↓
低い

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の販売数量に関する現状判断 D I

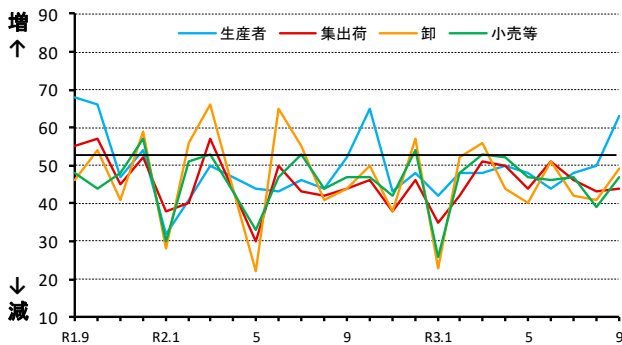
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	+13	(今月の数値	63)
集出荷：前回からの増減	+1	(今月の数値	44)
卸：前回からの増減	+8	(今月の数値	49)
小売等：前回からの増減	+8	(今月の数値	47)

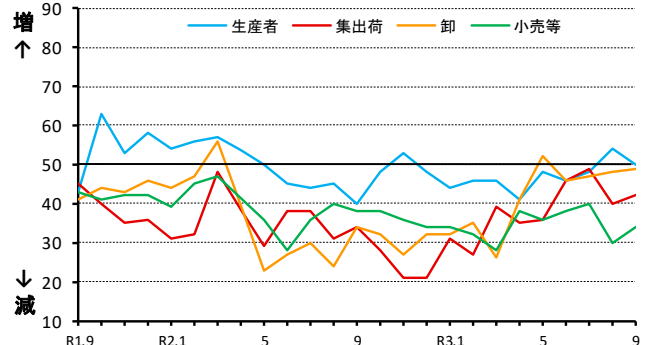
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲4	(今月の数値	50)
集出荷：前回からの増減	+2	(今月の数値	42)
卸：前回からの増減	+1	(今月の数値	49)
小売等：前回からの増減	+4	(今月の数値	34)

①-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、"先月と比較"するといかがですか。



①-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、"前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の販売数量に関する見通し D I

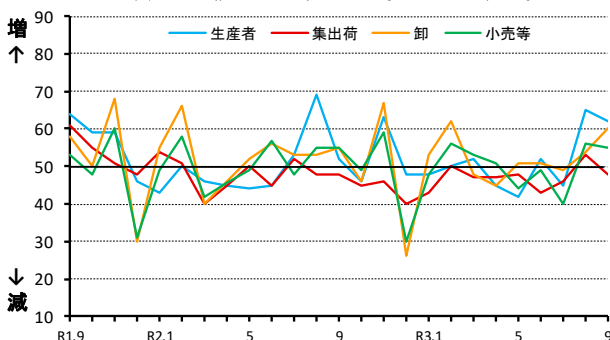
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	▲3	(今月の数値	62)
集出荷：前回からの増減	▲5	(今月の数値	48)
卸：前回からの増減	+6	(今月の数値	60)
小売等：前回からの増減	▲1	(今月の数値	55)

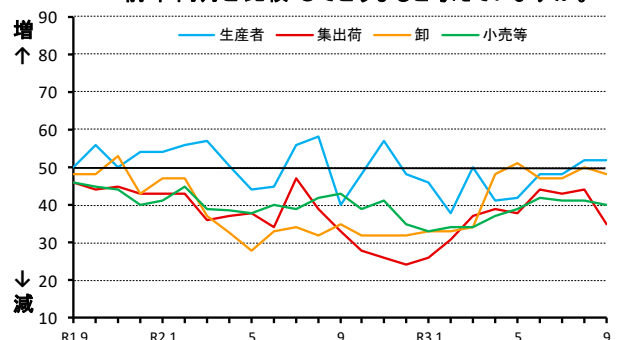
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	±0	(今月の数値	52)
集出荷：前回からの増減	▲9	(今月の数値	35)
卸：前回からの増減	▲2	(今月の数値	48)
小売等：前回からの増減	▲1	(今月の数値	40)

①-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の価格に関する現状判断D I

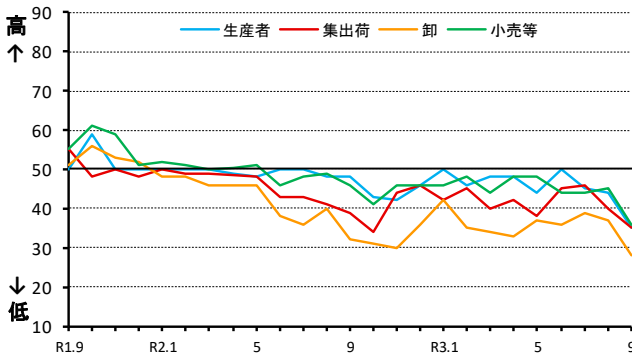
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	▲9	(今月の数値	35)
集出荷：前回からの増減	▲5	(今月の数値	35)
卸：前回からの増減	▲9	(今月の数値	28)
小売等：前回からの増減	▲9	(今月の数値	36)

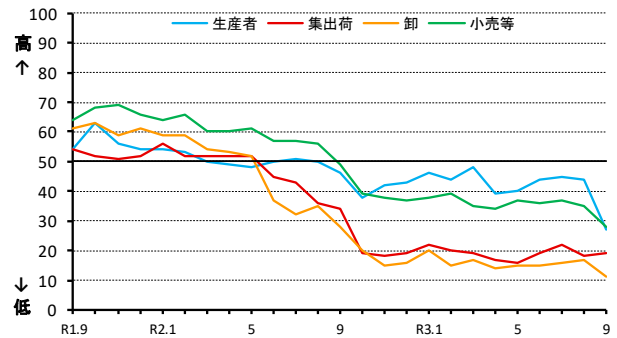
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲17	(今月の数値	27)
集出荷：前回からの増減	+1	(今月の数値	19)
卸：前回からの増減	▲6	(今月の数値	11)
小売等：前回からの増減	▲7	(今月の数値	28)

②-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、"先月と比較"するといかがですか。



②-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、"前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の価格に関する見通しD I

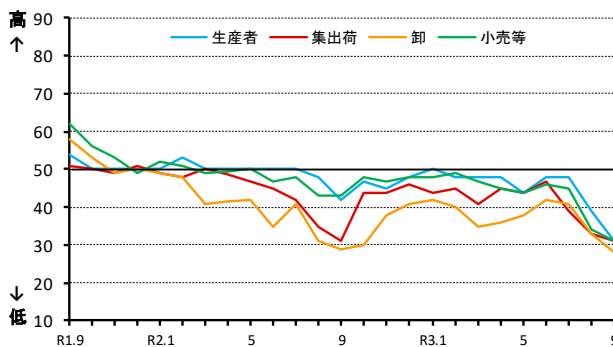
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	▲8	(今月の数値	31)
集出荷：前回からの増減	▲2	(今月の数値	31)
卸：前回からの増減	▲5	(今月の数値	28)
小売等：前回からの増減	▲3	(今月の数値	31)

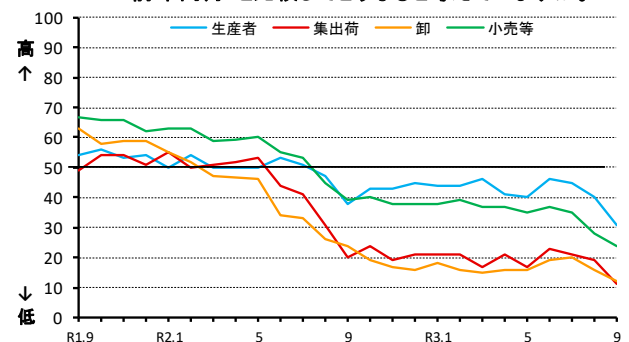
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲9	(今月の数値	31)
集出荷：前回からの増減	▲8	(今月の数値	11)
卸：前回からの増減	▲4	(今月の数値	12)
小売等：前回からの増減	▲4	(今月の数値	24)

②-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来) 多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来) 少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の在庫量に関する現状判断 D I

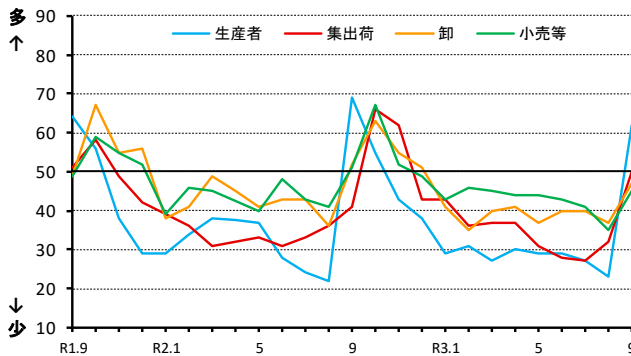
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	+39	(今月の数値	62)
集出荷：前回からの増減	+18	(今月の数値	50)
卸：前回からの増減	+10	(今月の数値	47)
小売等：前回からの増減	+10	(今月の数値	45)

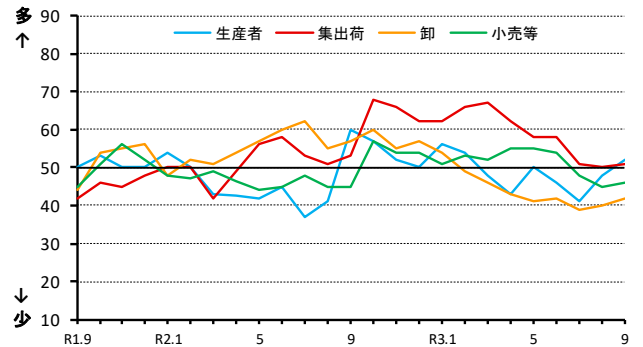
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+4	(今月の数値	52)
集出荷：前回からの増減	+1	(今月の数値	51)
卸：前回からの増減	+2	(今月の数値	42)
小売等：前回からの増減	+1	(今月の数値	46)

③-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"在庫量"について、"先月と比較"するといかがですか。



③-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"在庫量"は、"前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の在庫量に関する見通し D I

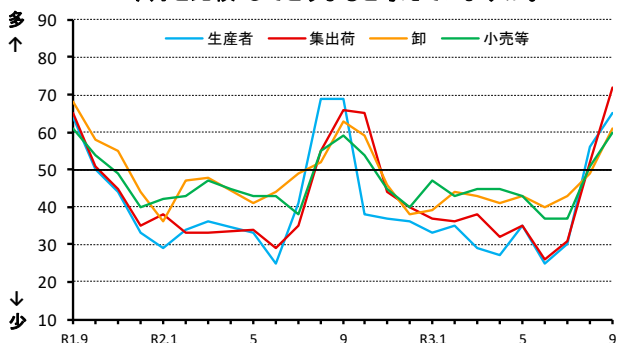
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	+9	(今月の数値	65)
集出荷：前回からの増減	+20	(今月の数値	72)
卸：前回からの増減	+12	(今月の数値	61)
小売等：前回からの増減	+9	(今月の数値	60)

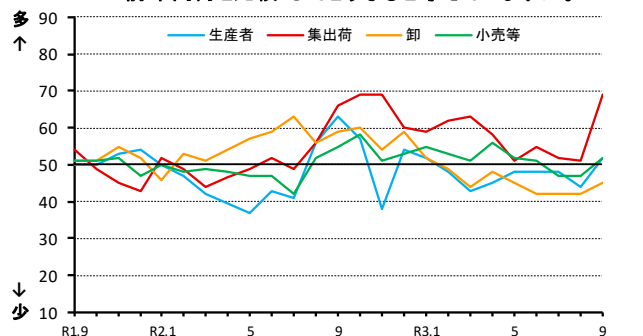
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+8	(今月の数値	52)
集出荷：前回からの増減	+18	(今月の数値	69)
卸：前回からの増減	+3	(今月の数値	45)
小売等：前回からの増減	+5	(今月の数値	52)

③-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"在庫量"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"在庫量"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



取引関係者が1の①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他		作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
R1.9	24%	13%	4%	49%	6%	2%	2%	R2.9	4%	40%	1%	38%	9%	7%	1%
R1.10	22%	13%	3%	49%	8%	2%	2%	R2.10	9%	37%	1%	39%	10%	4%	1%
R1.11	19%	11%	3%	52%	13%	1%	1%	R2.11	5%	34%	2%	42%	10%	6%	1%
R1.12	14%	12%	3%	58%	9%	3%	1%	R2.12	4%	32%	4%	35%	19%	5%	1%
R2.1	7%	11%	2%	57%	18%	5%	0%	R3.1	2%	30%	4%	41%	18%	3%	2%
R2.2	3%	16%	4%	51%	19%	4%	2%	R3.2	1%	33%	5%	40%	19%	3%	0%
R2.3	2%	21%	2%	39%	28%	3%	5%	R3.3	2%	37%	0%	41%	16%	5%	0%
R2.4	-	-	-	-	-	-	-	R3.4	1%	41%	2%	38%	14%	4%	0%
R2.5	3%	18%	1%	38%	33%	3%	5%	R3.5	2%	39%	1%	42%	11%	6%	0%
R2.6	3%	27%	2%	35%	26%	6%	2%	R3.6	1%	37%	6%	40%	10%	6%	0%
R2.7	4%	32%	2%	34%	18%	5%	5%	R3.7	4%	40%	6%	35%	8%	7%	1%
R2.8	5%	39%	1%	34%	9%	7%	4%	R3.8	3%	40%	3%	37%	7%	7%	2%
								R3.9	5%	41%	3%	38%	7%	5%	1%

《アンケート方法等》

○調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答

○調査方法：電子メールを利用したアンケート調査

○調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の165客体

※ 米取引関係者の動向をより適切に反映したものとなるよう、2年5月からアンケート対象事業者の拡充及び入替を行っております。

○有効回答数：128客体

生産者・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
 集出荷業者／団体・・・・・・・・・・27
 卸売業者（主に主食用米）・・・・28
 小売業者／中食・外食業者・・・・44
 その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

※「その他」は以下の業者です。

- ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
- ・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

○結果公表：翌月上旬（公表日時は半期ごとにホームページに掲載）

《利用上の注意》

○表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

（DIの算出例）

問：国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

5 消費の動向

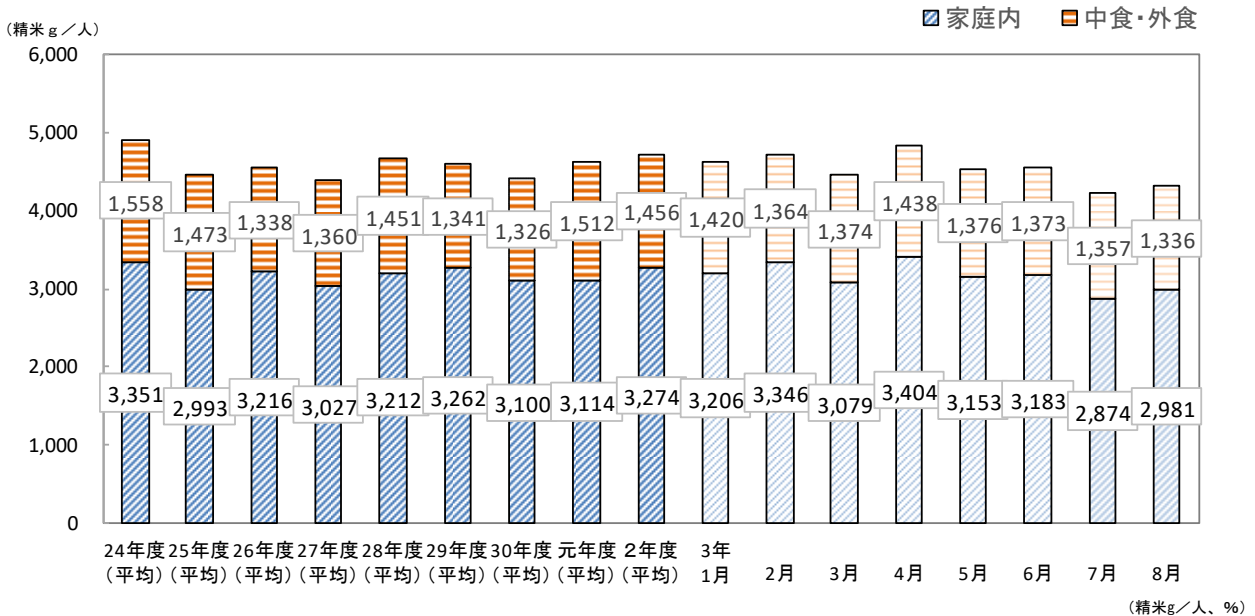
1 米の消費動向（米穀機構による調査）

調査結果の概要につきましては、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。
【 <https://www.komenet.jp/> 】

○ 本調査は、調査実施機関（(株)マクロミル）のモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている（インターネット調査）。

- 米穀機構が公表している「米の消費動向調査」（令和3年8月分）によると、1人1カ月当たりの精米消費量は、前年同月比▲4.0%。
- このうち、家庭内での消費量は前年同月比▲2.1%、中食・外食では▲7.9%。

(1) 1人1カ月当たり精米消費量



	精米消費量(g)					内訳比率(%)					前年同月比(%)				
	合計					合計					合計				
	家庭内	中・外食	中食	外食		家庭内	中・外食	中食	外食		家庭内	中・外食	中食	外食	
平成24年度	4,909	3,351	1,558	900	658	100.0	68.3	31.7	18.3	13.4	1.4	4.4	▲4.4	▲3.1	▲6.1
25年度	4,466	2,993	1,473	846	627	100.0	67.0	33.0	18.9	14.0	▲9.0	▲10.7	▲5.5	▲6.0	▲4.7
26年度	4,554	3,216	1,338	758	580	100.0	70.6	29.4	16.6	12.7	2.0	7.5	▲9.2	▲10.4	▲7.5
27年度	4,386	3,027	1,360	793	567	100.0	69.0	31.0	18.1	12.9	▲3.7	▲5.9	1.6	4.6	▲2.2
28年度	4,663	3,212	1,451	852	599	100.0	68.9	31.1	18.3	12.8	6.3	6.1	6.7	7.4	5.6
29年度	4,603	3,262	1,341	777	564	100.0	70.9	29.1	16.9	12.3	▲1.3	1.6	▲7.6	▲8.8	▲5.8
30年度	4,426	3,100	1,326	782	544	100.0	70.0	30.0	17.7	12.3	▲3.8	▲5.0	▲1.1	0.6	▲3.5
令和元年度	4,626	3,114	1,512	885	627	100.0	67.3	32.7	19.1	13.6	4.5	0.5	14.0	13.1	15.3
令和2年度	4,730	3,274	1,456	954	502	100.0	69.2	30.8	20.2	10.6	2.2	5.1	▲3.7	7.8	▲19.9
令和3年 1月	4,626	3,206	1,420	951	470	100.0	69.3	30.7	20.6	10.2	1.4	5.1	▲6.0	7.2	▲24.7
2月	4,710	3,346	1,364	882	482	100.0	71.0	29.0	18.7	10.2	0.9	3.5	▲4.7	8.9	▲22.5
3月	4,453	3,079	1,374	875	499	100.0	69.1	30.9	19.6	11.2	▲3.4	▲4.1	▲2.1	1.4	▲7.6
4月	4,842	3,404	1,438	970	468	100.0	70.3	29.7	20.0	9.7	▲4.8	▲5.7	▲2.6	▲11.4	22.5
5月	4,529	3,153	1,376	927	449	100.0	69.6	30.4	20.5	9.9	▲8.6	▲9.3	▲7.0	▲10.2	0.4
6月	4,556	3,183	1,373	903	469	100.0	69.9	30.1	19.8	10.3	▲5.2	▲3.8	▲8.4	▲6.8	▲11.7
7月	4,231	2,874	1,357	877	480	100.0	67.9	32.1	20.7	11.3	▲8.4	▲8.7	▲7.8	▲7.7	▲7.9
8月	4,317	2,981	1,336	909	427	100.0	69.1	30.9	21.1	9.9	▲4.0	▲2.1	▲7.9	▲2.8	▲17.1

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注1：令和3年8月分の有効調査世帯数は1,904世帯。

注2：平成24～令和2年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。

注3：調査対象世帯の入れ替えや補充による調査結果の補正は行っていないため、調査結果の経年比較等の際には、留意が必要である。

注4：家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。

注5：集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成27年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。

注6：四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

- 精米購入時の動向について、入手経路は「スーパーマーケット」が最も多く、次いで「家族・知人などから無償で入手」、「インターネットショップ」の順となっている。
- 精米購入経路別の購入単価は、「インターネットショップ」が最も高く、次いで、「米穀専門店」、「デパート」の順となっている※。
※購入割合が有効調査世帯数の1%に満たない精米購入経路を除いた順である。
- 令和3年8月の家庭内の月末在庫数量は、5.7kgとなっている。

② 精米購入時の動向

(ア) 入手経路(複数回答)

(%)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	その他
平成28年度	1.5	49.7	3.7	2.8	0.5	8.1	1.5	2.7	1.8	6.2	9.6	17.2	3.2
平成29年度	1.4	49.4	4.3	3.1	0.3	6.9	1.6	2.8	2.0	7.1	10.0	16.2	2.5
平成30年度	1.4	52.7	4.8	2.8	0.2	6.5	1.2	2.7	2.2	6.0	9.8	14.8	2.3
令和元年度	1.0	50.1	5.9	3.2	0.2	5.9	1.3	2.4	1.0	5.9	8.1	17.8	3.4
令和2年度	1.5	49.8	5.7	3.9	0.3	7.0	1.1	2.4	1.1	5.0	9.7	15.2	4.1
令和3年													
1月	1.7	49.6	6.0	4.4	0.2	7.2	0.7	2.3	1.3	4.8	11.0	14.4	4.1
2月	1.7	48.6	7.1	3.0	0.2	7.1	0.8	2.8	0.9	5.7	9.3	15.2	3.4
3月	2.3	48.3	7.5	3.6	0.3	6.6	1.0	2.2	0.7	5.2	10.3	14.4	4.5
4月	1.7	50.7	6.7	4.1	0.3	6.8	0.4	3.2	1.0	5.4	10.1	13.3	3.3
5月	1.9	51.3	7.4	3.8	0.1	7.0	0.4	2.2	1.2	4.8	8.9	13.4	4.2
6月	1.4	52.8	7.3	4.0	0.0	7.0	0.6	2.7	1.2	4.8	8.9	11.3	2.9
7月	1.6	52.2	7.0	3.9	0.4	6.9	0.7	2.4	1.1	4.4	9.3	12.0	4.3
8月	1.4	54.3	6.4	4.7	0.1	6.9	0.4	2.6	1.6	4.3	8.8	12.3	3.5

- 注：1 平成25～令和2年度は各年4月から翌年3月までの平均値。
2 令和3年8月分の有効調査世帯数は1,255世帯。

(イ) 精米購入経路別の購入単価(複数回答)

(円/kg)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	(生協)店舗・共同購入	(農協)店舗・共同購入	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	有効調査世帯数
令和元年度	618	399	355	323	※545	424	477	473	434	373	494	-
令和2年度	533	400	375	347	※547	434	397	477	415	358	492	-
令和3年												
1月	513	422	356	363	※367	368	※386	532	247	340	527	1,776
2月	638	401	359	326	※500	463	※386	472	※572	324	448	1,715
3月	725	383	366	325	※598	421	364	455	※355	353	498	1,668
4月	528	376	366	306	※535	380	※362	473	716	351	443	2,311
5月	536	376	366	310	※790	410	※420	543	430	318	477	2,162
6月	579	369	360	343	—	388	※381	519	380	345	481	2,072
7月	573	378	458	326	※455	430	※444	453	378	375	478	1,978
8月	481	380	360	322	※467	428	※340	504	465	380	553	1,904

- 注：1 デパート、スーパーマーケット、生協は、実店舗の購入単価であり、インターネットを利用した購入は含まない。
2 購入単価は消費税を除く本体価格である。
3 表中の※付きの単価は、当該経路での購入割合が有効調査世帯数の1%に満たないため参考値とする。
4 令和元・2年度は4月から翌年3月までの平均値である。

(ウ) 家庭内の月末在庫数量

(kg/世帯、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年比
平成 28年度	月末在庫数量	6.5	6.4	6.2	6.2	6.2	6.2	6.7	7.0	7.7	7.5	6.7	6.6	6.7	1.5
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	-
29年度	月末在庫数量	6.1	6.2	5.9	6.0	6.0	6.1	6.7	6.8	7.0	6.9	6.4	6.4	6.4	▲4.5
	平均世帯人員	2.33	2.32	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	-
30年度	月末在庫数量	6.4	6.3	6.0	5.8	6.1	6.5	6.6	6.9	7.2	6.6	6.4	6.4	6.4	0.0
	平均世帯人員	2.32	2.32	2.32	2.33	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	-
令和 元年度	月末在庫数量	6.0	6.2	5.9	5.7	6.0	6.2	6.2	6.5	6.6	6.3	6.3	6.5	6.2	▲3.1
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	-
2年度	月末在庫数量	7.1	6.5	6.6	6.2	6.0	6.3	6.4	6.8	6.7	6.6	6.5	6.4	6.5	4.8
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	-
3年度	月末在庫数量	6.2	6.1	5.8	5.8	5.7								6.0	▲7.7
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33								2.33	-

注：1 地域ごとの世帯人員構成比が平成28年度はH22国勢調査、平成29～令和3年度はH27国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で集計した。

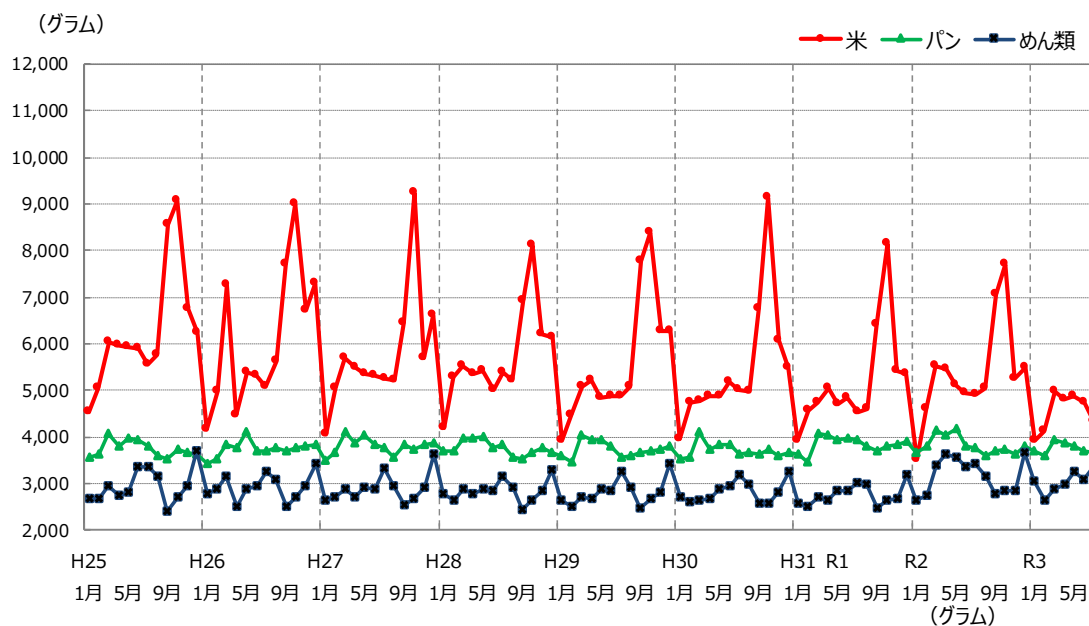
注：2 平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人員数である。

2 購入数量・支出金額の推移（家計調査）

家計調査、消費者物価指数、小売物価統計の累年データについては、総務省統計局HPから御覧いただけます。【 <https://www.stat.go.jp/data/index.html> 】

- 総務省が公表している家計調査によると、令和3年7月の米の購入数量は、対前年同月比▲11.8%の4.3kg、パンは▲2.8%の3.7kg、めん類は▲0.9%の3.4kg。

1 世帯当たり 1 か月間の購入数量の推移

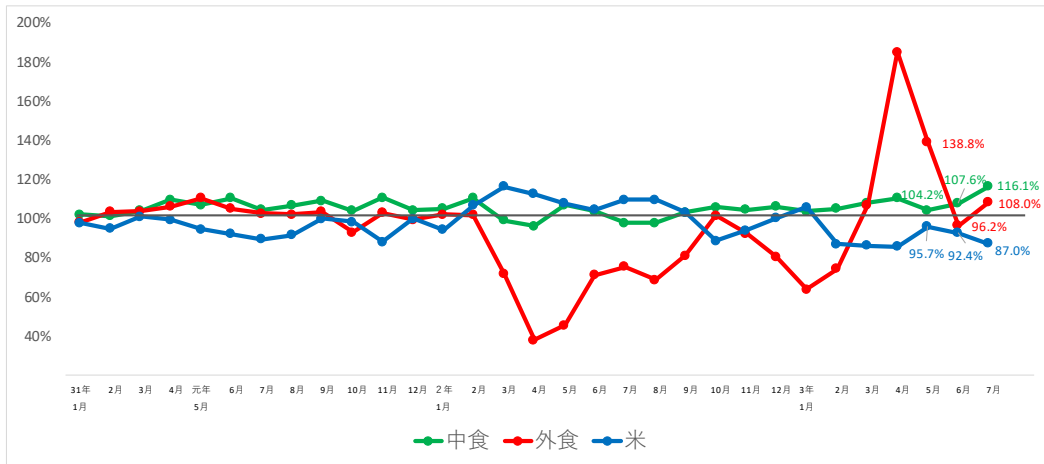


	米		パン		めん類	
	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比
平成25年	75,170	95.4%	44,927	100.3%	35,560	99.3%
26年	73,050	97.2%	44,926	100.0%	35,176	98.9%
27年	69,510	95.2%	45,676	101.7%	34,753	98.8%
28年	68,740	98.9%	45,099	98.7%	34,192	98.4%
29年	67,270	97.9%	44,840	99.4%	33,934	99.2%
30年	65,750	97.7%	44,526	99.3%	33,867	99.8%
令和元年	62,200	94.6%	46,011	103.3%	33,169	97.9%
2年	64,530	103.7%	45,857	99.7%	38,021	114.6%
令和2年 7月	4,900	107.9%	3,760	95.2%	3,416	113.7%
8月	5,060	110.2%	3,615	95.3%	3,167	106.2%
9月	7,040	109.7%	3,690	99.9%	2,786	112.6%
10月	7,710	94.5%	3,722	97.8%	2,840	107.5%
11月	5,250	96.9%	3,618	94.5%	2,843	106.8%
12月	5,480	102.4%	3,817	98.1%	3,674	114.8%
令和3年 1月	3,920	111.4%	3,704	101.4%	3,050	116.0%
2月	4,120	89.6%	3,588	94.7%	2,633	95.7%
3月	4,990	90.1%	3,953	95.1%	2,895	85.6%
4月	4,810	88.4%	3,883	96.2%	2,998	82.4%
5月	4,880	95.5%	3,788	90.7%	3,242	90.6%
6月	4,730	95.7%	3,695	96.9%	3,077	91.8%
7月	4,320	88.2%	3,653	97.2%	3,386	99.1%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯
注1：米は精米ベースである。

- 総務省が公表している家計調査によると、1世帯当たり1か月間の令和3年7月の中食の支出金額は、対前年同月比+16.1%、外食は+8.0%。

1世帯当たり1か月間の支出金額の推移（前年同月比）



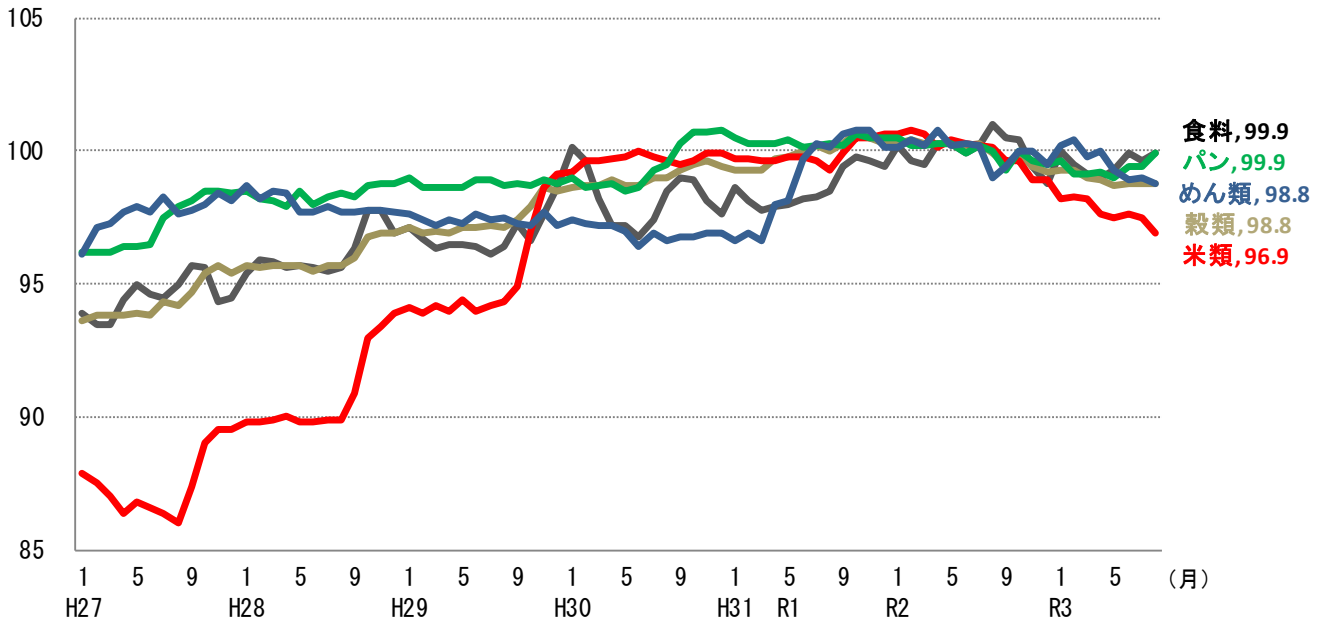
	穀類					中食					
	米	パン	麺類	他の穀類	中食	弁当	すし(弁当)	おにぎり・その他	調理パン	他の主食的調理食品	
2年1月	98.8%	94.1%	99.3%	102.9%	100.2%	104.9%	102.0%	105.9%	116.7%	102.6%	104.2%
2年2月	107.0%	106.5%	102.9%	114.1%	113.8%	110.1%	113.0%	106.8%	112.4%	107.3%	111.7%
2年3月	110.6%	116.3%	96.5%	127.6%	124.8%	99.1%	90.1%	100.8%	87.7%	94.4%	113.9%
2年4月	111.5%	112.4%	93.7%	138.0%	143.4%	96.0%	94.2%	93.7%	76.3%	83.7%	112.5%
2年5月	110.4%	107.6%	98.9%	127.9%	140.8%	106.9%	116.5%	106.4%	82.0%	94.3%	111.2%
2年6月	104.2%	104.4%	96.1%	116.3%	110.4%	103.4%	104.1%	106.6%	90.4%	96.7%	107.1%
2年7月	103.9%	109.6%	96.4%	110.0%	104.1%	97.7%	97.6%	101.4%	86.6%	93.7%	100.4%
2年8月	104.5%	109.6%	95.1%	111.5%	119.2%	97.6%	99.4%	96.2%	89.2%	95.3%	101.1%
2年9月	104.0%	102.9%	98.7%	115.9%	103.0%	102.9%	98.5%	106.4%	95.5%	101.3%	107.9%
2年10月	96.3%	88.5%	99.4%	104.9%	102.3%	105.8%	110.5%	103.9%	102.2%	101.8%	105.2%
2年11月	100.2%	93.9%	97.9%	111.8%	107.0%	104.3%	106.9%	103.9%	95.4%	100.2%	106.3%
2年12月	104.5%	100.0%	99.4%	115.6%	107.2%	106.1%	105.1%	104.6%	88.9%	102.4%	114.3%
3年1月	107.3%	105.8%	101.2%	116.5%	119.3%	103.7%	109.3%	99.1%	86.0%	98.6%	110.2%
3年2月	94.3%	86.9%	96.6%	98.9%	95.5%	104.8%	107.8%	109.3%	90.6%	100.7%	102.5%
3年3月	90.7%	86.1%	99.5%	84.0%	85.1%	107.8%	120.1%	105.2%	105.0%	113.2%	97.5%
3年4月	90.7%	85.4%	104.1%	83.3%	70.7%	110.2%	111.4%	108.3%	123.3%	128.3%	101.5%
3年5月	95.5%	95.7%	100.5%	91.1%	83.4%	104.2%	97.5%	105.3%	114.5%	117.5%	103.2%
3年6月	97.5%	92.4%	100.9%	96.9%	102.4%	107.6%	106.4%	105.9%	110.4%	110.3%	108.5%
3年7月	96.2%	87.0%	98.9%	101.2%	99.4%	116.1%	120.0%	111.7%	116.3%	117.9%	114.8%

	外食										
	日本そば・うどん	中華そば	他の麺類外食	すし(外食)	和食	中華食	洋食	焼肉	ハンバーガー	他の主食的外食	
2年1月	101.9%	112.3%	99.5%	88.1%	96.7%	100.6%	99.8%	93.2%	111.4%	102.3%	105.5%
2年2月	101.6%	107.3%	103.3%	104.6%	103.0%	102.1%	103.1%	104.1%	121.1%	110.8%	96.2%
2年3月	71.9%	74.6%	77.0%	68.7%	79.3%	75.0%	66.5%	62.1%	77.3%	97.5%	67.8%
2年4月	37.8%	29.4%	38.5%	26.3%	41.4%	37.3%	43.0%	26.3%	24.0%	121.0%	35.9%
2年5月	45.4%	34.0%	48.8%	36.2%	60.6%	45.8%	60.2%	37.3%	35.8%	141.4%	38.2%
2年6月	71.0%	68.9%	75.2%	60.7%	85.5%	72.8%	85.9%	67.7%	89.4%	97.5%	62.1%
2年7月	75.4%	79.0%	80.6%	59.4%	79.8%	83.7%	69.8%	65.0%	85.4%	101.3%	70.0%
2年8月	68.5%	64.9%	71.7%	56.7%	76.3%	71.6%	79.3%	66.8%	72.3%	111.2%	61.1%
2年9月	80.9%	79.4%	84.0%	73.2%	90.4%	92.2%	105.5%	75.5%	97.4%	108.9%	68.6%
2年10月	101.4%	92.0%	98.9%	85.8%	114.7%	105.3%	110.2%	114.2%	138.8%	117.1%	90.9%
2年11月	92.2%	93.8%	76.3%	88.4%	113.0%	93.5%	80.2%	92.7%	111.5%	117.6%	85.1%
2年12月	80.3%	78.9%	79.7%	64.3%	100.5%	88.3%	84.1%	69.0%	73.0%	116.0%	72.4%
3年1月	63.8%	58.4%	64.4%	69.9%	80.4%	63.2%	58.7%	55.1%	54.9%	122.7%	57.1%
3年2月	74.1%	71.5%	73.8%	71.6%	97.1%	78.9%	88.1%	65.9%	61.2%	106.5%	66.5%
3年3月	106.8%	95.8%	98.8%	104.1%	123.7%	111.6%	109.4%	116.5%	137.4%	105.1%	96.5%
3年4月	184.9%	237.6%	205.7%	259.3%	201.5%	203.6%	161.4%	259.2%	359.7%	97.9%	161.0%
3年5月	138.8%	193.3%	154.3%	174.1%	145.5%	139.0%	128.5%	141.3%	144.4%	100.6%	136.0%
3年6月	96.2%	102.8%	101.4%	121.3%	102.9%	96.7%	85.5%	102.7%	71.0%	117.4%	92.6%
3年7月	108.0%	115.3%	104.8%	112.2%	116.7%	106.8%	116.2%	105.1%	124.1%	122.7%	101.3%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯
注1：米は精米ベースである。

3 消費者物価指数の推移

- ・ 総務省が公表している消費者物価指数によると、令和3年8月の米類の指数は対前年同月比 ▲3.2%の96.9ポイント。



(平成27年=100、指数)

	食料		穀類		米類		うるち米		パン		めん類	
	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	
平成27年(平均)	94.6	3.2%	94.4	▲0.7%	87.5	▲6.9%	89.8	▲5.7%	97.2	2.2%	97.7	3.5%
28年(平均)	96.2	1.7%	96.0	1.7%	90.9	3.9%	93.0	3.6%	98.4	1.2%	98.0	0.3%
29年(平均)	96.8	0.6%	97.4	1.5%	95.2	4.7%	96.0	3.2%	98.8	0.4%	97.4	▲0.6%
30年(平均)	98.2	1.4%	99.0	1.6%	99.7	4.7%	99.2	3.3%	99.5	0.7%	96.9	▲0.5%
令和元年(平均)	98.7	0.5%	99.9	0.9%	99.9	0.2%	100.1	0.9%	100.3	0.8%	99.1	2.3%
2年(平均)	100.0	1.3%	100.0	0.1%	100.0	0.1%	100.0	▲0.1%	100.0	▲0.3%	100.0	0.9%
令和3年 1月	100.0	▲0.2%	99.3	▲1.0%	98.2	▲2.4%	98.1	▲2.9%	99.6	▲0.9%	100.2	0.1%
2月	99.5	▲0.1%	99.3	▲1.1%	98.3	▲2.5%	98.2	▲2.5%	99.1	▲1.1%	100.4	0.0%
3月	99.1	▲0.4%	99.0	▲1.3%	98.2	▲2.4%	98.6	▲2.3%	99.1	▲1.1%	99.8	▲0.4%
4月	99.0	▲1.3%	98.9	▲1.4%	97.6	▲2.5%	97.8	▲2.8%	99.2	▲1.1%	100.0	▲0.8%
5月	99.3	▲1.0%	98.7	▲1.6%	97.5	▲2.9%	97.7	▲2.8%	99.0	▲1.3%	99.3	▲0.9%
6月	99.9	0.0%	98.8	▲1.4%	97.6	▲2.7%	97.6	▲2.3%	99.4	▲0.5%	98.9	▲1.4%
7月	99.6	▲0.6%	98.8	▲1.5%	97.5	▲2.7%	97.3	▲2.5%	99.4	▲0.8%	99.0	▲1.2%
8月	99.9	▲1.1%	98.8	▲1.1%	96.9	▲3.2%	96.3	▲3.8%	99.9	▲0.1%	98.8	▲0.2%

資料：総務省「消費者物価指数」2020年基準、品目別価格指数（全国）

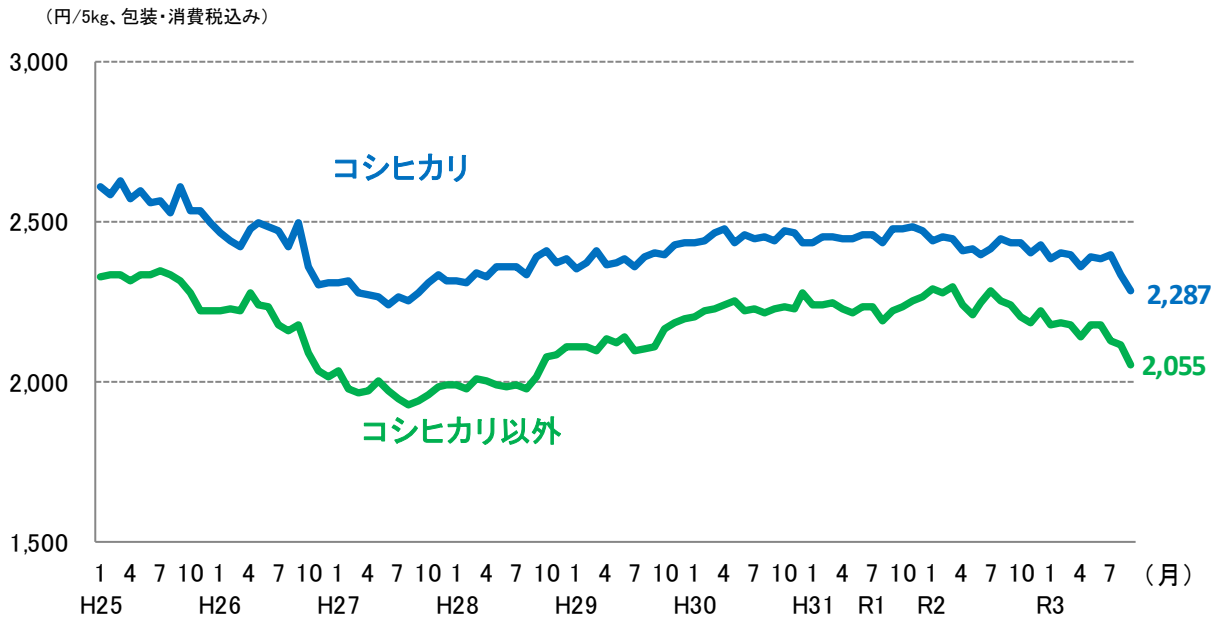
注1：食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。

注2：穀類は、米類（うるち米、もち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。

注3：平成27年～令和2年のデータは年平均、3年は月次データである。

4 小売物価統計の推移

- 総務省が公表している小売物価統計によると、令和3年8月のうるち米の小売価格（5kg当たり）は、コシヒカリで対前年同月比▲5.9%の2,287円。
- コシヒカリ以外の銘柄の平均では、対前年同月比▲8.3%の2,055円。



(円/5kg、包装・消費税込み)

年平均	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
コシヒカリ	2,567	2,428	2,285	2,355	2,388	2,451	2,457	2,426
前年比	▲0.4%	▲5.4%	▲5.9%	3.1%	1.4%	2.6%	0.2%	▲1.3%
コシヒカリ以外	2,307	2,173	1,973	2,019	2,132	2,232	2,234	2,246
前年比	3.8%	▲5.8%	▲9.2%	2.3%	5.6%	4.7%	0.1%	0.5%

月次(令和元年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,434	2,453	2,451	2,443	2,444	2,460	2,458	2,431	2,475	2,474	2,483	2,472
前年同月比	0.0%	0.6%	▲0.6%	▲1.3%	0.5%	0.0%	0.6%	▲0.9%	1.6%	0.0%	0.7%	1.6%
コシヒカリ以外	2,241	2,242	2,244	2,229	2,216	2,233	2,233	2,191	2,223	2,233	2,252	2,267
前年同月比	1.7%	0.9%	0.7%	▲0.5%	▲1.7%	0.5%	0.2%	▲1.2%	▲0.3%	▲0.1%	1.0%	▲0.4%

月次(令和2年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,439	2,455	2,443	2,407	2,416	2,395	2,417	2,448	2,431	2,434	2,405	2,428
前年同月比	0.2%	0.1%	▲0.3%	▲1.5%	▲1.1%	▲2.6%	▲1.7%	0.7%	▲1.8%	▲1.6%	▲3.1%	▲1.8%
コシヒカリ以外	2,288	2,279	2,295	2,241	2,210	2,249	2,284	2,255	2,241	2,205	2,184	2,224
前年同月比	2.1%	1.7%	2.3%	0.5%	▲0.3%	0.7%	2.3%	2.9%	0.8%	▲1.3%	▲3.0%	▲1.9%

月次(令和3年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,382	2,405	2,397	2,358	2,391	2,385	2,398	2,335	2,287			
前年同月比	▲2.3%	▲2.0%	▲1.9%	▲2.0%	▲1.0%	▲0.4%	▲0.8%	▲4.6%	▲5.9%			
コシヒカリ以外	2,181	2,182	2,176	2,142	2,179	2,175	2,131	2,115	2,055			
前年同月比	▲4.7%	▲4.3%	▲5.2%	▲4.4%	▲1.4%	▲3.3%	▲6.7%	▲6.2%	▲8.3%			

資料：総務省「小売物価統計」動向編

注：東京都区部における精米価格である（特売分を除く）。

5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向

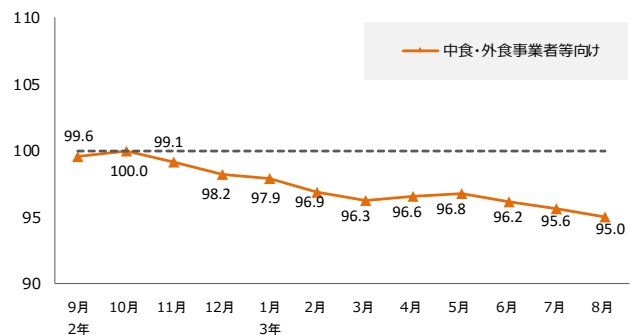
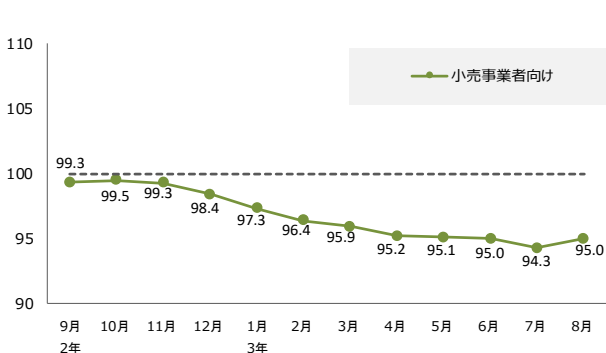
- 米穀販売事業者における令和3年8月の販売数量は、前年同月比で小売事業者向けが101%、中食・外食事業者等向けが100%で、全体としては101%となっている。
- なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じていることから、一昨年8月の販売数量と比較すると96%となる。
※毎年の主食用米需要の減少トレンドで単純に比較すると98.6%。
- 前年同月を基準にした令和3年8月の販売価格の値動きは、小売事業者向け95.0、中食・外食事業者等向け95.0。

1 販売数量の動向（前年同月比）

	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月 ～12月計
小売事業者向け	101%	112%	124%	110%	95%	104%	103%	105%	102%	103%	101%	108%	106%
中食・外食事業者等向け	98%	99%	88%	75%	76%	89%	86%	85%	89%	92%	92%	92%	88%
販売数量計	100%	106%	108%	94%	86%	97%	95%	95%	96%	98%	97%	100%	98%

	3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
小売事業者向け	107%	96%	84%	92%	108%	99%	99%	101%
(※令和元年との比較)	(108%)	(107%)	(104%)	(101%)	(103%)	(102%)	(102%)	(106%)
中食・外食事業者等向け	87%	88%	103%	121%	115%	104%	105%	100%
(※令和元年との比較)	(86%)	(87%)	(91%)	(91%)	(87%)	(92%)	(91%)	(85%)
販売数量計	97%	92%	91%	102%	111%	101%	102%	101%
(※令和元年との比較)	(97%)	(98%)	(98%)	(96%)	(96%)	(98%)	(97%)	(96%)

2 販売価格の動向（前年同月の価格を基準にした値動き）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

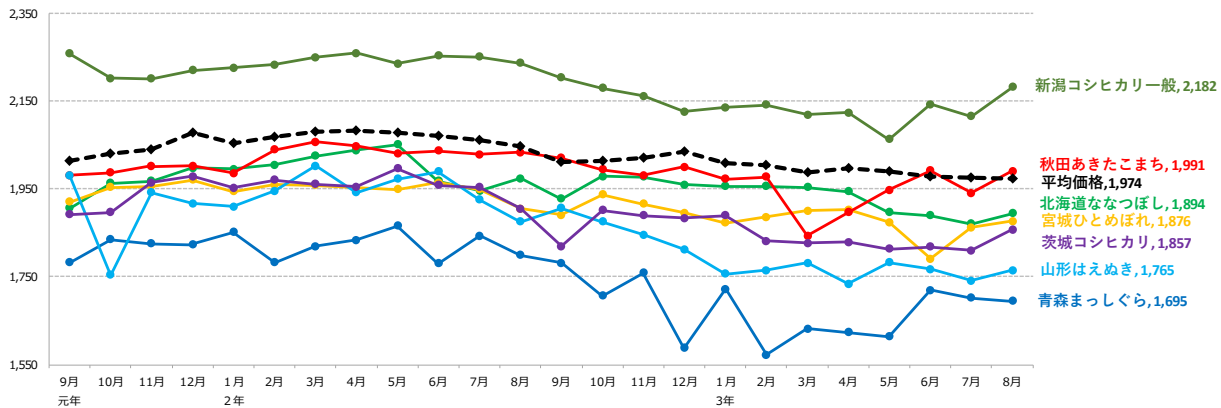
注1：報告対象業者は、年間玄米仕入数量50,000t以上の販売事業者である。

注2：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

注3：速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。

- 令和3年8月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、対前月比▲1円(±0.0%)、対前年同月比▲74円(▲3.6%)の1,974円。

円/5kg袋販売時換算(税込)



資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

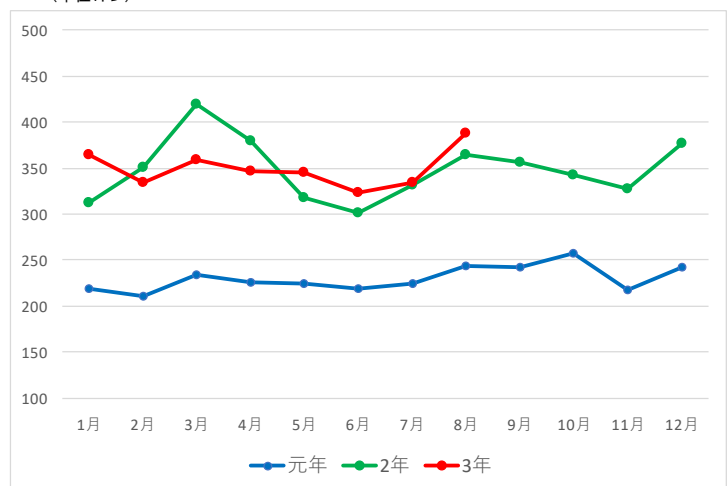
- 注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。
- 注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。
- 注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。
- 注4：全POS取引平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。
- 注5：価格に含む消費税は8%である。

【パックご飯の販売数量】

(単位:トン、%)

	元年	2年 ①	3年 ②	対前年 同月比 ②/①
1月	219	313	365	117%
2月	211	351	334	95%
3月	234	420	359	85%
4月	226	380	347	91%
5月	225	318	346	109%
6月	219	302	323	107%
7月	225	331	335	101%
8月	244	365	388	106%
9月	242	356		
10月	257	342		
11月	217	327		
12月	243	377		

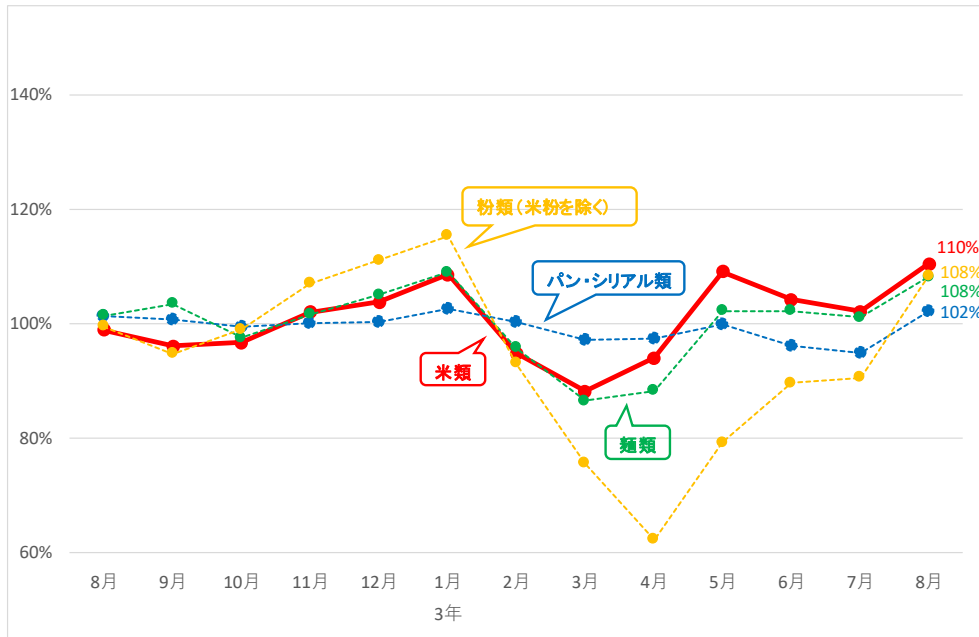
(単位:トン)



資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

- 注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。
- 注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。
- 注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

【 POSデータ 分類別販売個数 対前年同期比 】



分類コード	分類名	主な分類基準	2年 8月	9月	10月	11月	12月	3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
米類			99%	96%	97%	102%	104%	109%	95%	88%	94%	109%	104%	102%	110%
	米	精米、玄米、もち米	100%	90%	102%	101%	102%	108%	90%	86%	94%	109%	107%	103%	107%
	包装餅	切り餅、板餅	113%	103%	107%	104%	105%	118%	95%	77%	68%	87%	92%	83%	107%
	米飯加工品	無菌パックの白飯、レトルトタイプ、おかゆ、赤飯	102%	101%	93%	103%	84%	107%	93%	86%	93%	112%	110%	103%	112%
	冷凍米飯加工品	チャーハン、ピラフ、焼きおにぎり	94%	95%	95%	100%	125%	107%	101%	96%	101%	109%	98%	103%	112%
パン・シリアル類			101%	101%	99%	100%	100%	103%	100%	97%	97%	100%	96%	95%	102%
	食パン	食パン、クロワッサン、フランスパン	100%	98%	99%	99%	101%	102%	101%	97%	99%	101%	97%	95%	102%
	菓子パン	果物、チョコレート、クリーム・ジャムを使用したパン	102%	103%	100%	100%	100%	101%	99%	96%	95%	97%	93%	92%	99%
	調理パン	サンドウィッチ、カレーパン、ホットドック	101%	99%	99%	103%	99%	108%	102%	98%	98%	101%	99%	100%	110%
	シリアル類	グラノーラ、コーンフレーク	122%	114%	105%	115%	110%	111%	117%	121%	120%	127%	134%	115%	104%
麺類			101%	103%	98%	102%	105%	109%	96%	87%	88%	102%	102%	101%	108%
	インスタント袋麺	袋入りのインスタントラーメン、そば、うどん	104%	103%	101%	105%	109%	124%	94%	77%	83%	106%	111%	98%	117%
	カップ麺	ラーメン、そば、うどん等の即席麺	95%	105%	92%	102%	105%	107%	96%	85%	91%	111%	105%	98%	115%
	生麺・ゆで麺	生麺、ゆでうどん、中華そば・焼きそば	106%	104%	103%	100%	103%	108%	95%	90%	86%	91%	98%	105%	99%
	スパゲッティ	乾スパゲッティ、ゆでスパゲッティ	102%	94%	94%	109%	108%	114%	85%	69%	63%	91%	101%	95%	105%
	冷凍麺	冷凍パスタ、そば、うどんなどの麺類	105%	102%	104%	101%	105%	108%	103%	102%	108%	117%	103%	104%	112%
粉類(米粉を除く)			99%	95%	99%	107%	111%	115%	93%	76%	62%	79%	90%	91%	108%
	小麦粉	強力粉、薄力粉、中力粉	93%	86%	94%	98%	106%	110%	89%	75%	58%	74%	96%	96%	107%
	パン粉	パン粉、生パン粉	99%	93%	103%	103%	105%	108%	95%	86%	80%	89%	98%	94%	104%
	プレミックス	加糖ミックス(ホットケーキなどの素)、お好み焼き粉、たこ焼き粉	104%	103%	100%	115%	120%	123%	95%	70%	56%	77%	79%	85%	112%
(参考)	味噌	ルータイプの味噌、出し入り味噌	100%	100%	91%	113%	110%	112%	118%	101%	98%	106%	104%	100%	106%
	米粉	白玉粉、上新粉、だんご粉	115%	106%	87%	153%	111%	97%	111%	99%	63%	58%	89%	94%	109%
	米菓	煎餅、あられ、おかき	100%	99%	101%	100%	114%	116%	125%	112%	98%	111%	114%	105%	116%
	清酒		101%	99%	86%	112%	101%	103%	106%	98%	94%	99%	96%	93%	105%
	焼酎乙類		99%	99%	86%	113%	103%	100%	106%	97%	92%	97%	94%	93%	108%

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：POSデータの販売個数は、商品容量にかかわらず販売された商品の個数を単純にカウントしたものであることに留意が必要である。

6 輸出入の動向

1 コメ・コメ加工品の輸出実績

(1) コメ・コメ加工品の輸出実績の推移

2021年1～8月のコメ・コメ加工品の輸出額は319億円（対前年同期比69%増）
うちコメの輸出実績は対前年同期比+7%の36億円、米菓は+35%の36億円、日本酒は
+97%の242億円、パックご飯は-5%の4億円、米粉及び米粉製品は-5%の0.4億円。

品目名		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年		(参考) 主な輸出先国
						1～8月	対前年比	
コメ・ コメ加工品	数量 (原料米換算)	28,668トン	32,202トン	35,505トン	36,442トン	28,667トン	+31%	アメリカ 香港 中国 台湾 シンガポール
	金額	264億円	309億円	329億円	347億円	319億円	+69%	
コメ (援助米 を除く)	数量	11,841トン	13,794トン	17,381トン	19,687トン	13,948トン	+11%	香港 シンガポール アメリカ 台湾 オーストラリア
	金額	32億円	38億円	46億円	53億円	36億円	+7%	
米菓 (あられ・ せんべい)	数量	3,849トン	4,053トン	4,033トン	4,222トン	3,407トン	+34%	アメリカ 台湾 香港 中国 サウジアラビア
	原料米換算	3,272トン	3,445トン	3,428トン	3,589トン	2,896トン	+34%	
	金額	42億円	44億円	43億円	45億円	36億円	+35%	
日本酒 (清酒)	数量	23,482 キロリットル	25,747 キロリットル	24,928 キロリットル	21,761 キロリットル	20,182 キロリットル	+71%	中国 アメリカ 香港 シンガポール 台湾
	原料米換算	13,227トン	14,502トン	14,041トン	12,257トン	11,368トン	+71%	
	金額	187億円	222億円	234億円	241億円	242億円	+97%	
パックご飯等	数量	658トン	923トン	1,018トン	1,203トン	752トン	-1%	アメリカ 香港 台湾 ベトナム タイ
	原料米換算	329トン	461トン	509トン	601トン	376トン	-1%	
	金額	3億円	5億円	5億円	7億円	4億円	-5%	
米粉及び 米粉製品 (米粉麺等)	数量			118トン	249トン	64トン	-50%	タイ アメリカ オランダ 香港 イタリア
	原料米換算			146トン	308トン	79トン	-50%	
	金額			0.3億円	0.7億円	0.4億円	-5%	
コメ・パックご飯・ 米粉及び米粉製品	数量 (原料米換算)	12,170トン	14,255トン	18,036トン	20,596トン	14,403トン	+10%	アメリカ 香港 中国 台湾 シンガポール
	金額	35億円	42億円	52億円	60億円	41億円	+6%	

資料:財務省「貿易統計」(政府による食糧援助を除く。)

注1:数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

パックご飯等は2017年より、米粉は2019年より、米粉麺等は2020年より貿易統計にて輸出実績を集計・公表。

注2:米粉及び米粉製品のうち米粉製品の原料米換算は米粉100%として推計。

(2) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移

2021年1～8月の商業用の米の輸出は、輸出数量が対前年同期比+11%の13,948トン、輸出金額が対前年同期比+7%の約36億円となった。

	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年 (1～8月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	9,986 (+31%)	2,709 (+21%)	11,841 (+19%)	3,198 (+18%)	13,794 (+16%)	3,756 (+17%)	17,381 (+26%)	4,620 (+23%)	19,687 (+13%)	5,311 (+15%)	13,948 (+11%)	3,623 (+7%)
香港	3,342	842	4,128	1,016	4,690	1,160	5,436	1,372	6,978	1,796	5,610 (+20%)	1,352 (+9%)
シンガポール	2,350	539	2,861	642	3,161	694	3,879	802	3,696	785	3,185 (+38%)	654 (+32%)
台湾	910	321	943	350	1,173	394	1,262	411	2,004	622	1,008 (-10%)	317 (-4%)
アメリカ	812	236	986	320	1,282	404	1,980	543	1,989	565	1,443 (+9%)	397 (+5%)
オーストラリア	357	109	476	145	635	197	770	233	1,074	334	509 (-24%)	161 (-21%)
中国	375	163	298	97	524	211	1,007	363	1,002	321	236 (-64%)	97 (-53%)
タイ	395	71	192	51	320	81	578	145	555	145	322 (-7%)	84 (-8%)
イギリス	326	98	695	191	422	121	450	131	451	131	200 (-29%)	62 (-23%)
ロシア	74	25	78	31	120	43	174	64	199	72	121 (-8%)	41 (-13%)
カナダ	96	29	92	28	138	43	158	51	205	62	128 (+3%)	44 (+17%)
モンゴル	198	33	203	32	336	56	315	53	347	58	10 (-96%)	3 (-93%)
ドイツ	90	32	62	26	92	36	140	52	144	58	139 (+49%)	52 (+35%)
フランス	39	16	61	27	78	32	93	40	112	49	109 (+65%)	48 (+71%)
マレーシア	167	45	259	62	221	51	234	59	185	46	102 (-12%)	28 (-5%)
ベトナム	74	16	101	33	118	37	213	65	159	46	101 (+31%)	28 (+27%)
フィンランド	1	1	2	1	47	11	183	40	188	44	163 (+19%)	44 (+43%)
オランダ	96	23	105	24	112	30	102	30	110	40	67 (+81%)	24 (+67%)
アラブ首長国連邦	22	9	18	9	37	17	55	23	58	25	63 (+142%)	25 (+103%)
マカオ	39	17	38	18	65	27	62	26	43	21	69 (+146%)	27 (+117%)
インドネシア	97	30	72	26	1	2	90	25	4	3	171 (注3)	47 (注3)
その他	126	54	171	70	222	110	200	91	184	90	192	89
(参考)EU ※	574	180	943	283	800	253	1,050	326	629	219	533 (+34%)	191 (+41%)

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：（ ）内は対前年同期増減率である。

注2：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

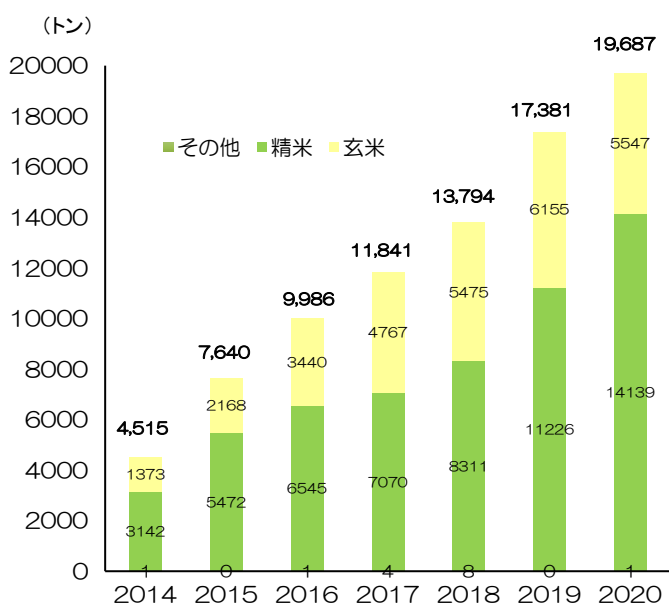
注3：対前年同期比を記載していないのは、2020年1～8月の輸出実績がゼロのため。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

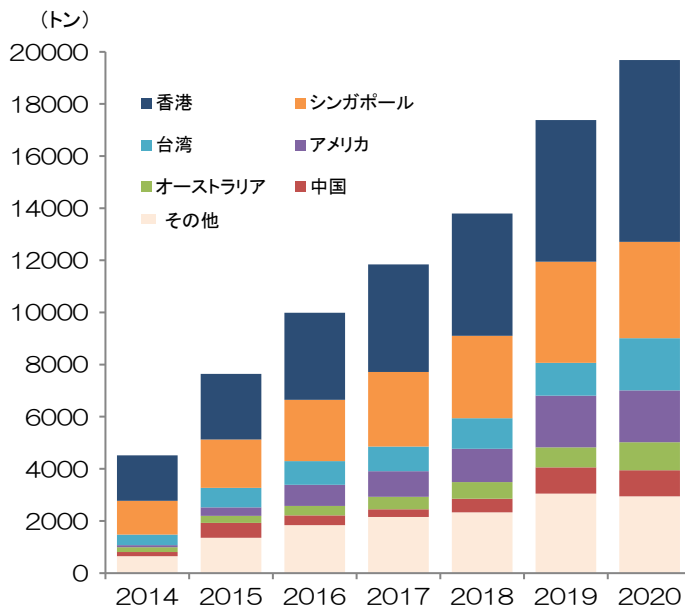
(3) コメの輸出数量の2020年の主な増加要因

- 2020年は新型コロナウイルスの感染拡大が農林水産物・食品の輸出に大きな影響を与えたが、コメ（精米・玄米）の輸出数量は19,687トン（前年比+13%）、輸出額は53億円（前年比+15%）に増加。
- 年初～春頃は香港・アメリカ等で巣ごもり消費による小売需要の増加により輸出が大きく増加。
- その後、反動で一時減少したものの、秋以降、香港・台湾等で日本食レストラン等の営業再開に伴い業務用需要が回復。

① 商業用の米の玄米・精米別輸出量の推移



② 商業用の米の主な国別輸出量の推移



香港 📍 6,978トン（前年比+28%） 1,796百万円（前年比+31%）

- 年初から春頃、新型コロナウイルス感染拡大に伴う日本食レストランの営業停止等の影響で業務用需要が減少した一方で、巣ごもり消費により小売需要が大きく増加、トータルでは前年比大幅増で推移したこと
- その後一旦反動で需要が落ち込んだものの、秋以降は、日本食レストラン等の営業再開に伴い、業務用需要が回復したことが増加の大きな要因であると考えられる。

台湾 📍 2,004トン（前年比+59%） 622百万円（前年比+51%）

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響が比較的小さく、日本食レストラン等において営業時間短縮や座席数の制限等があったものの、営業停止には至らず業務用需要に大きな影響が生じなかったこと、
- 一方で日系寿司チェーン店が店舗数を増やすなど、業務用需要が拡大したことが増加の要因であると考えられる。

(4) 米菓の輸出数量及び金額の推移

2021年1～8月の米菓の輸出は、輸出数量が3,407トン（対前年同期比+34%）、輸出金額が約36億円（対前年同期比+35%）と、数量及び金額共に前年同期より増加。

	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年 (1～8月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	3,567 (-3%)	3,808 (-2%)	3,849 (+8%)	4,186 (+10%)	4,053 (+5%)	4,425 (+6%)	4,033 (-0%)	4,306 (-3%)	4,222 (+5%)	4,531 (+5%)	3,407 (+34%)	3,640 (+35%)
アメリカ	897	878	1,067	1,062	1,112	1,134	1,100	1,122	1,134	1,145	999 (+47%)	1,011 (+50%)
台湾	868	909	731	758	830	878	854	894	989	1,057	705 (+15%)	760 (+16%)
香港	578	725	520	660	629	744	603	724	629	749	476 (+22%)	553 (+22%)
シンガポール	202	250	200	269	208	268	209	243	227	267	142 (+15%)	164 (+18%)
サウジアラビア	122	69	170	98	279	176	258	161	335	215	286 (+59%)	183 (+60%)
ベトナム	50	51	42	76	55	112	75	155	90	195	69 (+38%)	151 (+39%)
中国	52	55	62	84	61	123	87	160	76	139	139 (+143%)	195 (+99%)
タイ	37	53	40	57	44	60	62	83	80	104	57 (+15%)	71 (+10%)
オーストラリア	160	139	173	144	121	106	127	111	108	96	75 (+1%)	68 (+10%)
韓国	161	230	326	489	229	338	119	156	65	77	59 (+72%)	74 (+88%)
オランダ	113	106	127	111	81	87	58	61	68	73	58 (+93%)	71 (+99%)
マレーシア	26	29	25	31	25	29	39	41	53	56	58 (+84%)	65 (+93%)
カナダ	25	28	31	37	31	37	35	42	35	41	25 (+16%)	32 (+23%)
イギリス	23	29	21	26	18	22	21	32	21	34	9 (-20%)	14 (-25%)
フィリピン	21	24	19	19	23	22	27	27	26	27	23 (+57%)	24 (+73%)
グアム	22	24	16	21	19	23	19	24	21	27	12 (-1%)	19 (+16%)
ブラジル	40	35	43	41	37	38	40	41	26	27	17 (+7%)	17 (+6%)
ブルガリア	38	9	98	27	103	31	149	40	102	25	83 (+29%)	19 (+12%)
北マリアナ諸島	17	22	22	28	20	25	19	25	18	25	14 (+16%)	21 (+27%)
スイス	10	16	9	14	11	17	12	19	14	21	10 (+5%)	15 (+5%)
その他	106	125	106	135	119	155	120	146	107	134	87	111
(参考)EU ※	223	193	277	206	240	189	267	183	209	148	165 (+38%)	125 (+45%)

資料：財務省「貿易統計」

注：()内は対前年同期増減率である。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

(5) 日本酒（清酒）の輸出数量及び金額の推移

2021年1～8月の日本酒の輸出は輸出数量が20,182キロリットル（対前年同期比+71%）、輸出金額が約242億円（対前年同期比+97%）と前年同期より大幅に増加。

	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年 (1～8月)	
	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円
輸出合計	19,737 (+9%)	15,581 (+11%)	23,482 (+19%)	18,679 (+20%)	25,747 (+10%)	22,232 (+19%)	24,928 (-3%)	23,412 (+5%)	21,761 (-13%)	24,141 (+3%)	20,182 (+71%)	24,198 (+97%)
香港	1,877	2,630	1,807	2,799	2,097	3,774	1,926	3,943	2,629	6,178	2,042 (+28%)	5,546 (+67%)
中国	1,910	1,449	3,341	2,660	4,146	3,587	5,145	5,001	4,772	5,792	4,621 (+98%)	6,239 (+142%)
アメリカ	5,108	5,196	5,780	6,039	5,952	6,313	6,452	6,757	5,270	5,070	5,435 (+81%)	5,628 (+93%)
台湾	2,096	931	1,985	948	2,238	1,351	2,246	1,359	2,273	1,430	1,698 (+35%)	1,056 (+41%)
シンガポール	509	601	530	691	610	837	609	857	688	1,113	626 (+101%)	1,210 (+166%)
韓国	3,695	1,562	4,798	1,864	5,351	2,212	2,912	1,360	1,535	979	1,590 (+102%)	955 (+89%)
オーストラリア	409	362	444	396	502	446	483	439	525	491	526 (+97%)	527 (+116%)
カナダ	576	381	711	486	684	529	715	548	549	429	535 (+47%)	468 (+75%)
ベトナム	390	287	376	267	462	440	437	376	342	279	171 (+51%)	150 (+74%)
マレーシア	223	201	289	265	283	244	253	242	309	278	211 (+57%)	204 (+100%)
タイ	461	240	472	252	604	300	627	276	498	225	301 (+0%)	122 (-6%)
イギリス	317	323	388	348	298	324	352	373	220	215	234 (+82%)	257 (+111%)
フランス	169	196	266	267	274	276	270	285	222	213	270 (+124%)	288 (+153%)
ドイツ	388	179	368	167	367	203	477	242	402	207	330 (+32%)	192 (+55%)
マカオ	25	79	34	150	52	207	39	156	44	179	45 (+71%)	189 (+233%)
オランダ	183	108	276	144	223	161	247	142	288	178	297 (+96%)	187 (+117%)
イタリア	322	114	386	139	312	130	339	129	242	89	232 (+56%)	95 (+74%)
ブラジル	184	93	219	109	207	93	248	119	146	76	173 (+114%)	96 (+132%)
ロシア	33	32	82	42	83	35	107	36	52	71	112 (+546%)	58 (+101%)
スイス	36	37	45	43	41	45	42	42	51	67	44 (+58%)	47 (+52%)
その他	830	580	884	601	959	724	999	732	704	582	685	683
(参考)EU ※	1,605	1,085	2,009	1,311	1,809	1,334	2,023	1,421	1,447	915	1,352 (+58%)	946 (+80%)

資料：財務省「貿易統計」

注1：()内は対前年同期増減率である。

注2：数量1リットル未満、金額20万円未満は計上されていない。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

(6) 包装米飯（パックご飯）等の輸出数量及び金額の推移

2021年1～8月の包装米飯等の輸出は輸出数量は対前年同期比-1%の752トン、輸出金額は対前年同期比-5%の約3.9億円となった。

	2017年		2018年		2019年		2020年		2021年 (1～8月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	658	344	923 (+40%)	473 (+38%)	1,018 (+10%)	513 (+8%)	1,205 (+18%)	658 (+28%)	752 (-1%)	393 (-5%)
香港	35	25	79	51	130	77	261	170	138 (-5%)	84 (-14%)
アメリカ	338	132	407	159	442	167	447	169	291 (+3%)	111 (+3%)
台湾	33	28	58	36	105	56	145	88	98 (+1%)	72 (+30%)
ベトナム	69	54	92	73	82	79	66	69	34 (-15%)	26 (-40%)
中国	8	6	20	14	96	42	68	43	35 (-29%)	19 (-38%)
タイ	29	14	40	17	63	27	75	34	45 (-28%)	20 (-26%)
シンガポール	21	19	31	24	21	17	43	24	28 (-15%)	15 (-9%)
韓国	67	33	149	72	31	17	20	11	38 (+794%)	18 (+489%)
オーストラリア	19	12	1	1	3	2	20	9	1 (-76%)	1 (-60%)
インドネシア	6	4	4	3	5	4	10	6	9 (+10%)	6 (+12%)
オランダ	2	1	5	3	4	3	4	5	0 (-75%)	1 (-55%)
イギリス	8	4	10	4	9	4	10	5	5 (-38%)	2 (-38%)
マレーシア	—	—	—	—	1	1	8	5	4 (-51%)	2 (-40%)
メキシコ	6	3	5	3	5	3	7	5	4 (-25%)	2 (-31%)
フィリピン	1	0	1	0	4	4	3	3	1 (-63%)	1 (-46%)
カナダ	1	0	5	4	6	3	5	2	6 (+56%)	2 (+32%)
フランス	1	1	3	2	3	2	5	2	6 (+497%)	2 (+198%)
マカオ	0	0	0	0	3	3	2	2	4 (+144%)	2 (+20%)
ドイツ	0	1	—	—	0	1	0	1	1 (+394%)	2 (+244%)
ベルギー	—	—	—	—	—	—	3	1	4 (+25%)	1 (+25%)
その他	15	7	13	6	4	3	4	6	2	1

(参考)EU ※	11	7	18	9	17	11	8	5	11 (+42%)	6 (+31%)
----------	----	---	----	---	----	----	---	---	--------------	-------------

資料:財務省「貿易統計」(政府による食糧援助を除く)

注1:()内は対前年同期増減率である。

注2:包装米飯、その他加工米飯のほか、加熱またはその他の調製をした調製食料品のうち米のものを集計。

(2017年1月から単独のコードとして独立。)

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

(7) 米粉及び米粉麺等の輸出数量及び金額の推移

2021年1～8月の米粉の輸出は輸出数量は対前年同期比-54%の53トン、輸出金額は対前年同期比-5%の0.3億円、米粉麺等の輸出は輸出数量は対前年同期比-17%の11トン、輸出金額は対前年同期比-6%の約0.1億円となった。

米粉の輸出数量等の推移

	2019年		2020年		2021年 (1～8月)	
	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
輸出全体	118	32.8	226 (+92%)	48.4 (+48%)	53 (-54%)	26.3 (-5%)
アメリカ	68	11.5	183	29.4	0 (-100%)	1.5 (-90%)
タイ	24	9.5	28	10.6	28 (+100%)	10.7 (+102%)
ロシア	0	0.6	8	3.3	2 (-75%)	1.6 (-53%)
オランダ	11	3.1	6	2.3	18 (+200%)	6.4 (+183%)
台湾	1	2.2	0	1.8	2 (注3)	3.0 (+135%)
フランス	-	-	0	0.4	0 (注3)	0.8 (+258%)
シンガポール	1	0.6	0	0.3	0 (注3)	0.8 (+133%)
香港	1	0.8	0	0.3	0 (注3)	0.2 (注3)
ドイツ	11	3.4	-	-	3 (注3)	1.3 (注3)
ベトナム	0	0.3	-	-	-	-
スペイン	1	0.7	-	-	-	-

米粉麺等の輸出数量等の推移

	2020年		2021年 (1～8月)	
	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
輸出全体	23.2	24.1	11.3 (-17%)	13.0 (-6%)
アメリカ	10.6	11.8	3.4 (-56%)	4.9 (-41%)
香港	5.6	5.3	1.7 (-44%)	1.7 (-42%)
イタリア	2.4	2.2	1.8 (+29%)	1.7 (+27%)
スペイン	2.1	2.0	1.7 (+189%)	1.5 (+190%)
オランダ	0.8	0.9	1.8 (+169%)	1.7 (+138%)
サウジアラビア	0.7	0.9	- (注3)	- (注3)
シンガポール	0.6	0.5	- (-100%)	- (-100%)
カナダ	0.3	0.3	0.2 (注3)	0.3 (注3)
オーストラリア	0.2	0.2	0.3 (注3)	0.5 (注3)
中国	-	-	0.3 (注3)	0.6 (注3)
タイ	-	-	0.2 (注3)	0.2 (注3)

(参考)EU ※	23	7.2	6 (-74%)	2.7 (-62%)	21 (+250%)	8.5 (+240%)
----------	----	-----	-------------	---------------	---------------	----------------

資料: 財務省「貿易統計」

注1: ()内は対前年同期増減率である。

注2: 数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

注3: 対前年同期比を記載していないのは、2020年1～8月の輸出実績がゼロのため。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

資料: 財務省「貿易統計」

注1: 数量1kg未満、金額20万円未満は計上されていない。

注2: ()内は対前年同期増減率である。

注3: 対前年同期比を記載していないのは、2020年1～8月の輸出実績がゼロのため。

2 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について (輸出拡大実行戦略のうちコメ・パックご飯・米粉及び米粉製品の輸出目標等)

1. 国別輸出額目標

国名	2019年実績	2025年目標	国別のニーズ・規制に対応するための課題・方策
合計	52億円	125億円	
香港	15億円	36億円	・大手米卸や輸出事業者が中食・外食を中心に需要を開拓しており、今後もレストランチェーンやおにぎり店等をメインターゲットとした需要開拓を図る。
アメリカ	7億円	30億円	・大手米卸や輸出事業者が日系小売店需要を開拓。今後は日本食レストラン等やEC等の小売需要を開拓。またパックご飯や米粉の最大の輸出先国であり、更なる市場開拓を図る。
中国	4億円	19億円	・大手米卸等がECやギフトボックス等の贈答用を中心に需要を伸ばしており、更なる開拓を図る。 ・コスト縮減のためには指定精米工場等の活用に加えて工場等の追加や輸入規制の緩和が不可欠。
シンガポール	8億円	16億円	・輸出事業者やJA系統等が中食・外食を中心に需要を開拓。更にレストランチェーンやおにぎり店等をメインターゲットとした需要開拓を図る。
その他	18億円	22億円	・UAEや欧州等のコメを主食としない地域では、寿司等の日本食需要拡大に合わせて日本産米の需要開拓を図る。 ・EUを中心に拡大するグルテンフリー需要の取り込みを通じた米粉・米粉製品の需要開拓を図る。

2. 輸出産地の育成・展開

<2025年の輸出産地数の目標>

- ・ 30～40産地（先進的なJA等をモデル産地として、千トン超の輸出用米の生産に取り組む産地を育成する）

<今後育成すべき国内産地>

- ・ 国際競争力を有するコメの生産と農家手取り収入の確保の両立を図ることで、大ロットで輸出用米を生産・供給する産地

<生産基盤の強化やロットの拡大、産地間連携の実現に向けた方策>

- ・ 輸出事業者と産地が連携して取り組む、多収米の導入や作期分散等の生産・流通コスト低減の取組の支援により、輸出用米の生産拡大（主食用米からの作付転換）を推進。

3. 加工・流通施設の整備

- ・ パックご飯メーカーや米粉・米粉製品メーカーが輸出に取り組んでいるが、輸出先国の規制等への対応が必要になるケースがあることから、当該規制等対応のための取組や輸出向け生産に必要な機械・設備の導入等を支援。

4. 品目別団体を中心とした販路開拓

- ・ 現在、（一社）全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会（全米輸）が品目別のプロモーションを実施。プロモーションの財源には、国庫補助金のほか会費収入も一部活用。
- ・ 今後全米輸は、新興市場（輸出事業者の進出が不十分な国・地域あるいは分野。UAE・北欧や、アメリカのEC市場等を想定）でのプロモーション等を通じた市場開拓を予定。実施に際してはJETRO・JFOODOとも連携。

3 MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

輸入米の入札情報については、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「輸入米麦入札関連資料」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html> 】

(単位:千玄米トン)

	米 国	タ イ	中 国	オースト ラリア	その他	合 計	うち一般輸入	
							うち一般輸入	うちSBS輸入※
平成7年度	194	107	32	87	5	426	415	11
平成8年度	233	144	40	87	6	511	488	22
平成9年度	290	151	46	95	13	596	537	55
平成10年度	313	152	78	109	29	681	551	120
平成11年度	339	159	86	115	24	724	591	120
平成12年度	356	168	99	120	24	767	632	120
平成13年度	364	146	136	110	11	767	655	100
平成14年度	361	153	112	96	44	767	710	50
平成15年度	355	153	110	90	51	759	647	100
平成16年度	361	185	98	20	103	767	661	94
平成17年度	362	186	84	19	116	767	655	100
平成18年度	358	179	76	52	102	767	654	100
平成19年度	358	243	82	-	13	696	585	100
平成20年度	430	261	72	-	6	769	658	100
平成21年度	358	332	71	-	5	767	655	100
平成22年度	356	345	19	40	6	767	725	37
平成23年度	358	241	56	71	40	767	658	100
平成24年度	362	281	46	64	13	767	656	100
平成25年度	359	351	1	41	15	767	700	61
平成26年度	359	332	55	14	6	767	754	12
平成27年度	359	344	56	1	6	767	734	29
平成28年度	376	375	3	7	7	767	685	73
平成29年度	365	264	56	74	8	767	655	100
平成30年度	359	316	69	14	8	767	701	59
令和元年度	360	306	83	0	17	767	681	77
令和2年度	360	322	70	-	15	767	699	60
令和3年度 (9月末現在)	30	42	-	-	0	72	71	1

資料： 農林水産省「米をめぐる関係資料」

※SBS輸入数量の単位は千実トン。

注：1 各年度の輸入契約数量の推移。

2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しないことがある。

3 千実トンと千玄米トンのため合計は一致しないことがある。

(参考) MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1~0.2千トン程度

4 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合せ結果（令和3年度）

（単位：実トン）

販売期間	うるち	販売期間	もち
令和3年4～6月分 （長期契約）	18,874	令和3年4～7月分	2,291
4月分 （月別契約）	424	8～11月分	
5月分 （月別契約）	134	令和3年12～令和4年3月分	
6月分 （月別契約）	286		
7～9月分 （長期契約）	18,108		
7月分 （月別契約）	346		
8月分 （月別契約）	305		
9月分 （月別契約）	626		
10～12月分 （長期契約）			
10月分 （月別契約）			
11月分 （月別契約）			
12月分 （月別契約）			
令和4年1～3月分 （長期契約）			
1月分 （月別契約）			
2月分 （月別契約）			
3月分 （月別契約）			
小計	39,103	小計	2,291
合計	41,394		

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合わせ結果の概要について」

5 SBS輸入米の見積合わせ結果（令和3年度）

（単位：実トン）

		アメリカ		タイ		中国		オーストラリア		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 (令和3年9月24日)	一般米	186	80							78		344
	砕精米	200		200								400
	計	386	80	200						78		744
令和3年度計	一般米	186	80	0	0	0	0	0	0	78	0	344
	砕精米	200	0	200	0	0	0	0	0	0	0	400
	計	386	80	200	0	0	0	0	0	78	0	744
令和2年度計 (参考)	一般米	25,727	1,732	4,384	180	1,620	0	0	0	8,678	0	42,321
	砕精米	14,342	300	2,310	0	500	0	0	0	500	0	17,952
	計	40,069	2,032	6,694	180	2,120	0	0	0	9,178	0	60,273
令和元年度計 (参考)	一般米	32,937	2,596	4,435	126	1,540	0	260	0	10,359	0	52,253
	砕精米	19,210	600	2,360	600	520	0	0	0	1,000	0	24,290
	計	52,147	3,196	6,795	726	2,060	0	260	0	11,359	0	76,543
平成30年度計 (参考)	一般米	16,364	2,392	4,624	90	594	0	13,203	0	2,477	0	39,744
	砕精米	14,240	940	1,700	1,200	620	0	0	0	100	0	18,800
	計	30,604	3,332	6,324	1,290	1,214	0	13,203	0	2,577	0	58,544
平成29年度計 (参考)	一般米	45,841	2,976	3,506	90	1,580	0	27,863	0	2,007	0	83,863
	砕精米	8,966	1,000	2,012	360	660	0	2,839	0	300	0	16,137
	計	54,807	3,976	5,518	450	2,240	0	30,702	0	2,307	0	100,000
平成28年度計 (参考)	一般米	27,318	3,600	3,487	108	2,156	0	6,861	0	1,236	0	44,766
	砕精米	24,820	700	2,300	388	240	0	0	0	100	0	28,548
	計	52,138	4,300	5,787	496	2,396	0	6,861	0	1,336	0	73,314

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

6 CPTPP・国別枠の見積合わせ結果（令和3年度）

（単位：実トン）

		オーストラリア	
		うるち	もち
第1回 （令和3年5月25・26日）	一般米	20	
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計	20	
第2回 （令和3年7月27日）	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
第3回 （令和3年9月28日）	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
令和3年度計	一般米	20	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	20	0
令和2年度計 （参考）	一般米	595	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	595	0
令和元年度計 （参考）	一般米	3,319	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	140	0
	計	3,459	0
平成30年度計 （参考）	一般米	1,000	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	120	0
	計	1,120	0

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

7 主食用米以外の情報

1 加工用米及び新規需要米等の生産状況

(1) 加工用米の生産量

(単位:トン)

			合計	(参考)	
	うるち米	もち米		全国流通	地域流通
平成17年産	123,996	4,738	128,734	127,160	1,574
18年産	140,596	7,996	148,592	146,529	2,064
19年産	152,145	10,659	162,804	160,670	2,134
20年産	138,895	10,154	149,048	142,803	6,246
21年産	134,389	6,779	141,168	122,771	18,397
22年産	190,883	21,945	212,829	134,958	77,870
23年産	122,699	31,856	154,555	46,087	108,468
24年産	148,695	32,190	180,885	65,821	115,064
25年産	178,411	29,471	207,882	82,534	125,348
26年産	232,315	34,053	266,368	110,914	155,455
27年産	205,448	47,739	253,186	95,747	160,771
28年産	219,454	58,943	278,397	99,972	178,367
29年産	215,531	63,532	279,063	100,249	183,755
30年産	221,580	52,611	274,191	117,617	165,185
令和元年産	203,740	49,186	252,926	100,798	155,741
2年産	198,382	49,471	247,853	97,543	150,309

資料: 農林水産省「加工用米生産量」

注:1 「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」の規定により報告された生産集出荷数量。ただし、2年産は計画数量。

注:2 参考の全国流通は、取組主体が全国生産出荷団体であるもの。地域流通は、取組主体が都道府県出荷団体、認定方針作成者及び農業者であるものの合計。

注:3 参考の27年産以降は、認定計画ベースの値。このため、合計(実績値)と一致しない。

注:4 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移

(単位:トン, ha)

	新規需要米		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲発酵粗飼料用稲)	新市場開拓用米 (輸出用米等)		酒造用米		バイオエタノール用米		その他 (わら専用稲・青刈り用稲)	
	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量
20年産	12,314	12,386	108	566	1,410	8,020	9,089	74	391	-	-	303	2,426	1,330	982
21年産	18,142	40,654	2,401	13,041	4,123	23,264	10,203	164	926	-	-	295	2,314	956	1,108
22年産	37,072	97,632	4,957	24,639	14,883	68,011	15,939	388	1,959	-	-	397	2,488	508	535
23年産	65,569	202,572	7,324	36,842	33,955	160,900	23,086	287	1,514	-	-	415	2,553	501	763
24年産	68,091	205,150	6,437	32,617	34,525	166,537	25,672	454	2,423	-	-	450	2,783	553	790
25年産	53,744	134,865	3,965	20,444	21,802	108,576	26,600	507	2,665	-	-	414	2,566	457	614
26年産	71,073	218,712	3,401	18,352	33,881	186,564	30,929	1,092	6,003	859	4,255	384	2,458	527	1,080
27年産	125,454	478,562	4,245	22,975	79,766	440,066	38,226	1,547	8,289	1,387	6,857	-	-	283	375
28年産	139,028	540,344	3,428	19,014	91,169	505,998	41,366	1,437	7,903	1,420	7,027	-	-	207	402
29年産	142,738	542,308	5,307	28,408	91,510	499,499	42,893	1,328	7,159	1,448	7,213	-	-	252	30
30年産	131,048	473,359	5,295	27,695	79,535	426,521	42,545	3,578	19,143	-	-	-	-	96	-
元年産	124,477	439,544	5,306	27,964	72,509	389,264	42,450	4,097	22,316	-	-	-	-	114	-
2年産	126,205	441,610	6,346	33,361	70,883	374,906	42,791	6,089	33,343	-	-	-	-	96	-

資料: 農林水産省「新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移(平成20年産～令和2年産)」

注1: 平成20・21年産の生産量は取組計画認定ベース。

注2: 令和2年産の面積・生産量は、農業者等が提出する取組計画のうち農林水産省が認定したものであり、作柄等が反映された実績ベースではない。

注3: 「WCS用稲」及び「その他」のうち、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため生産量を取りまとめていない。

注4: 「酒造用米」は、「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」(以下「要領」)に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米であり、平成30年産以降は取りまとめていない。

注5: 平成30年産以降の「バイオエタノール用米」は、要領の改正により「新市場開拓用米」に含まれている。

注6: 「-」は、事実がない又は認定及び取りまとめを行っていないことを表す。また、ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(3) 令和2年産 都道府県別の生産状況

(単位:トン)

産地	加工用米		新規需要米				政府備蓄米	合計	
	うるち米	もち米		飼料用米	新市場開拓用米	米粉用米			
全国	247,853	198,382	49,471	441,610	374,906	33,343	33,361	207,000	896,462
北海道	32,041	23,409	8,633	14,204	10,387	3,539	278	2,162	48,407
青森	5,106	4,644	462	27,402	25,888	1,485	29	27,259	59,767
岩手	6,060	4,868	1,192	20,765	19,035	1,328	402	3,488	30,312
宮城	3,825	3,203	622	30,466	26,201	3,500	766	11,600	45,891
秋田	45,367	28,208	17,159	12,948	8,736	1,666	2,545	21,314	79,628
山形	23,403	22,029	1,374	21,425	19,134	1,521	770	21,291	66,120
福島	2,334	2,301	34	25,716	25,449	242	25	27,050	55,101
茨城	7,151	7,010	141	44,880	41,381	3,303	195	1,103	53,134
栃木	10,381	10,366	15	49,159	44,500	598	4,061	7,602	67,142
群馬	6,598	6,598		6,429	4,752	67	1,610	555	13,582
埼玉	620	615	5	10,540	5,888	163	4,489	463	11,623
千葉	7,974	4,386	3,588	21,630	21,166	67	397	3,985	33,589
東京									
神奈川				48	48				48
新潟	28,119	18,287	9,832	25,815	10,220	6,199	9,396	25,149	79,084
富山	5,435	4,432	1,003	9,187	7,072	1,458	657	12,197	26,820
石川	2,194	1,815	379	5,053	2,768	1,586	699	6,811	14,058
福井	2,318	1,992	326	7,882	5,545	1,466	872	4,076	14,276
山梨	373	371	1	142	98		44		515
長野	4,070	3,813	258	2,292	1,431	721	140	1,389	7,752
岐阜	4,585	4,585		11,207	10,718	340	149	326	16,118
静岡	720	720		5,306	5,294	6	6	20	6,045
愛知	3,068	2,877	191	7,061	6,505	130	425	846	10,975
三重	899	861	38	8,795	7,905	412	477		9,694
滋賀	4,064	3,719	345	6,792	5,631	1,019	142	1,342	12,198
京都	2,504	2,497	7	618	479	103	37		3,123
大阪	1	1		57	32		25		58
兵庫	3,796	3,538	258	2,088	1,528	344	216		5,884
奈良	110	110		296	140	2	154		406
和歌山				15	12		4		15
鳥取	86	86		2,710	2,683	24	3	400	3,196
島根	1,687	1,583	104	3,600	3,544	12	44	130	5,417
岡山	2,065	1,977	88	6,724	5,679	593	451	566	9,355
広島	1,926	1,875	51	2,549	1,568	320	661	20	4,495
山口	4,711	4,663	48	5,250	4,513	623	114		9,962
徳島	83	83		2,877	2,606	216	54	550	3,510
香川	191	191		708	644	31	33		899
愛媛	380	380		1,130	1,122		8		1,510
高知	338	338		3,876	3,805		71	10	4,225
福岡	1,080	834	245	10,692	9,253	47	1,392	114	11,886
佐賀	2,047	195	1,851	3,249	3,092	33	125	220	5,516
長崎	47	47		586	542	10	33	10	643
熊本	3,926	2,780	1,146	7,169	5,915	87	1,167	120	11,215
大分	771	771		6,970	6,910		60	94	7,836
宮崎	8,241	8,241		2,163	2,003	78	83		10,404
鹿児島	7,123	7,050	72	3,136	3,083	5	48		10,259
沖縄	31	31		2			2		32

資料：農林水産省「令和2年産加工用米の都道府県別の取組計画認定状況」（確定値）、「令和2年産新規需要米の都道府県別の取組計画認定状況」（確定値）、「国内産政府備蓄米の買入入札の結果」（令和2年産）

注：1 政府備蓄米の合計は、買入対象米穀の産地の指定無し分24,738トンを含んでいる。

注：2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

2 米加工品の状況

(1) 主な米加工品の生産状況

(トン、kℓ)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年 (1~7月)	対前年 同期比
加工米飯	349,424	346,708	373,142	390,170	398,750	404,707	235,046	98%
レトルト米飯	30,685	27,856	27,807	28,163	27,474	27,245	16,004	101%
無菌包装米飯	136,886	145,326	161,068	170,218	182,797	197,185	118,613	102%
冷凍米飯	171,501	163,017	174,025	181,559	178,068	171,307	95,299	93%
チルド米飯	4,765	4,916	4,832	4,845	4,520	3,894	2,091	94%
缶詰米飯	1,094	543	526	553	526	422	214	94%
乾燥米飯	4,493	5,050	4,884	4,832	5,365	4,654	2,825	103%
米 菓	220,350	217,687	222,868	221,481	221,796	219,437	125,496	97%
あられ	94,995	92,310	92,200	93,504	92,259	93,506	53,606	99%
せんべい	125,355	125,377	130,668	127,977	129,537	125,931	71,890	96%
味 噌	461,652	476,057	482,045	478,068	481,574	474,700	260,290	97%
米みそ	393,554	408,695	413,492	408,093	412,038	404,717	221,841	97%
調合みそ	26,308	25,675	26,285	28,483	27,950	28,805	16,081	95%
(麦みそ)	18,060	18,574	17,399	16,166	15,555	16,466	9,097	97%
(豆みそ)	23,730	23,113	24,869	25,326	26,031	24,712	13,271	98%
米穀粉	94,651	92,693	94,860	93,956	91,179	91,076	49,547	91%
上新粉	46,260	46,377	47,257	45,643	43,345	40,559	20,746	83%
もち粉	11,583	10,755	9,592	9,663	9,406	8,280	5,110	108%
白玉粉	4,974	4,992	5,246	4,821	4,742	4,851	2,271	84%
寒梅粉	1,468	1,606	1,535	1,534	1,560	1,485	909	103%
らくがん粉・みじん粉	1,007	971	945	984	1,120	1,013	596	96%
だんご粉	962	1,543	1,166	1,310	1,159	1,114	633	94%
菓子種	2,448	1,756	2,419	2,506	2,508	2,528	1,373	88%
新規米粉	25,949	24,693	26,700	27,495	27,339	31,246	17,909	98%
包装もち	58,950	63,096	58,653	59,536	60,894	66,181	28,848	100%
日本酒	555,063	539,676	532,862	495,052	466,872	418,507	205,930	97%
特定名称酒	173,327	177,735	179,491	170,642	164,641	142,121	67,282	97%
吟醸酒	25,213	24,499	24,395	23,126	22,240	19,682	9,149	102%
純米吟醸酒	37,124	41,960	45,300	45,377	45,491	40,362	20,760	104%
純米酒	61,793	65,379	67,060	63,998	61,799	54,729	26,372	95%
本醸造酒	49,198	45,897	42,736	38,141	35,111	27,349	11,000	84%
一般酒	381,736	361,941	353,371	324,410	302,231	276,386	138,649	97%
単式蒸留焼酎	483,216	479,866	471,512	441,824	424,569	411,894	214,482	94%
いも焼酎	206,904	208,262	205,336	189,979	182,169	176,801	90,747	92%
米焼酎	41,804	40,560	38,549	36,362	34,531	31,507	16,213	94%
(麦焼酎)	188,896	186,998	183,903	176,608	171,222	168,352	91,396	98%

資料：加工米飯、米菓、味噌、米穀粉及び包装もちは、食品産業動態調査（農林水産省）。日本酒及び単式蒸留焼酎は、日本酒造組合中央会調べ。

注1：日本酒及び単式蒸留焼酎は、課税移出数量。令和3年は概算値。

注2：日本酒の一般酒は、日本酒全体から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

(2) 令和元米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

- 日本酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の令和元米穀年度における使用量は、日本酒の出荷量の減少等により、前年から微減の約95万トン（推計）。
- 種類別には、うるち米が約76万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約7割。残りの約3割はMA米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 味噌を中心にMA米の使用量が減少し、特定米穀の使用量が増加。

<うるち米>

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	11 (9)	9		3			23 (9)
米菓用	1	2		5	3	2	13
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	4	7					11
味噌用		1		3	5		10
焼酎用 (泡盛含む)		1		4	2		7
米穀粉用		1	3	1	2	1	9
その他用	1	1		1	1		4
合計	16	22	3	18	13	3	76

<もち米>

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	3	3				1	8
米菓用	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	1	1				1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	1						1
その他用						1	2
合計	6	5		1	2	5	19

注1：日本酒用の（ ）書きは、酒造好適米で内数。

注2：加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米約9万トンを含んでいない。

注3：焼酎は単式蒸留しょうちゅう（穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号））であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

注4：その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

注5：特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用されるふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。

注6：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

【推計根拠】

1 用途別の原料米使用量合計は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。

日本酒用・・・「清酒の製造状況等について」（国税庁）

焼酎用・・・「課税移出数量」（国税庁）

米菓用、米穀粉用、加工米飯用、味噌用、包装もち用、その他用・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量等

2 制度別の使用状況は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。

主食用米・・・全国出荷団体等からの聞き取り。なお、酒造好適米は「酒造好適米の需要量調査」（農林水産省）等に基づく推計

加工用米・・・「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（農林水産省）に基づく報告

新規需要米（米粉用米）・・・「米粉をめぐる状況について」（農林水産省）による利用量

MA米（SBS含む）・・・「販売実績」（農林水産省）

輸入米粉調製品・・・「貿易統計」（財務省）

特定米穀・・・1で推計した用途別原料米使用量から主食用米、加工用米、新規需要米（米粉用米）、MA米及び輸入米粉調製品を差し引いた数量

(3) 加工原材料用米穀の使用状況（推計）の推移

<うるち米>

(単位: 万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	27	12 (9)	10		3			25 (9)
	28	13 (10)	9		3			25 (10)
	29	12 (10)	9		3			24 (10)
	30	11 (9)	9		4			24 (9)
	元	11 (9)	9		3			23 (9)
米菓用	27	1	2		7	2	1	13
	28	1	2		6	3	1	12
	29	1	2		4	5	1	13
	30	1	1		5	5	2	13
	元	1	2		5	3	2	13
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	27	5	5					10
	28	5	5					10
	29	5	5					11
	30	5	6					11
	元	4	7					11
味噌用	27		1		7	1		9
	28		1		6	2		9
	29		1		2	7		10
	30		1		2	7		10
	元		1		3	5		10
焼酎用 (泡盛含む)	27		1		5	2		8
	28		2		4	2		8
	29		2		3	2		8
	30		2		3	2		7
	元		1		4	2		7
米穀粉用	27		1	2	2	2	1	8
	28		1	2	1	3	1	8
	29		1	2	1	2	1	8
	30		1	3	1	2	1	8
	元		1	3	1	2	1	9
その他用	27	1			2	1		4
	28	1	1		2	1		4
	29	1	1		1	1		4
	30	1	2		1	1		4
	元	1	1		1	1		4
合計	27	18	22	2	24	9	2	77
	28	20	21	2	21	11	1	77
	29	19	22	2	15	18	2	78
	30	18	21	3	16	16	3	77
	元	16	22	3	18	13	3	76

<もち米>

(単位: 万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	27	3	2				2	7
	28	3	2				2	8
	29	3	3				1	8
	30	2	3				1	7
	元	3	3				1	8
米菓用	27	2	1		1	1	2	6
	28	1	2		1	1	1	6
	29	1	2		1	1	1	6
	30	1	2		1	1	1	6
	元	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	27	1					1	3
	28	1	1				1	3
	29	1	1				1	3
	30	1	1				1	3
	元	1	1				1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	27	1						1
	28	1						1
	29	1						1
	30	1						1
	元	1						1
その他用	27						1	2
	28						1	2
	29						1	2
	30						1	2
	元						1	2
合計	27	7	4		1	1	6	19
	28	6	5		1	2	5	19
	29	6	6		1	2	5	19
	30	6	6		1	1	5	19
	元	6	5		1	2	5	19

注1: 日本酒用の()書きは、酒造好適米で内数。

2: 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米を含んでいない。

3: 焼酎は単式蒸留しょうちゅう(穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの(酒税法第3条第10号))であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4: その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5: 特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75~1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米(一般的に「くず米」と呼ばれているもの)の総称。

6: ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3 酒造好適米の需給状況

(1) 日本酒の出荷状況

- 日本酒の国内出荷量は、ピーク時（昭和48年）には170万klを超えていたが、他のアルコール飲料との競合などにより、近年は50万klを下回る水準まで減少。
- 消費者の志向が量から質へと変化していることから、国内出荷量全体に占める特定名称酒（吟醸酒、純米酒等）の割合は増加傾向で推移。
- また、輸出については、日本食ブーム等を背景に近年増加傾向で推移。
- 令和2年以降については、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により国内の日本酒出荷量が大幅に減少。

日本酒の国内出荷量の推移

	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	
												(1~7月)	対前年同期比
日本酒国内出荷量	1,133	871	659	580	566	555	540	533	495	467	419	206	97%
特定名称酒	291	221	174	164	167	173	178	179	171	165	142	67	97%
吟醸酒	34	30	20	21	24	25	24	24	23	22	20	9	102%
純米吟醸酒	25	26	24	29	32	37	42	45	45	45	40	21	104%
純米酒	62	54	57	58	59	62	65	67	64	62	55	26	95%
本醸造酒	169	111	73	56	52	49	46	43	38	35	27	11	84%
一般酒	842	650	485	416	399	382	362	353	324	302	276	139	97%

資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年。令和3年産は概算値。

注1：清酒は、一般酒のほか、原料米及び製造方法などの諸条件（原料、精米歩留）により、吟醸酒、純米酒等8種類に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。一般酒は日本酒国内出荷量から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

注2：国内出荷量には輸出量は含まれていない。

日本酒の輸出量の推移

	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	
												(1~7月)	対前年同期比
日本酒輸出量	8	8	12	16	16	18	20	23	26	25	22	17.6	169%
アメリカ合衆国	1	2	4	4	4	5	5	6	6	6	5	4.6	167%
中華人民共和国	0	0	0	1	1	2	2	3	4	5	5	4.1	191%
香港	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	3	1.8	129%
台湾	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1.5	143%
大韓民国	0	0	2	4	3	3	4	5	5	3	2	1.4	239%
その他	2	2	3	4	4	5	5	6	6	6	5	4.2	168%

資料：「貿易統計」（財務省）。年は暦年。

(2) 日本酒原料米の使用状況

- 日本酒の原料米は、一般的に流通している米のほか、酒造りのために作られた特別な米である山田錦、五百万石などの「酒造好適米」が使用されている。
- 日本酒原料米の使用量は、近年、製品当たりの米の使用量が多い特定名称酒が増加していたため、24~25万トン程度で推移していたが、平成30年以降は、特定名称酒も減少に転じたこと等から、令和元年産で約21万トン（対前年比▲9%）にまで減少。

日本酒原料米の使用状況

	(千トン)										
	10年産	15年産	20年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	元年産	対前年比 元/30年
日本酒原料米	405	315	261	243	248	251	241	240	227	206	91%
酒造好適米	99	75	77	76	90	99	97	94	88	83	94%
加工用米	86	89	74	95	105	94	93	88	90	85	94%
その他	220	151	110	72	53	58	51	58	49	38	78%

資料：農林水産省による推計値。

(3) 酒造好適米の生産量

- 酒造好適米の生産量（農産物検査数量）については、平成26年産主食用米（うるち米）の取引価格の大幅下落等により、酒造好適米の生産へシフトしたこと等から、平成27年産において、需要を上回る生産量となった。
- 平成28年産以降は減少傾向にあるが、日本酒出荷量の急減に伴い、酒造好適米の需要量も減少傾向にあり、供給過剰が続いている状況。
- さらに、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、国内外の日本酒出荷量が急減しており、大幅な供給過剰が見込まれる状況。

酒造好適米の生産量（農産物検査数量）の推移

(トン)

	10年産	15年産	20年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	元年産	2年産	
												対前年産比
酒造好適米	99,448	74,854	76,788	75,813	90,185	108,797	106,618	102,400	95,856	96,454	82,140	85.2%
山田錦	24,639	22,853	21,399	23,081	29,812	39,528	37,257	38,431	33,916	34,644	28,162	81.3%
五百万石	33,282	23,169	24,186	20,602	22,596	27,078	26,030	20,564	21,203	19,767	16,794	85.0%
美山錦	11,304	7,487	7,016	6,426	7,786	7,838	7,513	7,018	6,408	6,475	5,710	88.2%
雄町	2,502	1,827	1,780	1,700	2,312	2,886	2,481	2,873	2,723	2,932	1,987	67.8%
その他	27,721	19,518	22,407	24,004	27,679	31,467	33,337	33,514	31,607	32,636	29,488	90.4%

資料：「農産物検査結果」（農林水産省）
注：2年産は、令和3年3月31日現在の速報値。

(4) 酒造好適米の需要量

- 酒造好適米の需要量は、令和3年7月に実施した需要量調査の結果により推計したところ、令和2年産が69～71千トン程度、令和3年産が67～69千トン程度と大幅な減少が見込まれる。

酒造好適米等の需要量調査結果

(トン)

	元年産	2年産		3年産		4年産	
			対前年産比		対前年産比		対前年産比
酒造好適米の需要量調査結果(実数)	67,300	57,051	84.8%	55,266	82.1%	54,672	81.2%
山田錦	26,627	22,545	84.7%	22,974	86.3%	21,912	82.3%
五百万石	14,095	11,265	79.9%	10,387	73.7%	10,352	73.4%
美山錦	4,083	3,158	77.3%	3,077	75.4%	2,831	69.3%
雄町	1,470	1,109	75.4%	1,160	78.9%	1,129	76.8%
その他	21,026	18,974	90.2%	17,668	84.0%	18,447	87.7%
酒造好適米の全体需要量(推計)	82～84千トン	69～71千トン		67～69千トン		66～68千トン	

資料：「令和3年度 酒造好適米等の需要量調査結果」（農林水産省）
注1：「酒造好適米の需要量調査結果（実数）」は、令和3年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量の積み上げの実数。
注2：「酒造好適米の全体需要量（推計）」は、令和3年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量が全体需要量の約81～82%と推計されるため、各年産の需要量を当該割合で除することにより推計。

産地銘柄毎の需要量等の酒造好適米に関する詳細な情報は、以下URLの「日本酒をめぐる状況」及び「酒造好適米等の需要量調査結果等」を参照ください。

URL：https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

別冊「資料編」では、より詳細な情報をご覧いただけます。

－ 別冊「資料編」の目次 －

1 米の需給

- 1 主食用米等の需給見通し(米の基本指針(令和3年7月29日))

需給1-1

2 米の在庫情報

- 1 令和元・2年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)(速報)

在庫2-1

Excel

3 米の契約・販売情報

- 1 産地別事前契約数量(累計、うるち米、平成26年産～令和元年産)
2 令和元年産米の産地別契約・販売状況(累計、うるち米)(速報)
3 備蓄米の買入入札の結果(落札実績)(平成23年産～令和3年産)

契約3-1

Excel

契約3-4

Excel

契約3-10

4 米の価格情報

- 1 米の相対取引価格の推移(通年平均価格)(平成20年産～令和元年産)
2 スポット価格の状況(日本コメ市場株式会社)
3 米の現物市場の状況

価格4-1

Excel

価格4-4

価格4-5

5 支援事業等

- (1) 水田活用の直接支払交付金
(2) 麦・大豆収益性・生産性向上プロジェクト
(3) 畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)
(4) 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策)
(5) 収入保険
(6) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業
(7) コメ海外市場拡大戦略プロジェクト

支援5-1

支援5-3

支援5-4

支援5-6

支援5-8

支援5-10

支援5-12

6 その他

- (1) 水稻うるち玄米の農産物検査結果
(2) 国産飼料用米の使用可能数量
(3) 麦・大豆の需要情報
① 令和3年産麦の産地別銘柄別入札結果
② 令和2年産大豆の産地品種銘柄別入札結果
(4) 野菜等の需給情報
(5) 令和2年産水稻の収穫量
(6) 年産・都道府県別の主食用米作付面積及び収穫量等の推移

検査6-1

飼料6-2

麦6-5

大豆6-7

野菜6-12

統計6-16

統計6-22

農業者と農林水産省をつなぐ
新たなコミュニケーションツール

MAFFアプリ

農業に役立つ情報が直接届く。
現場の情報を直接届ける。



Android iOS

○米に関する各種情報は「米に関するメールマガジン」でも毎月発信中です。登録方法は下記URLを参照ください。
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>